（仮称）新学校給食センター　空調設備工事

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

図面番号	図　面　名　称	主要縮尺（A1）	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺（A1）	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺（A1）	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺（A1）	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺（A1）
M- 共 01	図面リスト	——												
M- 共 02	設計概要・位置図・案内図	1:図示												
M- 共 03	工事区分表													
M-　01	機械設備工事特記仕様書（1/2）	1:—												
M-　02	機械設備工事特記仕様書（2/2）	1:—												
M-　03	空調設備　特記仕様書（3）	1:—												
M-　04	空調設備　特記仕様書（4）	1:—												
M-　05	空調設備　機器表（1）	1:—												
M-　06	空調設備　機器表（2）	1:—												
M-　07	空調設備　機器表（3）	1:—												
M-　08	空調設備　機器表（4）	1:—												
M-　09	空調設備　系統図	1:—												
M-　10	空調設備　地下ピット平面図	1:150												
M-　11	空調設備　1階平面図（1）	1:100												
M-　12	空調設備　1階平面図（2）	1:100												
M-　13	空調設備　2階平面図（1）	1:100												
M-　14	空調設備　2階平面図（2）	1:100												
M-　15	空調設備　部分詳細図（1）	1:50												
M-　16	空調設備　部分詳細図（2）	1:50												
M-　17	空調設備　部分詳細図（3）	1:50												
M-　18	換気設備　機器表（1）	1:—												
M-　19	換気設備　機器表（2）	1:—												
M-　20	換気設備　制気口ﾘｽﾄ（1）	1:—												
M-　21	換気設備　制気口ﾘｽﾄ（2）	1:—												
M-　22	換気設備　厨房フードリスト	1:—												
M-　23	換気設備　厨房フードドレン配管詳細図	1:—												
M-　24	換気設備　系統図（1）	1:—												
M-　25	換気設備　系統図（2）	1:—												
M-　26	換気設備　地下ピット平面図	1:150												
M-　27	換気設備　1階平面図（1）	1:100												
M-　28	換気設備　1階平面図（2）	1:100												
M-　29	換気設備　2階平面図（1）	1:100												
M-　30	換気設備　2階平面図（2）	1:100												
M-　31	換気設備　ボイラー室・ブロアー室詳細図	1:50												
M-　32	自動制御設備　計装図（1）	1:—												
M-　33	自動制御設備　計装図（2）	1:—												
M-　34	自動制御設備　計装図（3）	1:—												
M-　35	自動制御設備　計装図（4）	1:—												
M-　36	自動制御設備　1階平面図　ｴｱｺﾝﾘﾓｺﾝ配線図	1:150												
M-　37	自動制御設備　2階平面図　ｴｱｺﾝﾘﾓｺﾝ配線図	1:150												
M-　38	自動制御設備　1階平面図　全熱交換器ﾘﾓｺﾝ配線図	1:150												
M-　39	自動制御設備　2階平面図　全熱交換器ﾘﾓｺﾝ配線図	1:150												
M-　40	自動制御設備　地下ピット平面図	1:150												
M-　41	自動制御設備　1階平面図	1:150												
M-　42	自動制御設備　2階平面図	1:150												
M-　43	自動制御設備　受水槽詳細図・ボイラー室詳細図	1:—												

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	図面リスト	縮尺 A1 — A3 —	図面番号 M-共01
			設計者		作図者	後藤　利基						

設　計　概　要

1．一般事項

工事名称		（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	発注者		藤枝市（発注課：建築住宅課、担当課：学校給食課）
敷地	敷地位置	藤枝市緑町二丁目3-19　外16筆 北緯（ 34° 52′ 00″ ）　東経（ 138° 26′ 45″ ）	工事概要	工事種別	⊙新築　・増築　・別棟増築　・増改築　・改築　・移転　・用途変更 ・大規模修繕　・大規模模様替え　・内装
	用途地域	・第一種低層住専　・第二種低層住専　・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専　・第一種住居　・第二種住居　・準住居 ・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用 ⊙指定なし（市街化調整区域）		主要用途	給食センター
				駐車場等	申請部分　0 台　申請以外の部分　0 台 敷地内屋外　106 台　合計　106 台
	防火地域	・防火　・準防火 ⊙法22条地域　・指定なし ・2つの地域にわたる場合（　㎡・　㎡）		建築物	本体、屋外倉庫、機械室、ポンプ室、駐輪場･ﾊﾞｲｸ置場
	法定建蔽率	60%+角地10%＝70%		工作物	・調整池　1ヶ所　・埋設厨房廃水処理槽　1ヶ所 ・土壌脱臭装置　1ヶ所　・キュービクル　1箇所　・受水槽　1箇所
	法定容積率	200%		外構・造園	植栽、RC壁、大型引き戸門扉・袖門扉、メッシュフェンス、 設備配線ラック、駐輪場、バイク置場
	その他の指定（都市計画）	・藤枝市土地利用申請承認 ・緑地面積　6%以上確保（開発基準による）		解体	既存擁壁撤去（別途工事）
道路	道路の幅員	（東側）市道本町大東町線 幅員12.0m（南側）市道1地区42号線 幅員7.5m （西側）市道1地区24号線 幅員3.6m（4.0m）		工期予定	着工　令和　8 年　11 月　24 日　竣工　令和　10 年　8 月　31日
面積	敷地面積	11,032.42㎡（水路含む） ・2つの地域にわたる場合（　㎡、　㎡）	形態規制	日影規制	ー（10m以下）
		申請部分　申請以外の部分　合計		高度地区	ー
	建築面積	4,197.23 ㎡　ー ㎡　4,197.23 ㎡		斜線制限	道路：1.5/1　適用距離20m　隣地：立上り31m+2.5/1
	延べ面積 イ. 建物全体	5,393.54 ㎡　ー ㎡　5,393.54 ㎡	⇨	建蔽率	38.04%
	延べ面積 ハ. 昇降路	11.22 ㎡　ー ㎡　11.22 ㎡		容積率	48.55%
	延べ面積 ホ. 自動車車庫等	26.50 ㎡　ー ㎡　26.50 ㎡		緩和等	
		㎡　ー ㎡　㎡	消防法	防火対象物用途	(12)のイ：工場
	容積率対象延床面積	5,355.82 ㎡　ー ㎡　5,355.82 ㎡			

2．建築物概要（棟別）

棟番号	1	2	3	4	5	6	7
棟名	新学校給食センター	屋外倉庫	ブロワ室	ポンプ室	自転車置場	駐輪場	
建物用途	工場	倉庫	機械室	受水槽ポンプ室	自転車置場	駐輪場	
工事種別	新築	新築	新築	新築	新築	新築	
構造・規模	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	アルミパネル造	アルミ造	アルミ造	
基礎・杭	杭基礎	地盤改良	地盤改良	直接基礎	直接基礎	直接基礎	
耐火建築物	・耐火建築物　・準耐火建築物（イ-１）　・準耐火建築物（イ-２） ・準耐火建築物（ロ-１）　⊙準耐火建築物（ロ-２） ・耐火構造建築物　・特定避難時間倒壊等防止建築物　・その他	その他	その他	その他	その他	その他	
防火対象物	(12)のイ：工場	(14)	(15)	(15)	(15)	(15)	
屋根	加熱型改質アス塗膜防水工法の上保護コンクリート（外断熱仕様）	カラーGL折板	コンクリート	ステンレス	アルミ押出型材	アルミ押出型材	
外壁	金属断熱サンドイッチパネルt35横張（フッ素樹脂塗料）	カラーGL折板	コンクリート	ステンレス	ー	ー	
軒裏	ハニカムパネルt100	GL折板原板	ー	ー	屋根同材	屋根同材	
建築面積	4,118.87 ㎡	17.55 ㎡	19.31 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	㎡
延べ面積	5,316.94 ㎡	17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	㎡

各階床面積

階	㎡	（　坪）	階高　m	階別用途						
1	4,181.20	1,264.81	4.2	工場	17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	
2	1,127.42	341.04	3.9	事務所						
塔屋	8.32	2.52	－	事務所						
合計	5,316.94	1,608.37			17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	

高さ													
最高の高さ	9.710　m				3.310 m	3.515 m	3.800 m	2.165 m	2.175 m		m
最高の軒の高さ	9.030　m				3.070 m	3.165 m	3.800 m	1.910 m	1.920 m		m

建築設備の種類	給水	排水	電気	ガス	換気	空調	避雷針	昇降機	非常用照明	非常用ELV	機械排煙	浄化槽（厨房廃水）	ガス漏れ警報
	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	・	⊙	⊙	・	・	⊙	⊙

消防設備の種類	自火報	非常警報	誘導灯・標識	漏電警報	屋内消火栓	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ	連結送水管	消防用水利	屋外消火栓	非常ｺﾝｾﾝﾄ	化学消火	消火器具
	⊙	⊙	⊙	・	⊙	・	・	・	・	・	・	⊙

3．中間検査

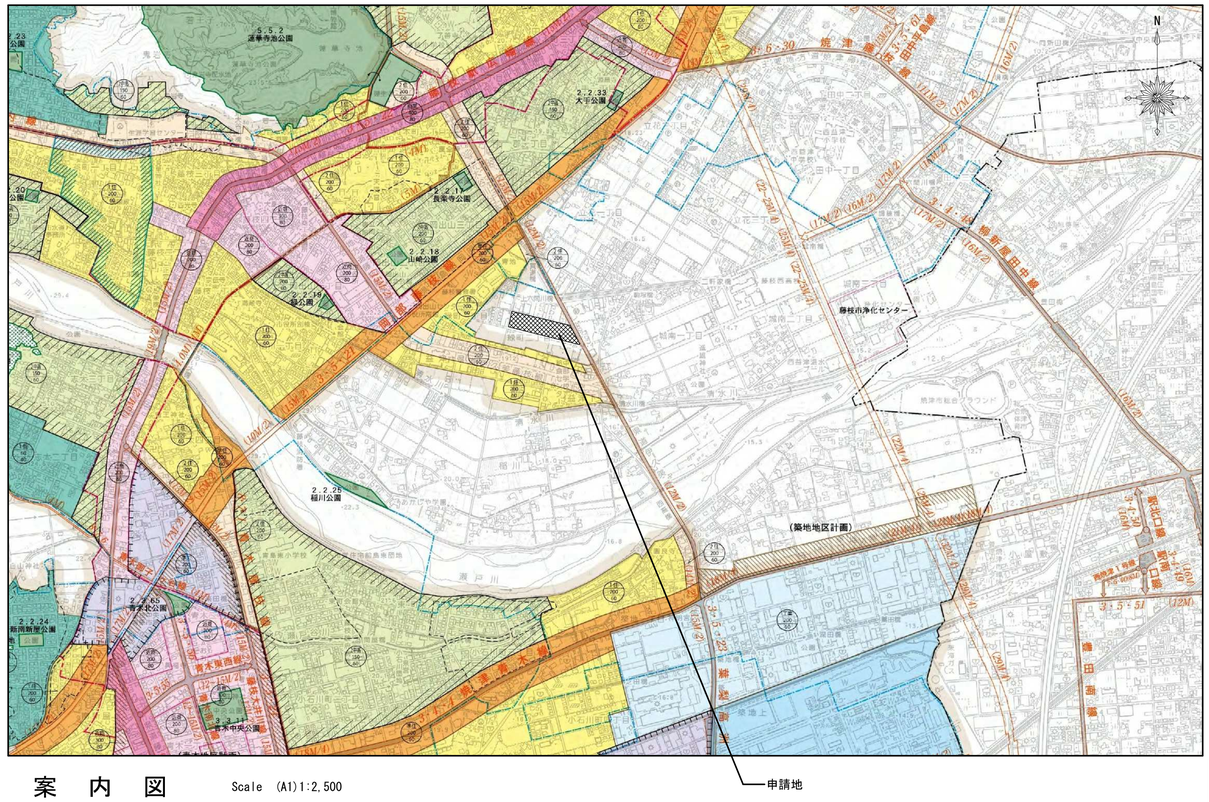
建築基準法第７条の３ に係る中間検査	無し
補助金交付の場合の行政等による検査	無し

4．その他

土地利用協議
開発協議
工場立地法適用無し
土地収用法

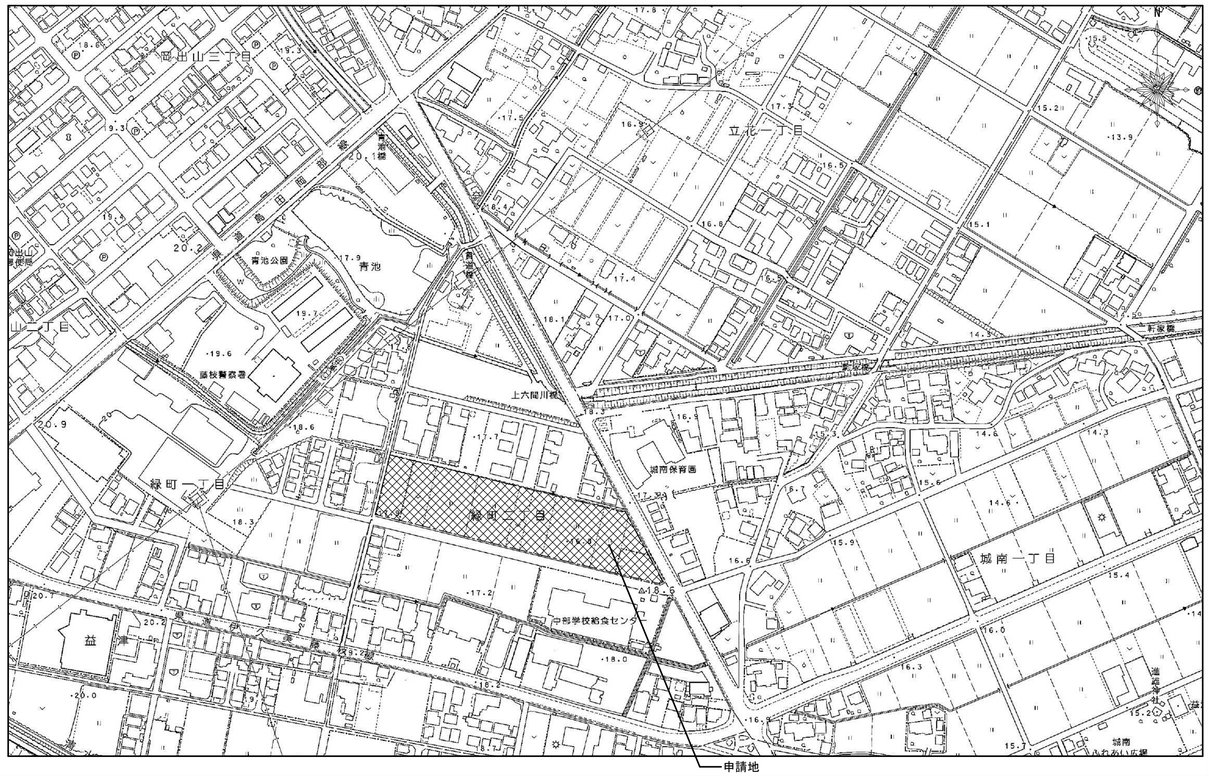
位置図

Scale　(A1)1:10,000



案内図

Scale　(A1)1:2,500



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名 設計概要・位置図・案内図
			設計者		作図者	後藤　利基			縮尺 A1 図示　A3 図示/2　図面番号 M-共02

工事区分表

躯体関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
1 RC造の（梁・壁・床）の貫通口・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○						
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○			
	貫通孔・開口部の補強	○						
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○			防火区画，防煙区画
	大型貫通孔（450φ以上）の墨出し・補強	○						
2 Ｓ、ＳＲＣ造梁貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	○						
	使用されたスリーブの穴埋め	○						
	予備スリーブの穴埋め	○						
	床デッキプレートの切込み	○						
3 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○			
	屋外・屋上の基礎　現場コンクリート製作	○						
	屋外・屋上の基礎　既製品		○	○	○			
	屋上基礎で押えｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○			
	機器取付け用アンカー・架台		○	○	○			建築設計図に表示あるものは建築
	配電盤・制御盤等の基礎	○						屋内外とも
4 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体	○						
	昇降路内ピット防水	○						
	各階出入口穴あけ・同補強	○						
	出入口扉・三方枠・インジケータ取付	○						
	三方枠、ｲﾝｼﾞｹｰﾀなどと壁廻り埋戻し・同補修	○						
	昇降路がＲＣ造の時、軌条・中間ﾋﾞｰﾑ・ﾌﾞﾗｹｯﾄ他昇降路内の鉄製部材一式							
	天井フック取付	○						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口及び同補修	○						
	昇降路がＳ造の時の中層ﾋﾞｰﾑﾌﾞﾗｹｯﾄ受けﾋﾟｰｽ	○						
	インターホンまでの配線工事		○					
	インターホンまでの配管工事		○					
	昇降路上部の煙感知器設置工事	※	○					※ＥＶ連動スイッチ
	動力用電源設備及びＤ種ｱｰｽ引込み配管、配線工事		○					
	昇降路上部の煙感知器設置工事		○					
	点検用コンセント配管、配線工事		○					
	外部インターホン用配管、配線引込み工事		○					
	電話中継盤までの遠隔監視用配管、配線工事		○					
5 その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○						
	ピット内防水・タラップ	○						
	避雷設備・同接地工事							

仕上げ関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
1 軽鉄天井・壁下地	補強を要するﾎﾞｰﾄﾞの切込み及び下地の寸断・補強	○	○	○	○			各工事に必要なものは各々の工事
	開口部の墨出し	※	○	○	○	※		※厨房機器に必要なものは建築工事
	各設備器具　開口補強	○						
2 既製間仕切	切り込み及び補強	○						
3 吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	※	○	○	○	※		※厨房機器に必要なものは建築工事
4 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○						ダクト接続枠及び水返しも建築工事
	ウエザーカバー、ベンドキャップ			○				地下ﾋﾟｯﾄ通気管は設備工事
	換気扇			○		○		二次側取付は設備工事
	シーリング	○		※				※設備工事との取合部は設備工事
5 湯沸室まわり	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○						
	フード	○		○				本体は建築工事、二次側取付は設備工事
6 厨房	厨房機器		○	○	○	○		本体及び据付は厨房二次側は設備工事
	床排水金物等	○						本体は建築工事、排水ﾄﾗｯﾌﾟは設備工事
	開口部隙間埋め	○				○		図示による
	調理場内フード			○				
7 便所まわり	洗面器				○			
	化粧鏡	○						
	ユニット型衛生器具				○			
	身障者用手すり	○			○			取付下地は建築工事
8 衛生設備機器	シャワーユニット	○	○	○	○			本体据付は建築、二次側は設備工事
	洗面カウンター	○						カウンター本体及び切込は建築工事
	衛生器具		○		○			電源は電気工事
	ペーパータオル				○			
	連装手洗い				○			
9 フリーアクセスフロア	コンセント							
	床パネルの切り込み加工							
10 その他	２重ピット及びトレンチのマンホールふた							
	機器搬入用フック　ビーム							
	チェーンブロック							
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○						
	マンホールふた		○		○			
	点検口（天井・床下）	○						
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け							
	自動開閉装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	○	○					配線は電気工事
	消火器ＢＯＸ設置工事	○						消火器共
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○					
	自動扉・電動シャッターからの付属スイッチ・センサーへの配管工事		○					
	洗濯機パン				○			
	配線ピット・ふた	○						
	コンテナ消毒保管庫上部補強材	○						

仕上げ関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
10 その他	エアシャワー	○	○	○				本体及び据付は建築二次側は設備工事
	ボイラー煙突	○		○				蒸気ボイラー本体、煙突接続は設備工事
	太陽光パネル							
	エアカーテン			○				
	太陽光パネル架台							
	プレハブ庫のパネル組付	○						
	プレハブ庫　警報機取付、配線	○						
	プレハブ庫　冷媒配管・スリーブ・インサート工事	○						
	プレハブ庫から室外機までのケーブル	○						

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　建設工事名

（仮称）新学校給食センター　空調設備工事

2　建設工事場所　　藤枝市　　郡　　区　緑町二丁目　地内

3　建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備　考
給食センター	S造	2階建	5,316.94	
屋外倉庫	S造	平屋建	17.55	
ブロワ室	RC造	平屋建	17.55	
ポンプ室	ｽﾃﾝﾚｽ造	平屋建	15.00	
自転車置場	ｱﾙﾐ造	平屋建	11.53	
駐輪場	ｱﾙﾐ造	平屋建	14.97	

4　工事科目（⊙印のあるもの）

⊙空気調和設備，換気設備	・給湯設備
⊙排煙設備	・消火設備
・衛生器具設備	・ガス設備
・屋内給水設備	・浄化槽設備
・屋外給水設備	・さく井設備
・屋内排水設備	・撤去工事
・屋外排水設備	⊙自動制御設備

Ⅱ　仕様

1　特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、以下の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書令和７年版による。

・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・建築物解体工事共通仕様書

2　標準図は以下の令和７年版による。

・建築工事標準詳細図
・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）

3　設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。

(1) 質問回答書（(2)～(5)に対するもの）　(2) 現場説明書　(3) 特記仕様書
(4) 図面　(5) 標準仕様書

4　特記仕様

(1) 項目は全て適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印のない場合は、※印を適用する。　⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項目	特記事項
一般事項	1 法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。
	2 工事実績情報の登録	受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｼｽﾃﾑ(ｺﾘﾝｽﾞ)に10営業日以内に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は完成時のみとする。
	3 工事の一時中止	藤枝市建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	4 施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	5 工事写真	営繕工事写真撮影要領令和５年版及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 令和５年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。
	6 監理事務所	※ 設けない ・ 設ける（・既存建物内の一部を使用する ・構内に新設する）
	7 工事用水電力等	本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
	8 電気保安技術者	※ 要　・ 不要
	9 工事用仮設物	敷地内につくることが　※ できる　・ できない
	10 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの　（・　・　） (2) 特別管理産業廃棄物　（・　・　） (3) 再資源化を図るもの　（・ 塩ビ管　・ 塩ビライニング鋼管） （・　・　）
		撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。引渡しを要する配管、ダクト等の保温は分離する。 不要となった配管、ダクトの支持金物、吊りボルト及びアンカーボルト等は本工事にて撤去する。
	11 特定建設資材の再資源化等	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（令和3年9月1日法律第104号）の通知の有無 ・通知を要しない（対象工事でない）　・通知を要する（対象工事である）
		対象建設工事の場合は、分別解体等、特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。 (1)分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・新築工事等	建築設備工事 ※有	※手作業 ・手作業・機械作業併用

	(2)特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地
・コンクリート	・	・
・コンクリート及び鉄から成る建設資材	・	・
・木材	・	・
・アスファルト・コンクリート	・	・

注)(1)、(2)については積算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。
受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

12 産業廃棄物管理票	(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ(https://www.jwnet.or.jp)が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰ」への登録（電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ）により行うこと。 これにより難い場合は監督職員と協議する。
13 建設副産物情報交換システム	事前に建設副産物情報交換システム等(以下、「ｺﾘﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｽ」という。)に登録及び必要事項を入力し、ｺﾘﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｽより出力される以下計画書等を監督員に提出する。 ①再生資源利用計画書(実施書) ②再生資源利用促進計画書(実施書) ③ｺﾘﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｽ登録済確認書(計画、実施) 工事完了時、ｺﾘﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｽより出力される上記①、②の実施書及び③の登録済証明書（実施）を監督員に提出する。
14 環境性能等	使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。
15 使用機材の選定	工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承諾を受ける。
16 地場産品	静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。 「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。
17 機材（工事材料）の検査等	使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。 ただし、別表１に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。
18 技能士	・配管施工（建築配管作業）　・建築板金施工（ダクト板金作業） ・熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・さく井施工（ﾊﾞｰｶｯｼｮﾝ式さく井工事作業又はﾛｰﾀﾘｰ式さく井工事作業） ・冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業) 技能士は一級技能士の資格を有する者とする。
19 排出ガス対策等	使用する建設機械は排出ｶﾞｽ対策及び低騒音型とする。
20 検査	中間検査　・対象工事（実施は中間検査実施基準による）　・対象外工事 工事施工途中における技術検査の実施回数等は監督職員の指示による。
21 完成図書	現場説明書による。
22 電子納品	電子納品特記仕様書による。 貸与する設計図データの有無（ ※ 有り　・ 無し ） 貸与するＣＡＤデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。
23 公共事業労務費調査に対する協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。 また、工期経過後においても同様とする。 （１）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 （２）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 （３）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 （４）対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
24 石綿含有建材の事前調査	「石綿障害予防規則の解説（令和3年3月29日一部改正厚生労働省労働基準局）」に基づき、対象となる場合は、石綿障害予防規則第三条第四項に定める者が行う。 なお、建築物の改修工事で請負代金額の合計額が100万円以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告システム」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督職員へ提出すること。 ※石綿事前調査結果報告システムには「gBizID（https://gbiz-id.go.jp）」への登録が必要となる。
25 地下埋設物の事故防止	国土交通省中部地方整備局「地下埋設物・躯体埋込み配管等の事故防止マニュアル（営繕版）」（令和５年12月１日）を参考に、事故防止対策を行うこと。 (https://www.cbr.mlit.go.jp/eizen/hinkaku/chika.htm)

総合試運転調整等	1 総合試運転調整 風量調整 水量調整 室内外空気の温湿度の測定 室内気流及びじんあいの測定	※行わない　・行う（行う場合は下記４項目を選択） ※行う　・行わない ※行う　・行わない ※行う　・行わない ・行う　※行わない
	2 騒音の測定	⊙行う　※行わない
	3 飲用水の水質の測定	※行わない　・行う（行う場合は下記３項目を選択） ・水道法施行規則第56条第2項による検査項目（臭気、味、色、色度、濁度、残留塩素） ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律第4条第3項による28項目及び残留塩素 ・水道法施行規則第10条による全項目及び残留塩素
	4 雑用水の水質の測定	・行う（行う場合は下記による）　※行わない ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律に規定される建築物環境衛生管理基準による
	5 化学物質の濃度測定	※ 不要　・ 要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。

共通工事	1 屋外支持金物	配管及びダクトの屋外支持金物 ※ ステンレス製　・ 亜鉛メッキ　・
	2 溶接部の検査	標準仕様書第2編2.5.17の溶接部の非破壊検査の適用 ・ 要（　）　※ 不要 なお、放射線透過検査の判定基準は監督職員との協議による。
	3 地中埋設標	※ 設ける　・ 設けない
	4 埋設標識テープ	※ 設ける　・ 設けない
	5 管の防食	保温を施さない鋼管類でコンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、防食用ビニールテープ巻き1/2重ね1回巻きとする。 ただし外面を樹脂等で被覆された鋼管は除く。
	6 建物導入部配管	変位吸収方法について図面に特記なき場合は、スリークッションにより施工する。（可とう性を有する管種は除く） ポリエチレン管の異種管接続部における点検用桝（※設ける　・設けない）
	7 弁類の開閉表示	配管に設ける弁類には、開閉表示を（ ※ 行う　・ 行わない） （土中埋設の弁類も同様）
	8 保温工事	図面に特記のない場合の保温材は下記によるほか標準仕様書第2編による。 一　般　※ グラスウール 屋外、多湿箇所(給水管)※ ポリスチレンフォーム 〃　(給水管以外)※ グラスウール　・ ロックウール 防火区画貫通部　※ ロックウール 高温部　※ ロックウール 図面に特記のない場合の保温箇所は下記によるほか標準仕様書第2編による。 ・保温要（　・消火管　・　）
	9 亜鉛めっき以外の鉄面のさび止め塗装	※鉛・クロムフリーさび止めペイント(JIS K 5674) ・
	10 養生	養生範囲（　）養生方法（　）
	11 足場その他	※別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 内部足場の種別　※脚立、足場板等　・ 外部足場の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 Ａ種 ： 施工箇所面に枠組足場を設ける Ｂ種 ： 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける Ｃ種 ： 施工箇所面に単管本足場を設ける Ｄ種 ： 仮設ゴンドラを使用する Ｅ種 ： 移動式足場を使用する 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省令和５年12月）における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。 外部足場の防護シートによる養生 （ ※養生シート(※Ⅰ類　・Ⅱ類)　・養生ネット　・ネット状養生シート(・Ⅰ類　・Ⅱ類)） （・防音シート　・防音パネル　・　・　・　）
	12 埋戻し土及び盛土	※ 根切り土の中の良質土(ただし、ｺﾝｸﾘｰﾄ管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類
	13 残土処分	※構内敷きならし ⊙構外搬出　片道運搬距離（ 27 ）km、DID区間（ ⊙ 有　・ 無 ） 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出場所の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所の名称及び所在地(　) 受入条件（　） 仮置場（　）　大石建材 受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ・構内指示の場所にたい積
	14 配管施工時の土留め	土留め工法は、(※　軽量鋼矢板先行工法　・　)とする。
	15 コンクリート圧縮強度試験	現場での試験（ ※ 行わない　・行う ） 工場での試験成績書の提出（ ※ 求める　・求めない ）
	16 関連する工事との施工区分	図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	17 配管埋設深さ	一般敷地内では管の上端より(※300mm　・　mm)以上とし、構内道路は(※600mm　・　mm)以上とする。
	18 凍結深度	凍結深度(　mm)以上とする。
	19 非破壊検査	改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を・ 行う（床 ※ 放射線透過検査　・ レーダー探査　・ 行わない 壁 ※ レーダー探査　・ 放射線透過検査）
	20 既存インサート及びアンカー	原則として、再使用しない。やむを得ず再使用する場合は、引張強度の確認試験を行う。
	21 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（４）を満たすものとする。 （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料材、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。 （２）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 （３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 （４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	22 ステンレス鋼管継手	呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は下記による。 メカニカル形管継手（ ※ 拡管式　・ プレス式　・　）
	23 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ型　・ スリーブ型
	24 絶縁継手・絶縁フランジ	異種金属間の接合箇所に取り付ける。
	25 ポンプ	汚物用水中モーターポンプ電動機の極数は、（ ※ 4極・ 6極 ）とする。
	26 電線保護物類	(1)合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品 ※タイプ25を使用するものとする。 (2)金属製露出管路 次の管路は塗装を行う。溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。 （※屋外　※機械室等を除く屋内の見えがかり部　・　）
	27 水槽類	(3)ケーブル配線の保護管は、標準仕様書(電気設備工事編)金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２ｍ以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。 水槽類のオーバーフロー管及びドレン管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。
	28 耐震施工	設備機器の設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度に、機器の質量を乗じたものとする。 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。

設置場所	設備耐震クラス分類		
	Ｓクラス	Ａクラス	Ｂクラス
上層階・屋上階及び塔屋	2.0	1.5	1.2
中間階	1.5	1.0	0.72
地下階及び１階	1.0	0.6	0.48
地下階及び１階に設置する水槽	1.5	1.0	0.72

＊防振支持する場合は、設備機器の応答倍率を考慮し、Ｂクラスのときは Ａクラスを、Ａクラスのときは Ｓクラスを適用する。

本施設は（ ・防災上重要な機能を必要とする防災拠点等⊙ 防災上重要な施設・ 一般の施設 ）とする。

機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。

クラス	防災拠点等及び防災上重要な施設	一般の施設
Ｓクラス	・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 ・	・ 防災機器 ・ ・
Ａクラス	・ 熱源機器 （・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷温水機 ・） ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト ・	・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 ・ ・
Ｂクラス	Ｓ、Ａクラス以外の機器等	Ｓ、Ａクラス以外の機器等

設備機器・配管等の支持、固定は別表２による。
ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。
※配管、ダクト、機器等の天井吊下げ用として金属拡張アンカーを用いる場合には、締付け方式のアンカーを使用すること。

空気調和設備・換気設備	1 設計条件	

	屋外		屋内（調整目標値）	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	℃	%	２６ ℃	%
冬期	℃	%	２２ ℃	%

2 ばい煙濃度計	※ 設ける(図示による)　・設けない
3 ばいじん量測定口	※ 設ける　・設けない (口径80ｍｍ以上でフランジ付とし、機器ごとに煙道の直線部に設ける。)
4 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機の吸込側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm以上とする。なお、製作及び取付は標準仕様書のアングルフランジ工法ダクトの当該事項による。図示されたチャンバーには、450×600の点検口を設ける。 (3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
5 吹出口・吸込口	※ アルミニウム製　・ 鋼製
6 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 操作方式　瞬時通電式又は電動式（DC24V 0.7A以下） 復帰方式　・ 遠隔　・ 定格入力は DC24V 0.7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式　・ 遠隔　・
7 矩形ダクト	低圧ダクト　・ コーナーボルト工法 （・ 共板フランジ工法　・ スライドオンフランジ工法） ・ アングルフランジ工法 コーナーボルト工法は長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用する。
8 冷媒ガス	冷媒ガスはメーカー標準とする。
9 配管材料	冷媒管　※ 冷媒用断熱材被覆銅管 冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） 冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA） 排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 排水･通気用耐火二層管（屋内に限る） 油管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） 蒸気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 ブライン管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。 塩化ビニル管は塩化ビニル管・継手協会発行の ＜建物排水通気用 硬質塩化ビニル管・継手 技術資料（Ｑ＆Ａ）＞に記載されている設置基準に基づき、伸縮継手を設置すること。
10 冷媒管保温外装	屋内露出　※ 保温化粧ケース　・ 屋外露出　・ 保温化粧ケース　※ ステンレス鋼板　・ なお、保温化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。

株式会社池田建築設計事務所		検図 ・ ・	作図 ・ ・
藤枝市都市建設部建築住宅課			
（仮称）新学校給食センター　空調設備工事			図番 M－01
日付 2026.06.30	縮尺	図名 機械設備工事特記仕様書	1/2

機械設備工事特記仕様書

	11 機器類の落下防止措置	吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。 吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。
	12 パネル落下防止措置	天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。 「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による パネル落下防止措置を行う。
	13 既存ダクトの再利用	改修標準仕様書第３編２．２．７「既設ダクトの再利用」による。 ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う
	14 ダクト保温の範囲	外気取入ダクト（ＯＡ）：保温する 外気ダクト（ＥＡ）：外壁から１m保温する 給気ダクト（ＳＡ）：保温する 還気ダクト（ＲＡ）：保温しない 排煙ダクト（ＳＭ）：保温しない
排煙設備	1 ダクト	※ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（板厚 ※ 1.6 mm ・ mm）
	2 排煙口の形式	・ 天井取付 （・ スリット形 ・ パネル形 ） ・ 壁取付 （・ スリット形 ・ ）
	3 排煙口開放装置	・ 電気式（ 遠隔復帰 ・ 要 ・不要 ） ・ ワイヤー式
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
衛生器具設備	1 掃除流し	排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓
	2 洗浄水量	改修工事における大便器の洗浄水量の調整 調整を（※行う ・行わない） 大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。 新設の場合:6.5リットル、既存利用の場合:便器の仕様に合わせる
屋内給水設備	1 配管材料	屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB） 地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）
	2 配管接合	ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする）
屋外給水設備	1 上水道加入金	※ 不要 ・ 要（※ 別途 ・ 本工事）
	2 量水器	※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品）
	3 量水器桝	※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形
	4 配管材料	地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下） ・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） 架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・
	5 配管接合	ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする） 水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする
	6 緊急遮断弁装置	駆動方式 ※電気式 ・機械式
	7 水圧試験	水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。
屋内排水設備	1 配管材料	雑排水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水・通気用耐火二層管 汚水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 排水・通気用耐火二層管 通気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 排水・通気用耐火二層管
	2 配管施工	(1)排水横主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。
	3 試験	排水の通水試験は、桝への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む）
	4 その他	流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合 は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。 塩化ビニル管は塩化ビニル管・継手協会発行の ＜建物排水通気用 硬質塩化ビニル管・継手 技術資料（Ｑ＆Ａ）＞に記載されている設置基準に基づき、伸縮継手を設置すること。
屋外排水設備	1 放流納付金	※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事）
	2 配管材料	※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）
	4 桝類	マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要 塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要
	5 桝の深さ	※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水桝 小口径桝(150mm(流入口径75mm以下に限る)) : 深さ1,000mm以下 小口径桝(200mm) : 深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm) : 深さ2,500mm以下 雨水桝(ﾊﾞｽｹｯﾄ付) 小口径桝(150mm) : 深さ1,200mm以下 小口径桝(200mm) : 深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm) : 深さ2,500mm以下
給湯設備	1 配管材料	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 銅管（硬質Ｍ） ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆銅管（保温14mm以上）
	2 配管保温外装	屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー 屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板
消火設備	1 配管材料	屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・
	2 屋内消火栓箱	※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P － ）による。
ガス設備	1 ガスの種類	・ 都市ガス Kcal/nm3 ・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3
	2 配管材料	屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP･PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE）
	3 ガスメーター	※ 貸与品 ・ 本工事
	4 ガス漏れ警報機	外部出力端子（ ※ 有 ・ 無 ）
	5 緊急遮断弁	・ 設ける ・ 設けない
	6 その他	ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。
浄化槽設備	1 処理方式	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（ 方式）
	2 処理能力	処理対象人員 人 処理水量 m3/日
	3 本体構造	・ コンクリート製 ・ ＦＲＰ製
	4 放流水質	BOD ppm 以下
	5 配管材料	・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 （ ） ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) （ ） ・
	6 土留め工法	・
さく井設備	1 種別	・ 浅井戸 ・深井戸
	2 掘削方式	・ ロータリー式 ・ パーカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式
	3 ケーシング	・ 配管用炭素鋼鋼管(黒) ※ 配管用ステンレス鋼鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管(VP)(閉塞型) ・ 硬質塩化ビニル管(VP)(解放型)
	4 ストレーナー	※ ステンレス製巻線型 ・
	5 電気検層	※ 連続測定 ・ スポット測定
	6 水質検査	※ 行う（原水全項目） ・ 行わない
撤去工事	1 冷媒（フロン系）の回収	※ 無 ・ 有 （１）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （２）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。
	2 家庭用エアコンの処分	家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。
	3 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等	※ 無 ・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。
	4 石綿含有建材の除去工事	事前調査 ※ 行う ・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ・ 天井材 ・ 外壁（ ・塗材 ・スレート ・ ） 撤去部に石綿を含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。
その他		1 ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。 2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表１

名称
配管類
・給水管
・排水管
・冷温水管
・冷媒管
・
弁類
・仕切弁
・バタフライ弁
・逆止弁
・緊急遮断弁
・
ポンプ類
・給水用ポンプ
・空調用ポンプ
・消火ポンプ
・
タンク類
・受水槽
・高架水槽
・貯湯槽
・膨張水槽
・
空気調和設備工事用機材
・パッケージエアコン
・空気調和機（AHU）
・冷却塔
・ヘッダー
・
自動制御機器類
・中央監視盤
・リモート盤
・
・
・
給排水衛生設備工事用機材
・衛生器具
・水栓
・組立てマンホール
・
・
浄化槽
・ＦＲＰ浄化槽
・動力盤、制御盤
・ブロワー
・
・
さく井
・スクリーン
・
・
・
・
その他
・スリーブ（つば付鋼管）
・
・
・
・

⊙ 印の付いたものを適用する。

別表２
設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成２５年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン＊	ガイドライン＊
防災上重要な施設	ガイドライン＊	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

＊ガイドラインに記載のない内容は、センター指針及び標準仕様書を適用する。

株式会社池田建築設計事務所		検図	作図
藤枝市都市建設部建築住宅課		・	・
（仮称）新学校給食センター 空調設備工事			図番 M－02
日付 2026.06.30	縮尺	図名 機械設備工事特記仕様書 2/2	

建物法規関連概要

（凡例 無：規制なし=適用外 有：規制有り=適用）

■（建築基準法以外の規制）　・無　⊙有　（ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法　）
（省ｴﾈ法　）
（中高層建築物条例　）
（　）

■（建設場所の特殊性からの規制）　⊙無　・有　（・航空進入規制・重要電波走路・その他）
（　）

■（建築基準法関連）

1．都、県、市町村の条例規制　無　⊙有　（静岡県条例　）
（　）
（　）
（　）

2．構造規制　⊙無　・耐火建築物・準耐火（・イ・ロ）・防火構造
・無窓の居室構造規制

3．高さ規制（隣地斜線制限　以外）　⊙無　・有　（高度地域規制　・１種／２種・３種・４種）
（最高高さ規制・無　・有 10ｍ）

4．延焼の恐れのある部分　・無　⊙有　（北側・　側・　側　）

5．採光面積規制（該当建物用途　）　・用途　（保育所　）
無　⊙有　（　）

6．換気設備規制　無　⊙有　（　）
（開口面積　居室面接の1/20　以外）　（　）

7．階段規制の別　⊙直通階段・避難階段・特別避難階段

8．廊下の幅員　・適用外⊙有　（片側居室廊下　⊙1.2m　・1.8m）
（両側居室廊下　⊙1.6m　・2.3m）

9．階段踊り場の幅、蹴上げ、踏面、規制　・　（140cm以上/16cm以下/26cm以上　）
・　（140cm以上/18cm以下/26cm以上　）
⊙　（120cm以上/20cm以下/24cm以上　）
・　（ 75cm以上/22cm以下/21cm以上　）
（　）

10．敷地内通路　・適用外⊙適用　（1.5m　）

11．建物周囲の通路　⊙適用外・適用　（・隣地境界線側1.5m・建物周囲3.0m）

12．防火区域規制　・無　⊙有　（⊙1500㎡・3000㎡・竪穴区画・その他）

13.排煙設備規制　・無　⊙有　（⊙自然排煙　・機械排煙　・併用）

14.非常照明設備規制　・無　⊙有

15.非常用進入口規制　⊙無　・有　（・バルコニー設置　・代替窓　）

16.内装制限の適用　・無　⊙有　（該当項目：・用途上・規模上⊙排煙無窓居室）

17.高さ31mを超える建築物制限　⊙適用外・有　（・非常用ELV設置　・その他　）
（　）
（　）

■（消防法関連）

1．消防法上の用途　（１）項のイ～（１７）項の判定　→　令別表第 １５項

2．消防法上の有窓階、無窓階の判定　⊙有窓階・無窓階（　２階）

3．消防設備の設置判定

・防火管理者	⊙要	・不要	判定基準	（法８条　）
・防炎防火対象物	⊙要	・不要	判定基準	（法８条の３　）
・消火器	⊙要	・不要	判定基準	（令10条　）
・屋内消火栓設備	・要	⊙不要	判定基準	（令11条　）
・スプリンクラー設備	・要	⊙不要	判定基準	（令12条　）
・消火設備（・水・泡・酸・ハ・粉）	・要	⊙不要	判定基準	（令13条～令18条　）
・屋外消火栓設備	・要	⊙不要	判定基準	（令19条　）
・動力消防ポンプ設備	・要	⊙不要	判定基準	（令20条　）
・自動火災報知設備	⊙要	・不要	判定基準	（令21条　）
・ガス漏れ火災警報設備	・要	⊙不要	判定基準	（令21条の２　）
・漏電火災警備設備	・要	⊙不要	判定基準	（令22条　）
・火災報知設備	⊙要	・不要	判定基準	（令23条　）
・非常警報設備	⊙要	・不要	判定基準	（令24条　）
・避難器具	・要	⊙不要	判定基準	（令25条　）
・誘導灯	⊙要	・不要	判定基準	（令26条　）
・消防用水	・要	⊙不要	判定基準	（令27条　）
・排煙設備	・要	⊙不要	判定基準	（令28条　）
・連結散水設備	・要	⊙不要	判定基準	（令28条の２　）
・連結送水栓	・要	⊙不要	判定基準	（令29条　）
・非常コンセント設備	・要	⊙不要	判定基準	（令29条の２　）
・消防検査対象物	⊙要	・不要	判定基準	（法17条の３の２　）
・点検、報告対象物	・要	⊙不要	判定基準	（法８条の２の２　）
・その他特殊設備	（　）			
	（　）			

機械設備工事関連　共通事項

○ 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れのある部分には平12建告1388号第1に従い防腐措置を講じる
（令129条の2の4第2号）
○ 配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う(令129条2の4第2号)
○ 屋上から突出する水槽・煙突・冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部分又は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する
○ 建築物に設ける給水、排水その他に配管設備は以下の仕様とする
①風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする
②建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の破損防止のための措置を講ずる
③管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合においては、伸縮継ぎ手又は可とう継ぎ手を設ける等有効は損傷防止のための措置を講ずる
④管を支持し又は固定する場合において、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる
○ 配管・風道が令112条15項に規定する防火区画及び令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通する場合には、ﾓﾙﾀﾙまたはﾛｯｸｳｰﾙを充填する(令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、平12建告1376.1377号)
風道が前記区画貫通する場合には防火設備(防火ダンパー)を合わせて設置する（令112条16項、平12建告1376号)
なお東京都内においては、東京都条例8条区画に対応し、前記74条の処置を行う
なお静岡県内においては、静岡県条例25条の2に対応し、前記区画と同じ処置を行う
○ 裸火区画(他区画とも)の貫通ダクトには防火ダンパーを設置する
○ 防火ダンパーの構造方法は昭和48建告2565号に適合した物（認定品）とする
外復帰形FD丸：NBK-02-010　角：NBK-02-002　外復帰形SFVD丸：NBK-02-009　角：NBK-02-001
VC用FD：第01EG021号、第07EG002号
ｳｪｻﾞｰﾎﾊﾞｰ用FD：第09EG366号、第03EG010号、第11EG373号、第11EG374号　※認定番号は参考とする
○ 防火ダンパーの設置は平12建告1376号に適合して行う
○ 防火区画貫通のFD設置部分には点検口を設置とする。
○ 給水装置については水道法施行令5条、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の規定に従う
（水道法16条、給水装置の構造及び材質に関する省令）
○ 排水設備の構造は下水道法10条3項及び同法施行令8条の規定に従う
○ ガス及び換気設備は、ガス事業法施行規則108条の規定に従う
○ ガス設備は、ガス事業法施行規則40条の4の規定に従う
○ ガス設備は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律38条の2の規定に従う
○ 火を使用する設備またはその使用に際し火災の発生の恐れのある設備の位置構造は火災予防条例の規定に従う
（消防法9条）
○ 消防用設備などは、消防法17条の規定に従い設置する(消防法施行令2章、消防法17条2項に基づく条例)
○ 冷媒・電力管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する
床：PS060FL-0129　壁：PS060WL-0131　中空壁：PS060WL-0130　※認定番号は参考とする
○ さや管工法用給水・給湯・電力配管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する　※認定番号は参考とする
床：PS060FL-0073､-0586　ｽﾗﾌﾞ埋設：KK19-101(日本消防設備安全ｾﾝﾀｰ性能評定)
壁：PS060WL-0065､-0066､-0587　中空壁：PS060WL-0101
○ さや管工法用ガス配管用区画貫通処理部材は国土交通大臣認定品を使用する
壁：PS060WL-0622､-0623　ｽﾗﾌﾞ埋設：KK24-017(日本消防設備安全ｾﾝﾀｰ性能評定)　※認定番号は参考とする
○ 給水・排水工事については所轄官庁の規定に準拠し、指定工事店が施工する
○ ウォーターハンマー防止の処置は、減圧弁・水撃防止器を設置する事で行う事
○ 排水管の傾斜、管径は SHASE-S 206 の排水管選定線図、排水負荷単位法を使用し、それらを満足したものとする
（令129条2の5の3）
○ 排水トラップは汚水に含まれる汚物等が付着または沈殿しない措置を講じた器具とする
（令129条2の5の2､5､昭和50建告1597号）
○ 通気管の構造は、昭50建告1597号第2第五号に適合にしたものとする
○ 耐火二層管の構造(20～150A)は、国土交通大臣認定品を使用する
PS060FL-0454､PS060FL-0391､PS060WL-0534､PS060WL-0312　※認定番号は参考とする
○ 貫通部ｽﾗﾌﾞ厚を100mm以上確保が必要な場合は､必要に応じてｽﾗﾌﾞ厚を確保する事
○ ガスを使用する設備へ接続するガス栓は、金属管、金属可とう管、金属入り強化ホースとねじ接合出来るものとし、そのガス栓は過流出安全機構を有した物(ヒューズコック)とする(令129条2の5の1の8､昭和56年建告1099号)
○ ガス種類、建物用途に応じたガス漏れ警報設備を設ける、ただし必要のない場合はこれを省略出来る
（令129条2の5の1の8､昭和56年建告1099号)
○ 給湯設備を設置する場合は、設置・固定方法は設置場所と重量に応じた方法とする
（平12年度建設省告示第1388号）
○ 阻集器は、建告第1597号 第2項 第4号の構造に適合したものとする。
○ 水栓の開口部に講じた水の逆流防止のための措置として、水栓とあふれ面の吐水口空間(150)を確保する。

転倒防止措置(平成12年度　建設省告示　第1388号、平成24年度　国土交通省告示　第1447号)

［一号］　脚部だけを固定する場合

設置場所	質　量	アスペクト比	アンカーボルトの種類	本　数	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え200kg以下	4.5以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.8kN/本以上のもの	3本以上	
		6以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.2kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	4以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.2kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	4以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	4本以上	
中間階	15kgを超え200kg以下	4以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	3本以上	
		6以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が2.8kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	4以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が3.6kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	3.5以下	径が16mm以上であり、かつ埋込長さが60mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が8.0kN/本以上のもの	3本以上	
		5以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
及び上層屋上	15kgを超え200kg以下	6以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
	200kgを超え350kg以下	5以下	径が12mm以上であり、かつ埋込長さが50mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、引張耐力が5.8kN/本以上のもの	4本以上	
	350kgを超え600kg以下	5以下	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが100mm以上であるJ形埋込アンカー又は、引張耐力が9.0kN/本以上のもの	4本以上	

※アスペクト比とは、給湯設備の幅または奥行の小さい方に対する高さの比をいう

［二号］　脚部と上部を固定する場合

設置場所	質　量	上部締結方法	本　数	底部固定仕様	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え60kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	—	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	1本以上		
		引張耐力の合計が0.3kN以上のアンカーボルト等	—		
	60kgを超え350kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.3kN/本以上のもの　3本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが12mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が0.8kN以上のアンカーボルト等	—		
	350kgを超え600kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	2本以上	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.5kN/本以上のもの　3本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が1.4kN以上のアンカーボルト等	—		
中間階、上層及び屋上	15kgを超え60kg以下	径が5mm以上であり、かつ埋込長さが20mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	—	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ	2本以上		
		引張耐力の合計が0.6kN以上のアンカーボルト等	—		
	60kgを超え350kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	1本以上	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が0.7kN/本以上のもの　3本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが25mm以上である木ねじ	4本以上		
		引張耐力の合計が2.0kN以上のアンカーボルト等	—		
	350kgを超え600kg以下	径が8mm以上であり、かつ埋込長さが35mm以上であるおねじ形あと施工アンカー	2本以上	径が10mm以上であり、かつ埋込長さが40mm以上であるおねじ形あと施工アンカー又は、せん断耐力が1.2kN/本以上のもの　3本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが25mm以上である木ねじ	6本以上		
		引張耐力の合計が3.6kN以上のアンカーボルト等	—		

［三号］　壁掛けの場合

設置場所	質　量	壁固定方法	本　数	機器番号
地階及び1階並びに敷地の部分	15kgを超え60kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	2本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが12mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.2kN/本以上のもの	4本以上	
	60kgを超え100kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	2本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	4本以上	
中間階、上層及び屋上	15kgを超え60kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.5kN/本以上のもの	2本以上	
		径が4.8mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.3kN/本以上のもの	4本以上	
	60kgを超え100kg以下	径が6mm以上であり、かつ埋込長さが30mm以上であるあと施工アンカー又は、引張耐力が0.5kN/本以上のもの	4本以上	
		径が5.5mm以上であり、かつ有効打ち込み長さが15mm以上である木ねじ又は、引張耐力が0.4kN/本以上のもの	8本以上	

［四号］　計算により安全上支障のないことを確認する
例えば、質量やアスペクト比等が告示に示された一号～三号を満たさない場合など

火気使用ダクトの板厚

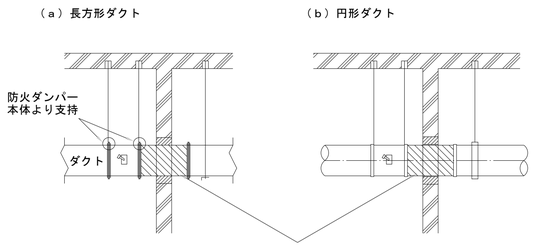
排気ダクト等の板厚（入力が21キロワットを超えるもの）

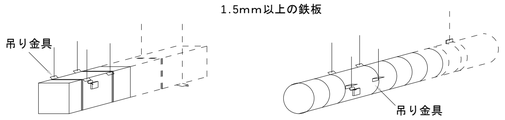
	フードの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
フードの板厚	450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	ダクトの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
排気ダクトの板厚	450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	円形ダクトの直径（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
	300以下	0.5以上	0.6以上
	300を超え　750以下	0.5以上	0.6以上
	750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上
	1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上
	1,250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

排気ダクト等の板厚（入力が21キロワット以下）

	フードの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
フードの板厚	800以下	0.5以上	0.6以上
	800を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	ダクトの長辺（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
排気ダクトの板厚	300以下	0.5以上	0.5以上
	300を超え　450以下	0.5以上	0.6以上
	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
	1,800を超えるもの	1.0以上	1.2以上
	円形ダクトの直径（単位ミリメートル）	板厚（単位ミリメートル） ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
	300以下	0.5以上	0.5以上
	300を超え　750以下	0.5以上	0.6以上
	750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上
	1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上
	1,250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

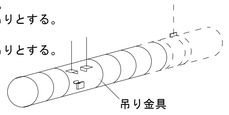
ダクトの防火区画貫通部施工要領





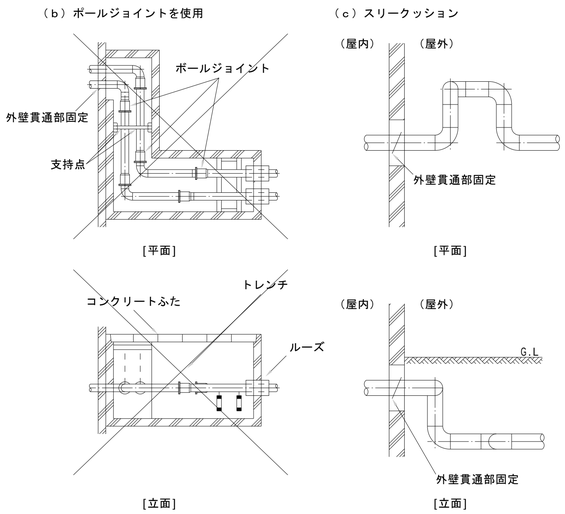
内径300mm超

注（イ）　長方形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　　ただし、長辺が300mm以下の場合は2本吊りとする。
（ロ）　円形の防火ダンパーは、4本吊りとする。
　　ただし、内径が300mm以下の場合は2本吊りとする。



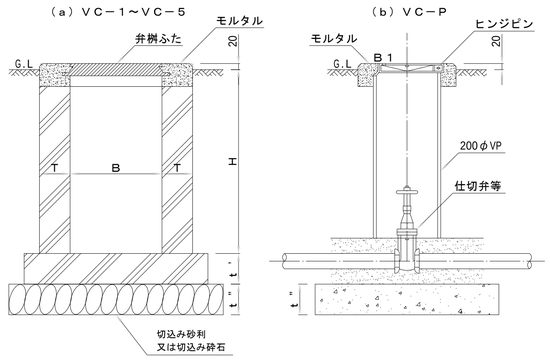
内径300mm以下

建築物導入部の変位吸収配管要領



注　トレンチは、建築物と構造的に一体化しないこと。

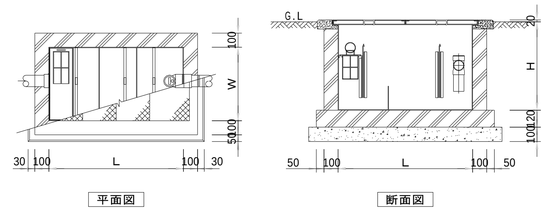
弁桝



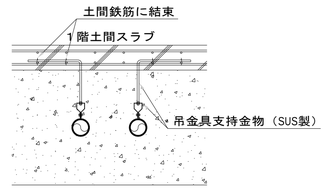
記　号	弁の呼び径	Ｂ	Ｈ	Ｔ	ｔ’	ｔ”	ふた
ＶＣ－Ｐ	25以下	200φ	－	－	－	100	Ｂ１
ＶＣ－１	40以下	180×180	550	75	75	100	Ｂ１
ＶＣ－２			850	100	100	100	
ＶＣ－３	50～80	300×300	700	100	100	100	MHA-P300
ＶＣ－４			900				
ＶＣ－５	100～200	450×450	1,200	120	120	100	MHA-P450

注（イ）　本表のＢ及びＨ寸法は、５Ｋ仕切弁を対象とする。
（ロ）　コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。
　　なお、コンクリート部は工場製品でもよい。
（ハ）　桝底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。
（ニ）　ＶＣ－Ｐの配管廻りは、山砂の類とする。

グリーストラップ据付参考図

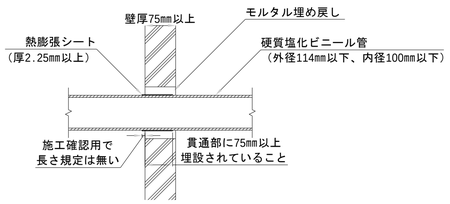


土間配管支持



全ての配管に適用する。

熱膨張シートによる区画貫通措置の施工例

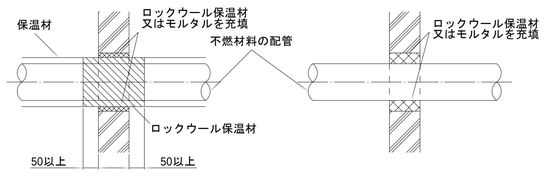


配管の防火区画貫通部施工要領

単位　mm

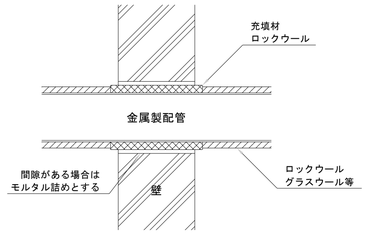
不燃材料の配管が、「建築基準法施行令第112条第15項」に規定する防火区画を貫通する場合

（ａ）貫通部において保温が必要な配管　　（ｂ）貫通部において保温が必要ない配管



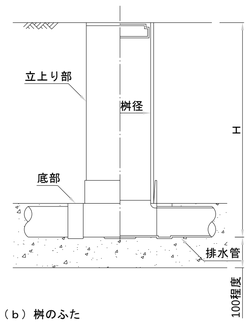
注（イ）　不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。
（ロ）　貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱落防止措置を施す。
（ハ）　不燃材料以外のスリーブ材（紙製仮枠等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。

保湿等のある配管の防火区画貫通部措置工法例



小口径桝施工要領

（ａ）硬質塩化ビニル桝



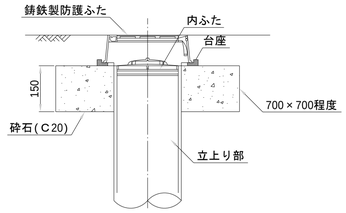
単位：mm

記号	底部種類	桝径	流入口径	流出口径	H
ST	ストレート	200	100 125 150	100 125 150	1200 以下
90Y	90度合流				
45Y	45度合流				
90L	90度曲り				
45L	45度曲り				
DR	ドロップストレート				

（ｂ）桝のふた

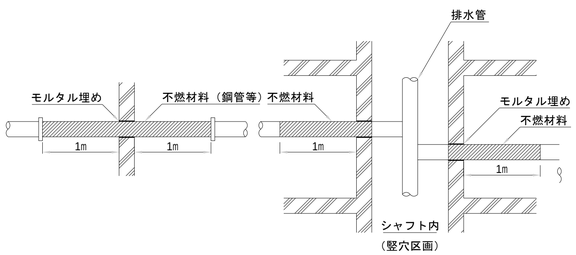
名称		適用区分例
密閉ふた		車道以外
鋳鉄製防護ふた	T8A	大型の車両が通行しない場所

（ｃ）鋳鉄製防護ふたの設置例

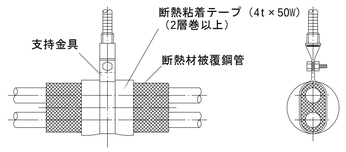


注（イ）　プラスティック桝は、JSWAS K-7（下水道用硬質塩化ビニル製ます）とし、ふたの耐荷重を必要とする場合は、JSWAS G-3（下水道用鋳鉄製防護ふた）による。
（ロ）　立上り部は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）のVU又はJIS K 9797（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管）のRS-VUとする。
（ハ）　桝のふたは、特記がない場合には密閉ふたとする。
（ニ）　鋳鉄製防護ふたは、台座を設け設置する。
（ホ）　良質地盤の場合のインバート桝の据付けは、桝の下端より100mm程度の山砂の類を施し、据付ける。
（ヘ）　表示例
　　記号　流入口径－桝径
　　ＳＴ　100－200

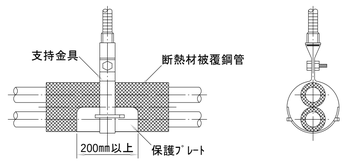
防火区画等の貫通



冷媒配管の支持の例

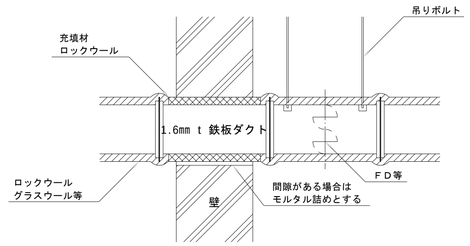


断熱粘着テープの重ね巻き（２層巻き以上）により、配管荷重（自重）による支持金具の断熱材への食い込みを吸収する方法

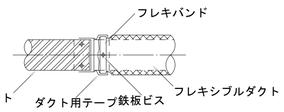


配管受け面積の広い保護プレートで支持することにより、配管荷重（自重）による断熱材の潰れを防止する方法

保湿等のあるダクトの防火区画貫通部措置工法例



フレキシブルダクトとの接続



訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　特記仕様書（４）	縮尺 A1 N.S A3 N.S	図面番号 M-04
		設計者		作図者	後藤　利基						

空調機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：33.5kW/37.5kW COMP:11.1kW×1 FAN：1.03kW×1 APF(2015)：6.5 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：9.41kW 暖房：12.6kW	R	屋上	RXYA335A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　223kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量39.2kW
EHP-1-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×2 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.097kW 暖房：0.108kW	1	玄関・ﾎｰﾙ	FXYCA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-1-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	事務室	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-1-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：壁掛形 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.028kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.018kW 暖房：0.016kW	1	更衣室(男)	FXYAA28AA	
EHP-1-4	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：壁掛形 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.028kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.018kW 暖房：0.016kW	1	更衣室(女)	FXYAA28AA	
EHP-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：85.0kW/95.0kW COMP:(13.3kW×1)＋(12.1kW×1) FAN:(0.66kW×2)＋(0.42kW×2) APF(2015)：5.7 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：23.9kW 暖房：28.6kW	R	屋上	RXYA850A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　543kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量75.8kW
EHP-2-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×2 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.097kW 暖房：0.108kW	1	荷受室1	FXYCA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-2-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：16.0kW/18.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	器具洗浄室1	FXYFA160AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-2-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：9.0kW/10.0kW FAN：0.046kW×2 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.090kW 暖房：0.086kW	1	荷受室2	FXYCA90AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-2-4	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：3.6kW/4.0kW FAN：0.053kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.028kW 暖房：0.024kW	1	根菜処理室	FXYFA36AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-2-5	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：9.0kW/10.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.128kW 暖房：0.110kW	1	検収室	FXYFA90AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：95.0kW/106kW COMP:(12.9kW×1)＋(13.3kW×1) FAN:(0.67kW×2)＋(0.66kW×2) APF(2015)：5.4 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：27.5kW 暖房：29.7kW	R	屋上	RXYA950A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　606kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量89.6kW

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-3-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：14.0kW/16.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	肉魚下処理室	FXYFA140AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-3-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	仕分室	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-3-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	器具洗浄室2	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-4	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：28.0kW/31.5kW COMP:8.24kW×1 FAN：0.61kW×1 APF(2015)：5.9 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：8.77kW 暖房：9.23kW	R	屋上	RXYA280A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　222kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量24.1kW
EHP-4-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：7.1kW/8.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	3	1φ200V 冷房：0.063kW 暖房：0.064kW	1	前室1-1	FXYCA71AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-4-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.039kW 暖房：0.035kW	1	前室1-2	FXYCA28AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-5	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：112kW/125kW COMP:(20.5kW×1)＋(12.9kW×1)×2 FAN:(0.88kW×2)＋(0.67kW×2) APF(2015)：5.1 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：35.3kW 暖房：37.8kW	R	屋上	RXYA1120A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　669kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量97.6kW
EHP-5-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：16.0kW/18.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	野菜下処理室	FXYFA160AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-5-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	3	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	野菜上処理室	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-6	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：112kW/125kW COMP:(20.5kW×1)＋(12.9kW×1)×2 FAN:(0.88kW×2)＋(0.67kW×2) APF(2015)：5.1 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：35.3kW 暖房：37.8kW	R	屋上	RXYA1120A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　669kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量109.2kW
EHP-6-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	6	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	揚物･焼物･ 蒸し物調理室	FXYTA140AA	
EHP-7	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：50.0kW/56.0kW COMP:12.9kW×1 FAN:0.67kW×2 APF(2015)：5.4 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：14.6kW 暖房：14.6kW	R	屋上	RXYA500A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　334kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量50.4kW

※ 図中仕様の数値は冷暖房能力以外は参考値とする。
※ 機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。
※ ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。
※ R-32機種は冷媒遮断弁を取り付ける。冷媒漏洩対応として、冷媒遮断弁は単独設置とし、漏洩検知は漏洩センサー内蔵リモコンとする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　機器表（１）	縮尺 A1 N.S A3 N.S / 図面番号 M-05
			設計者		作図者	後藤　利基					

空調機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-7-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：14.0kW/16.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	器具洗浄室3	FXYFA140AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-7-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	FXYTA140AA	
EHP-8	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：73.0kW/82.5kW COMP:(13.7kW×1)＋(8.47kW×1) FAN:(0.66kW×2)＋(0.61kW×1) APF(2015)：5.7 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：21.7kW 暖房：25.0kW	R	屋上	RXYA730A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　494kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量72.8kW
EHP-8-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	煮炊き調理室	FXYTA140AA	
EHP-9	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：90.0kW/100kW COMP:13.3kW×2 FAN:（0.66kW×2）×2 APF(2015)：5.6 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：25.8kW 暖房：30.2kW	R	屋上	RXYA900A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　571kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量86.8kW
EHP-9-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	煮炊き調理室	FXYTA140AA	
EHP-9-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：14.0kW/16.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	煮炊き調理室	FXYFA140AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-10	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：73.0kW/82.5kW COMP:(13.7kW×1)＋(8.47kW×1) FAN:(0.66kW×2)＋(0.61kW×1) APF(2015)：5.7 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：21.7kW 暖房：25.0kW	R	屋上	RXYA730A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　494kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量72.8kW
EHP-10-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	ﾎﾞｲﾙ室	FXYTA140AA	
EHP-11	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：112kW/125kW COMP:(20.5kW×1)＋(12.9kW×1)×2 FAN:(0.88kW×2)＋(0.67kW×2) APF(2015)：5.1 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：35.3kW 暖房：37.8kW	R	屋上	RXYA1120A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　669kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量109.2kW
EHP-11-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	6	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	和え物室	FXYTA140AA	
EHP-12	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：122kW/140kW COMP:21.1kW×2 FAN:（0.88kW×2）×2 APF(2015)：5.0 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：40.0kW 暖房：47.8kW	R	屋上	RXYA1220A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　670kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量120.8kW

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-12-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	ｺﾝﾃﾅ室	FXYTA140AA	
EHP-12-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：16.0kW/18.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	3	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	1	ｺﾝﾃﾅ室	FXYFA160AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-13	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：95.0kW/106kW COMP:(12.9kW×1)＋(13.3kW×1) FAN:(0.67kW×2)＋(0.66kW×2) APF(2015)：5.4 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：27.5kW 暖房：29.7kW	R	屋上	RXYA950A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　606kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量93kW
EHP-13-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	ｺﾝﾃﾅ室	FXYTA140AA	
EHP-13-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：9.0kW/10.0kW FAN：0.046kW×2 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.090kW 暖房：0.086kW	1	配送風除室	FXYCA90AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-13-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.2kW/2.5kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.031kW 暖房：0.028kW	1	前室3	FXYCA22AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-14	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：95.0kW/106kW COMP:(12.9kW×1)＋(13.3kW×1) FAN:(0.67kW×2)＋(0.66kW×2) APF(2015)：5.4 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：27.5kW 暖房：29.7kW	R	屋上	RXYA950A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　606kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量91kW
EHP-14-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	洗浄室	FXYTA140AA	
EHP-14-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：8.0kW/9.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.074kW 暖房：0.083kW	1	前室2-1	FXYCA80AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-14-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.2kW/2.5kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.031kW 暖房：0.028kW	1	前室2-2	FXYCA22AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-15	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：90.0kW/100kW COMP:13.3kW×2 FAN:（0.66kW×2）×2 APF(2015)：5.6 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：25.8kW 暖房：30.2kW	R	屋上	RXYA900A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　571kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量89.8kW
EHP-15-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：厨房用ｴｱｺﾝ 冷暖房能力：14.0kW/14.0(16.0)kW FAN：0.130kW×1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.240kW 暖房：0.226kW	1	洗浄室	FXYTA140AA	

※ 図中仕様の数値は冷暖房能力以外は参考値とする。
※ 機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。
※ ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。
※ R-32機種は冷媒遮断弁を取り付ける。冷媒漏洩対応として、冷媒遮断弁は単独設置とし、漏洩検知は漏洩センサー内蔵リモコンとする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　機器表（２）	縮尺 A1 N.S / A3 N.S　図面番号 M-06
			設計者		作図者	後藤　利基					

空調機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-15-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：7.1kW/8.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.063kW 暖房：0.064kW	1	回収風除室	FXYCA71AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-15-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.039kW 暖房：0.035kW	1	特別洗浄室	FXYCA28AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-16	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：67.0kW/77.5kW COMP:11.8kW×2 FAN:（1.03kW×1）×2 APF(2015)：6.5 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：18.9kW 暖房：26.9kW	R	屋上	RXYA670A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　446kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量70.5kW
EHP-16-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：7.1kW/8.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.063kW 暖房：0.064kW	2	2階ﾎｰﾙ	FXYCA71AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-16-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：8.0kW/9.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.074kW 暖房：0.083kW	2	見学通路	FXYCA80AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-16-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	2	研修ﾎｰﾙ	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-16-4	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×2 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.097kW 暖房：0.108kW	2	見学通路	FXYCA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：77.5kW/90.0kW COMP:(14.1kW×1)＋(11.7kW×1) FAN:(0.66kW×2)＋(1.03kW×1) APF(2015)：5.9 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：21.8kW 暖房：29.3kW	R	屋上	RXYA775A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　495kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量83.1kW
EHP-17-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：5.6kW/6.3kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	4	1φ200V 冷房：0.059kW 暖房：0.056kW	2	従業員通路	FXYCA56AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.2kW/2.5kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.031kW 暖房：0.028kW	2	更衣室前室(男)	FXYCA22AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(1方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.078kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.054kW 暖房：0.054kW	2	更衣室(男)	FXYKA28AA	防振吊金物
EHP-17-4	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：5.6kW/6.3kW FAN：0.053kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.043kW 暖房：0.038kW	2	休憩室(男)	FXYFA56AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-5	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.039kW 暖房：0.035kW	2	更衣室前室(女)	FXYCA28AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-6	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：4.5kW/5.0kW FAN：0.046kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.041kW 暖房：0.037kW	2	更衣室(女)	FXYCA45AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-7	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：7.1kW/8.0kW FAN：0.053kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.072kW 暖房：0.068kW	2	休憩室(女)	FXYFA71AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-8	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：7.1kW/8.0kW FAN：0.053kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	3	1φ200V 冷房：0.072kW 暖房：0.068kW	2	食堂	FXYFA71AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-17-9	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：2.8kW/3.2kW FAN：0.053kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.028kW 暖房：0.024kW	2	打合せ室	FXYFA28AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-18	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：67.0kW/77.5kW COMP:11.8kW×2 FAN:（1.03kW×1）×2 APF(2015)：6.5 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：18.9kW 暖房：26.9kW	R	屋上	RXYA670A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　446kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量54.4kW
EHP-18-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	2	ﾘﾈﾝ庫(非汚染)	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-18-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：11.2kW/12.5kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	2	ﾘﾈﾝ庫(汚染)	FXYFA112AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-18-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向) 冷暖房能力：16.0kW/18.0kW FAN：0.106kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.217kW 暖房：0.207kW	2	洗濯室	FXYFA160AA	防振吊金物 自動昇降ﾊﾟﾈﾙ
EHP-19	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室外機)	型式：冷暖房切替形 冷暖房能力：77.5kW/90.0kW COMP:(14.1kW×1)＋(11.7kW×1) FAN:(0.66kW×2)＋(1.03kW×1) APF(2015)：5.9 他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：21.8kW 暖房：29.3kW	R	屋上	RXYA775A	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材（建築工事） ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品 保護網 JIS B 8616に準拠　495kg 室内ﾕﾆｯﾄ合計容量112.0kW
EHP-19-1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：外気処理ｴｱｺﾝ　天井埋込ﾀﾞｸﾄ形(加湿無ﾀｲﾌﾟ) 冷暖房能力：28.0kW/17.4kW FAN：0.380kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.930kW 暖房：0.930kW	1	器具洗浄室1	FXYMA280ZAN	防振吊金物
EHP-19-2	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：外気処理ｴｱｺﾝ　天井埋込ﾀﾞｸﾄ形(加湿無ﾀｲﾌﾟ) 冷暖房能力：28.0kW/17.4kW FAN：0.380kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	1φ200V 冷房：0.930kW 暖房：0.930kW	1	器具洗浄室2	FXYMA280ZAN	防振吊金物

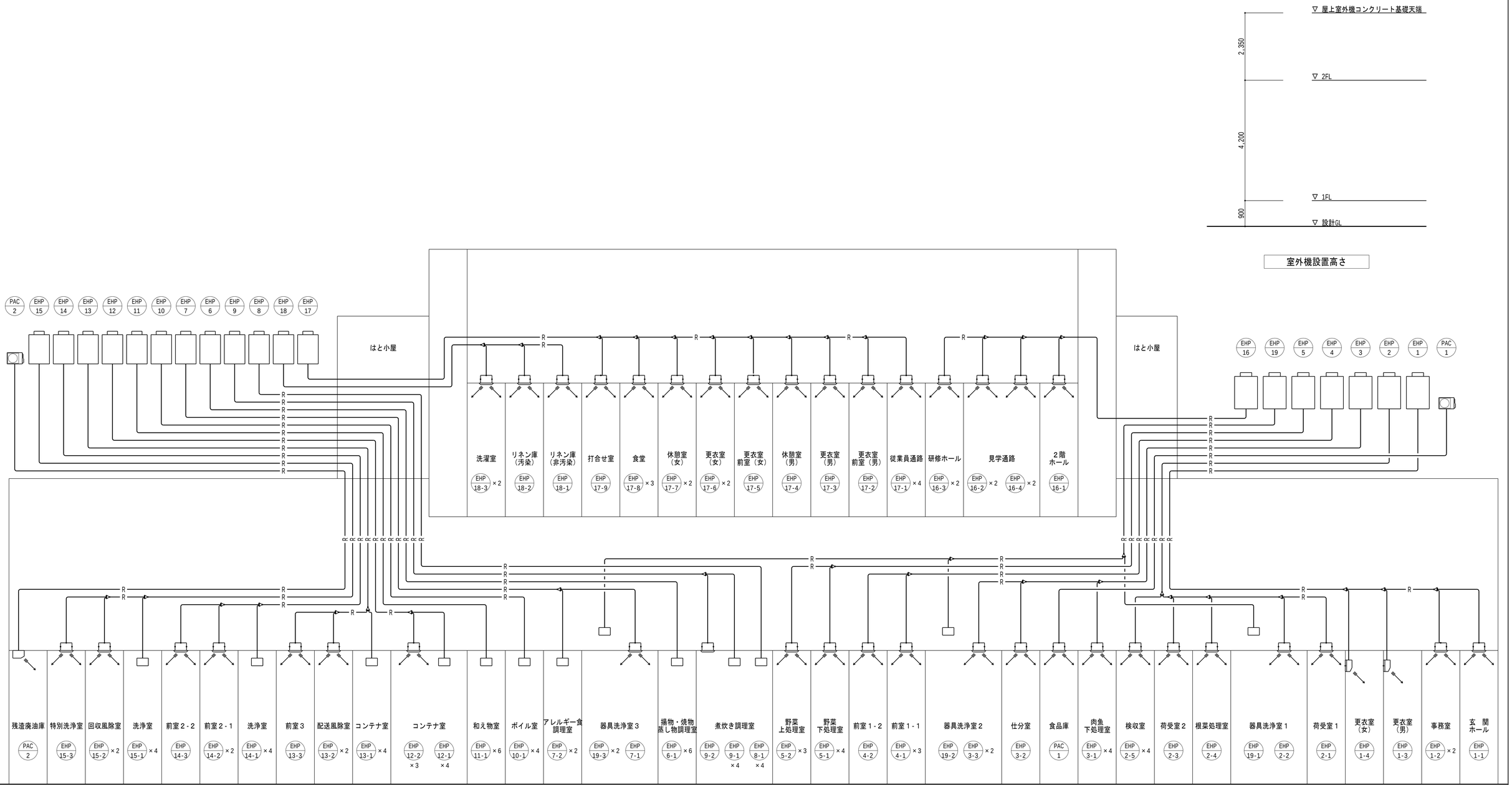
※ 図中仕様の数値は冷暖房能力以外は参考値とする。
※ 機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。
※ ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。
※ R-32機種は冷媒遮断弁を取り付ける。冷媒漏洩対応として、冷媒遮断弁は単独設置とし、漏洩検知は漏洩センサー内蔵リモコンとする。

空調機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
EHP-19-3	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：外気処理ｴｱｺﾝ　天井埋込ﾀﾞｸﾄ形(加湿無ﾀｲﾌﾟ) 冷暖房能力：28.0kW/17.4kW FAN：0.380kW×1 ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	2	1φ200V 冷房：0.930kW 暖房：0.930kW	1	器具洗浄室3	FXYMA280ZAN	防振吊金物
PAC-1	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：7.1(3.2～8.0)kW/8.0(3.6～10.6)kW COMP：1.29kW FAN：(内)0.106kW　(外)0.110kW APF(2015)：5.1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：1.87kW 暖房：2.34kW	1	食品庫	SSRG80DT	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(本工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 JIS B 8616に準拠
PAC-2	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井吊形 冷暖房能力：4.0(1.8～4.5)kW/4.5(2.1～5.9)kW COMP：0.71kW FAN：(内)0.060kW　(外)0.050kW APF(2015)：6.1 ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ・ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ・他標準付属品一式	1	3φ200V 冷房：1.05kW 暖房：1.00kW	1	残渣廃油庫	SSRH45DT	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(本工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 JIS B 8616に準拠
SR	集中ﾘﾓｺﾝ	型式：ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ式 仕様：接続台数64ｸﾞﾙｰﾌﾟ(最大128台) 一括運転・一括停止・ｽｹｼﾞｭｰﾙ機能他	1	AC100～240V 0.023kW	1	事務室	DCL401B1	
OPAC-1	全外気処理空調機 (ﾎﾞｲﾙ室)	型式：空冷直膨式立形ﾙｰﾌﾄｯﾌﾟ空調機 防虫対策仕様　外気ﾌｰﾄﾞ取込 除湿ﾓｰﾄﾞ・再熱機能(ﾎｯﾄｶﾞｽ方式)付 給気風量 ： 10000m3/h (給気風量範囲 ： 9600～13200m3/h) 機外静圧：400Pa(定格 ： 500Pa) 送風機給気側ﾌｧﾝ ： 両吸込多翼形(ｲﾝﾊﾞｰﾀ制御)7.5kW 放熱側ﾌｧﾝ ： ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ形 0.7kW×2 冷房能力：94.5KW(定格) 暖房能力：78.1KW(定格) 圧縮機 ： 比例制御方式 3.75kW×2 ｺｲﾙ形式 ： 2ｳｪｲ回路方式(蒸発器･凝縮器共) 冷媒 ： R410A ﾌｨﾙﾀ ﾌﾟﾚ ： 質量法70% ﾒｲﾝ ： 中性能ﾌｨﾙﾀ（比色法65%） 付属品 ： 多機能ﾘﾓｺﾝ(ｽｹｼﾞｭｰﾙ､ﾃﾞｰﾀ管理機能付)、 差圧計(外部出力端子付)	3	3φ200V 38.1kW(最大消費電力) 124.0A(最大電流)	RF	屋上	RFT-12000S-OA	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(建築工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
OPAC-2	全外気処理空調機 (AM:煮炊き調理室) (PM:洗浄室)	型式：空冷直膨式立形ﾙｰﾌﾄｯﾌﾟ空調機 防虫対策仕様　外気ﾌｰﾄﾞ取込 除湿ﾓｰﾄﾞ・再熱機能(ﾎｯﾄｶﾞｽ方式)付 給気風量 ： AM：12000m3/h・PM：11100m3/h (給気風量範囲 ： 9600～13200m3/h) 機外静圧：400Pa(定格 ： 500Pa) 送風機給気側ﾌｧﾝ ： 両吸込多翼形(ｲﾝﾊﾞｰﾀ制御)7.5kW 放熱側ﾌｧﾝ ： ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ形 0.7kW×2 冷房能力：94.5KW(定格) 暖房能力：78.1KW(定格) 圧縮機 ： 比例制御方式 3.75kW×2 ｺｲﾙ形式 ： 2ｳｪｲ回路方式(蒸発器･凝縮器共) 冷媒 ： R410A ﾌｨﾙﾀ ﾌﾟﾚ ： 質量法70% ﾒｲﾝ ： 中性能ﾌｨﾙﾀ（比色法65%） 付属品 ： 多機能ﾘﾓｺﾝ(ｽｹｼﾞｭｰﾙ､ﾃﾞｰﾀ管理機能付)、 差圧計(外部出力端子付)	2	3φ200V 38.1kW(最大消費電力) 124.0A(最大電流)	RF	屋上	RFT-12000S-OA	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(建築工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品
OPAC-3	全外気処理空調機 (ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室)	型式：空冷直膨式立形ﾙｰﾌﾄｯﾌﾟ空調機 防虫対策仕様　外気ﾌｰﾄﾞ取込 除湿ﾓｰﾄﾞ・再熱機能(ﾎｯﾄｶﾞｽ方式)付 給気風量 ： 5100m3/h (給気風量範囲 ： 3840～5280m3/h) 機外静圧：400Pa(定格 ： 500Pa) 送風機給気側ﾌｧﾝ ： 両吸込多翼形(ｲﾝﾊﾞｰﾀ制御)3.7kW 放熱側ﾌｧﾝ ： ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ形 0.7kW 冷房能力：29.2KW(定格) 暖房能力：29.5KW(定格) 圧縮機 ： 比例制御方式 3.75kW ｺｲﾙ形式 ： 2ｳｪｲ回路方式(蒸発器･凝縮器共) 冷媒 ： R410A ﾌｨﾙﾀ ﾌﾟﾚ ： 質量法70% ﾒｲﾝ ： 中性能ﾌｨﾙﾀ（比色法65%） 付属品 ： 多機能ﾘﾓｺﾝ(ｽｹｼﾞｭｰﾙ､ﾃﾞｰﾀ管理機能付)、 差圧計(外部出力端子付)	1	3φ200V 14.6kW(最大消費電力) 47.7A(最大電流)	RF	屋上	RFT-4800A-OA	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(建築工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品
OPAC-4	全外気処理空調機 (AM:揚物・焼物・ 蒸し物) (PM:ｺﾝﾃﾅ室)	型式：空冷直膨式立形ﾙｰﾌﾄｯﾌﾟ空調機 防虫対策仕様　外気ﾌｰﾄﾞ取込 除湿ﾓｰﾄﾞ・再熱機能(ﾎｯﾄｶﾞｽ方式)付 給気風量 ： AM：11750m3/h・PM：11000m3/h (給気風量範囲 ： 9600～13200m3/h) 機外静圧：400Pa(定格 ： 500Pa) 送風機給気側ﾌｧﾝ ： 両吸込多翼形(ｲﾝﾊﾞｰﾀ制御)7.5kW 放熱側ﾌｧﾝ ： ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ形 0.7kW×2 冷房能力：94.5KW(定格) 暖房能力：78.1KW(定格) 圧縮機 ： 比例制御方式 3.75kW×2 ｺｲﾙ形式 ： 2ｳｪｲ回路方式(蒸発器･凝縮器共) 冷媒 ： R410A ﾌｨﾙﾀ ﾌﾟﾚ ： 質量法70% ﾒｲﾝ ： 中性能ﾌｨﾙﾀ（比色法65%） 付属品 ： 多機能ﾘﾓｺﾝ(ｽｹｼﾞｭｰﾙ､ﾃﾞｰﾀ管理機能付)、 差圧計(外部出力端子付)	4	3φ200V 38.1kW(最大消費電力) 124.0A(最大電流)	RF	屋上	RFT-12000S-OA	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(建築工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品
OPAC-5	全外気処理空調機 (AM:和え物室) (PM:ｺﾝﾃﾅ室　天井内)	型式：空冷直膨式立形ﾙｰﾌﾄｯﾌﾟ空調機 防虫対策仕様　外気ﾌｰﾄﾞ取込 除湿ﾓｰﾄﾞ・再熱機能(ﾎｯﾄｶﾞｽ方式)付 給気風量 ： AM：6000m3/h・PM：6000m3/h (給気風量範囲 ： 4800～6600m3/h) 機外静圧：400Pa(定格 ： 500Pa) 送風機給気側ﾌｧﾝ ： 両吸込多翼形(ｲﾝﾊﾞｰﾀ制御)3.7kW 放熱側ﾌｧﾝ ： ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ形 0.7kW 冷房能力：47.2KW(定格) 暖房能力：39.1KW(定格) 圧縮機 ： 比例制御方式 3.75kW ｺｲﾙ形式 ： 2ｳｪｲ回路方式(蒸発器･凝縮器共) 冷媒 ： R410A ﾌｨﾙﾀ ﾌﾟﾚ ： 質量法70% ﾒｲﾝ ： 中性能ﾌｨﾙﾀ（比色法65%） 付属品 ： 多機能ﾘﾓｺﾝ(ｽｹｼﾞｭｰﾙ､ﾃﾞｰﾀ管理機能付)、 差圧計(外部出力端子付)	1	3φ200V 19.0kW(最大消費電力) 62.0A(最大電流)	RF	屋上	RFT-6000A-OA	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎(建築工事) 基礎上鋼材(建築工事) ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台 高調波対策品

※ 図中仕様の数値は冷暖房能力以外は参考値とする。
※ 機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。
※ ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。
※ R-32機種は冷媒遮断弁を取り付ける。冷媒漏洩対応として、冷媒遮断弁は単独設置とし、漏洩検知は漏洩センサー内蔵リモコンとする。

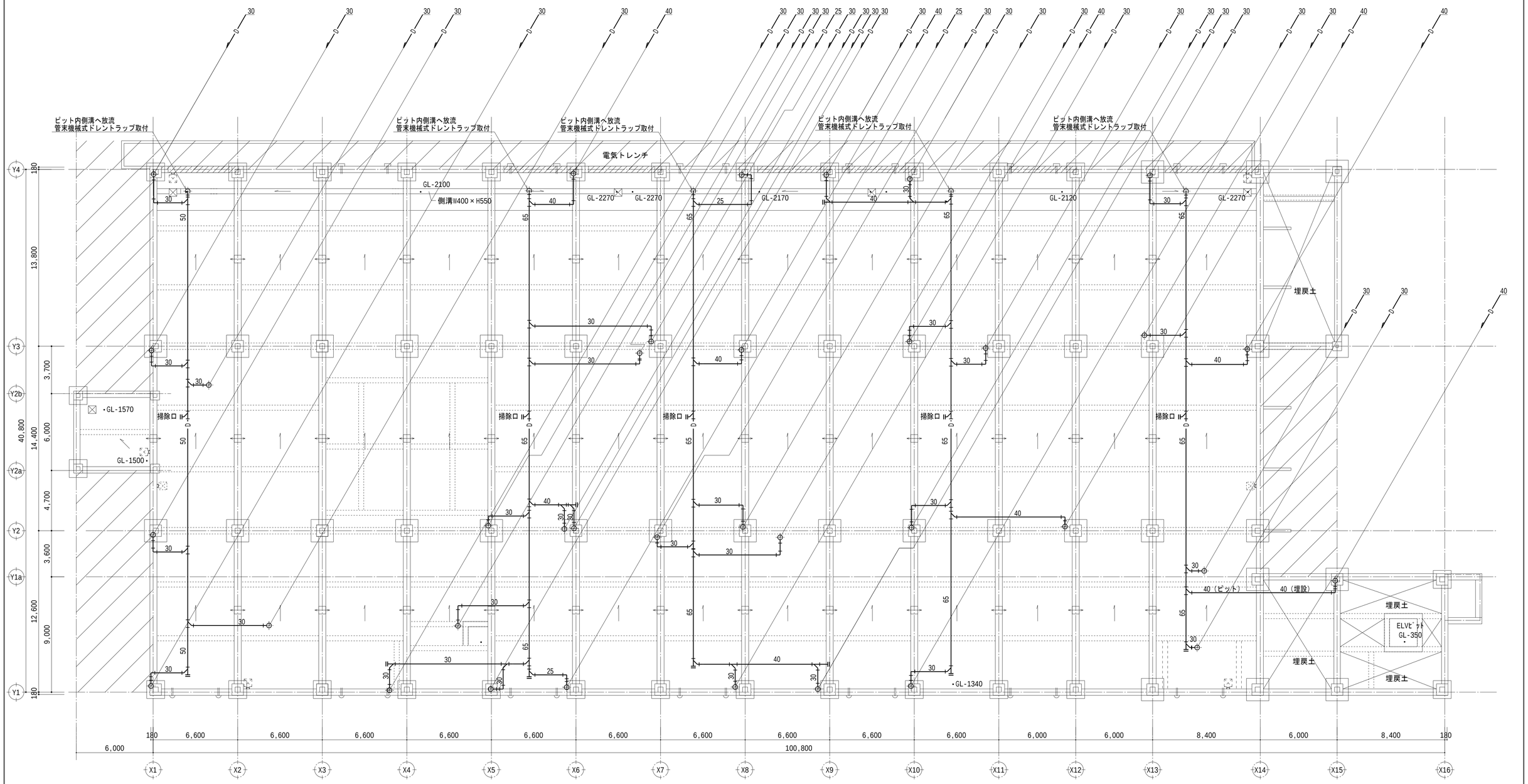


空調設備　系統図

特記事項
1）室内機、室外機間の渡り配線は、冷媒管共巻とする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名 空調設備　系統図
			設計者		作図者	後藤　利基			

縮尺		図面番号
A1	—	M-09
A3	—	



：地盤改良範囲を示す

― 凡 例 ―

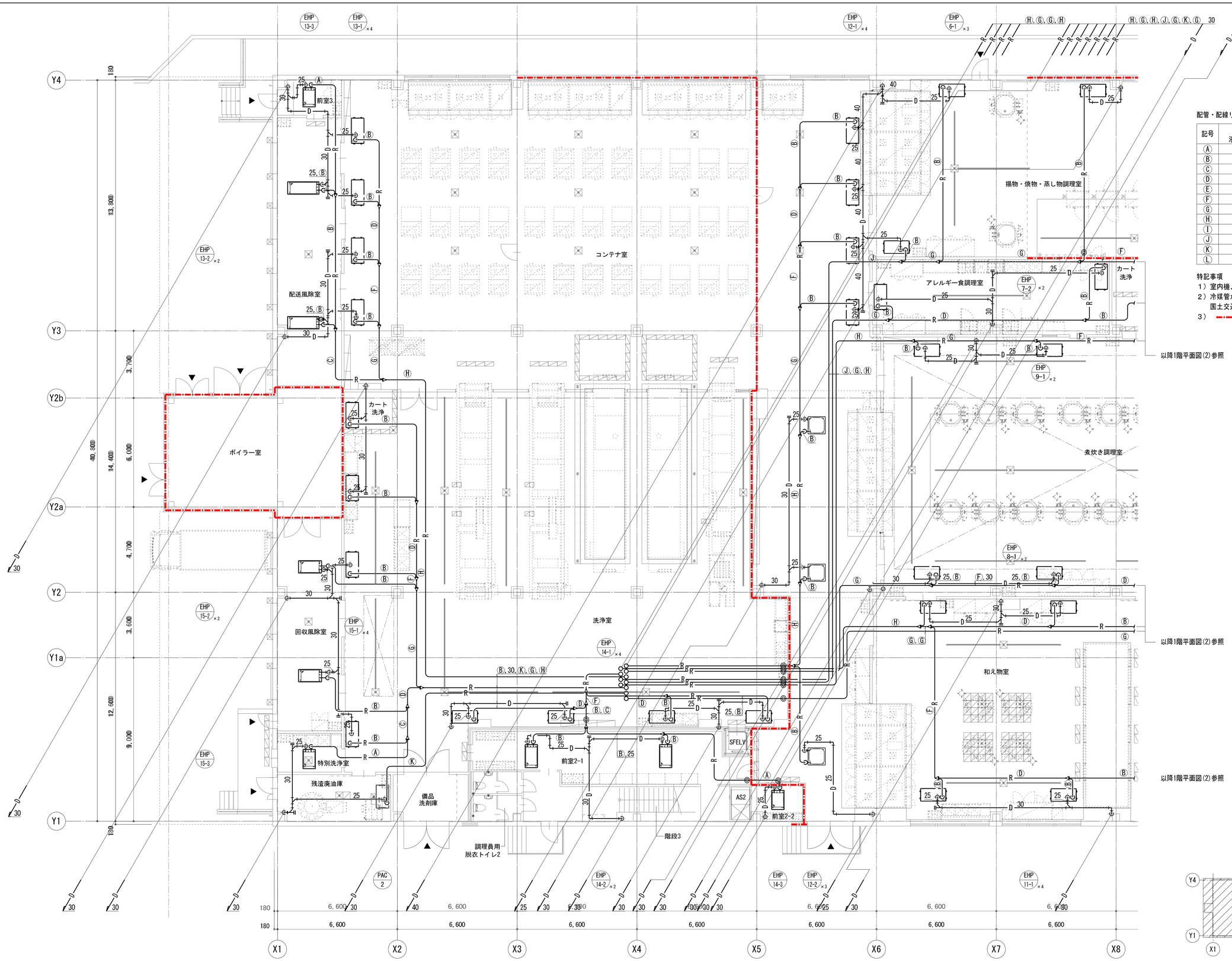
- 人通口Φ600（Y2：下端設計GL-470、その他：下端設計GL-1000）
- 釜場600×600×H750（排水ポンプ5台【設備工事】）
- 床下点検口600角　SUS製、防水、防臭型
- マンホールφ650　防水、防臭型
- SUS製タラップφ22×W400@400（6ヶ所）

※地下ﾋﾟｯﾄ内は北側に向い1%程度、排水溝内1%程度の水勾配を設ける。

- 通気孔100φ（網付きﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ）
- 通気孔100φ立上げ（網付きｴﾙﾎﾞ）※矩計(1)参照

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　地下ピット平面図
			設計者		作図者	後藤　利基				

縮尺		図面番号
A1	1/150	M-10
A3	1/300	



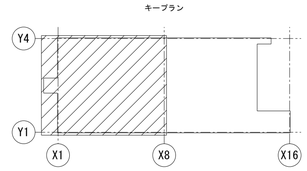
配管・配線リスト

記号	冷媒管 液管(φ)	冷媒管 ガス管(φ)	連絡・制御配線
Ⓐ	6.4	12.7	CEE1.25mm2-2C
Ⓑ	9.5	15.9	CEE1.25mm2-2C
Ⓒ	9.5	19.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓓ	9.5	22.2	CEE1.25mm2-2C
Ⓔ	12.7	25.4	CEE1.25mm2-2C
Ⓕ	12.7	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓖ	15.9	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓗ	19.1	31.8	CEE1.25mm2-2C
Ⓘ	19.1	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓙ	22.2	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓚ	6.4	12.7	EEF 2.0mm-4C
Ⓛ	9.5	15.9	EEF 2.0mm-4C

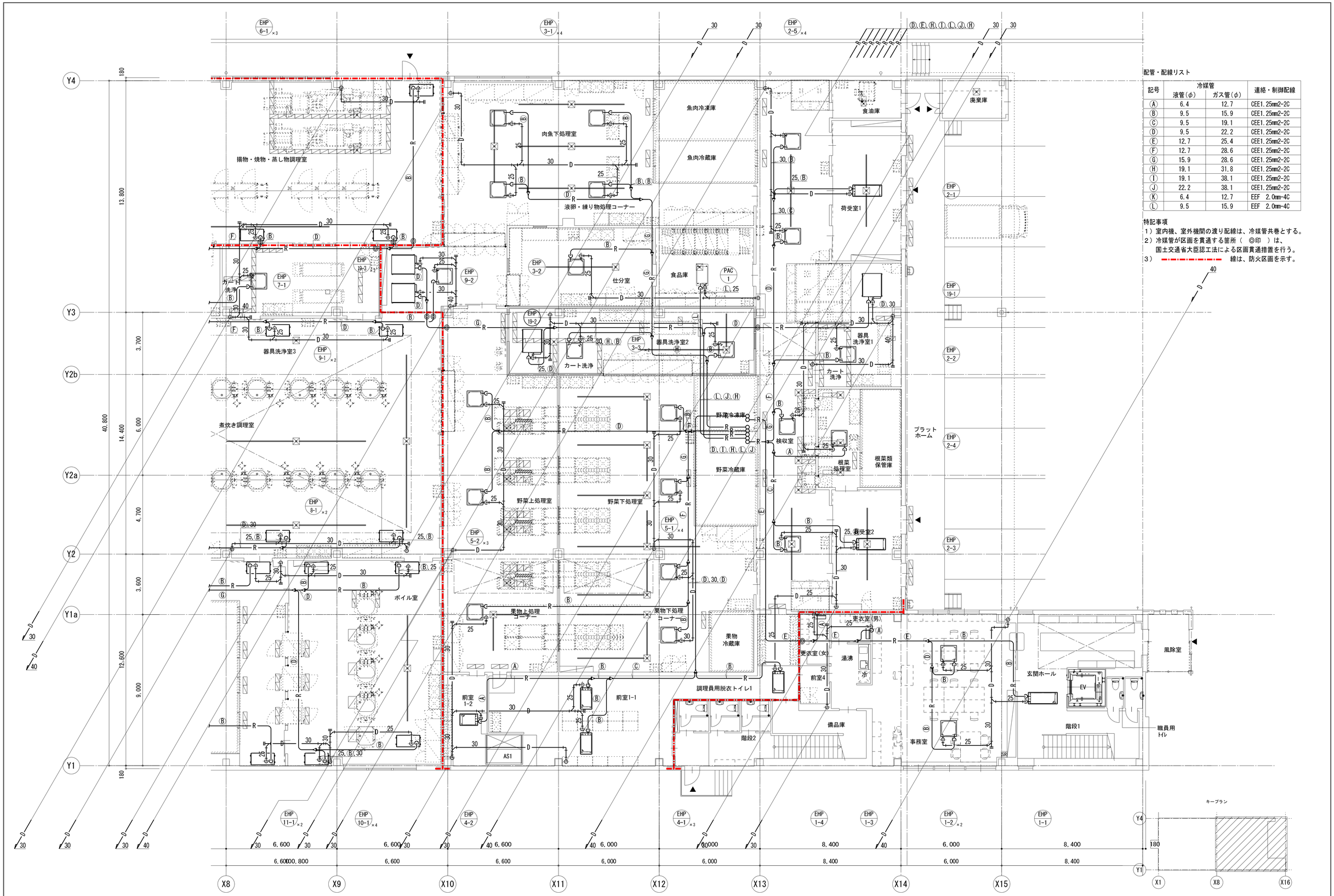
特記事項

1）室内機、室外機間の渡り配線は、冷媒管共巻とする。
2）冷媒管が区画を貫通する箇所（ ◎印 ）は、
　国土交通省大臣認工法による区画貫通措置を行う。
3）　　線は、防火区画を示す。

キープラン



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　１階平面図（１）	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-11
			設計者		作図者	後藤　利基						



配管・配線リスト

記号	冷媒管 液管(φ)	冷媒管 ガス管(φ)	連絡・制御配線
Ⓐ	6.4	12.7	CEE1.25mm2-2C
Ⓑ	9.5	15.9	CEE1.25mm2-2C
Ⓒ	9.5	19.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓓ	9.5	22.2	CEE1.25mm2-2C
Ⓔ	12.7	25.4	CEE1.25mm2-2C
Ⓕ	12.7	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓖ	15.9	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓗ	19.1	31.8	CEE1.25mm2-2C
Ⓘ	19.1	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓙ	22.2	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓚ	6.4	12.7	EEF 2.0mm-4C
Ⓛ	9.5	15.9	EEF 2.0mm-4C

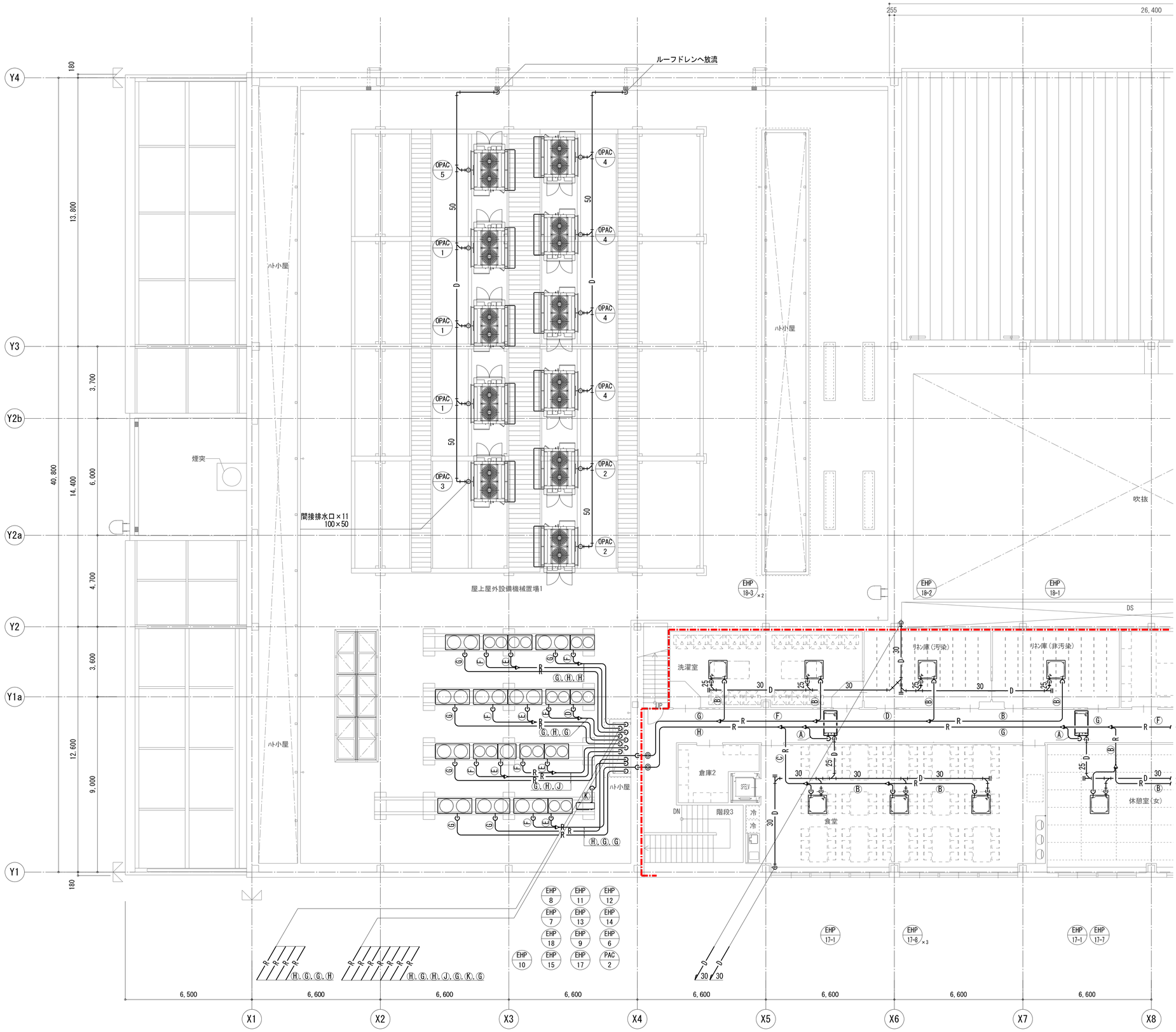
特記事項

1）室内機、室外機間の渡り配線は、冷媒管共巻とする。

2）冷媒管が区画を貫通する箇所（ ◎印 ）は、
国土交通省大臣認工法による区画貫通措置を行う。

3） ―・―・― 線は、防火区画を示す。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター 空調設備工事	図面名 空調設備 1階平面図（2）
			設計者		作図者	後藤 利基			縮尺 A1 1/100 A3 1/200 / 図面番号 M-12



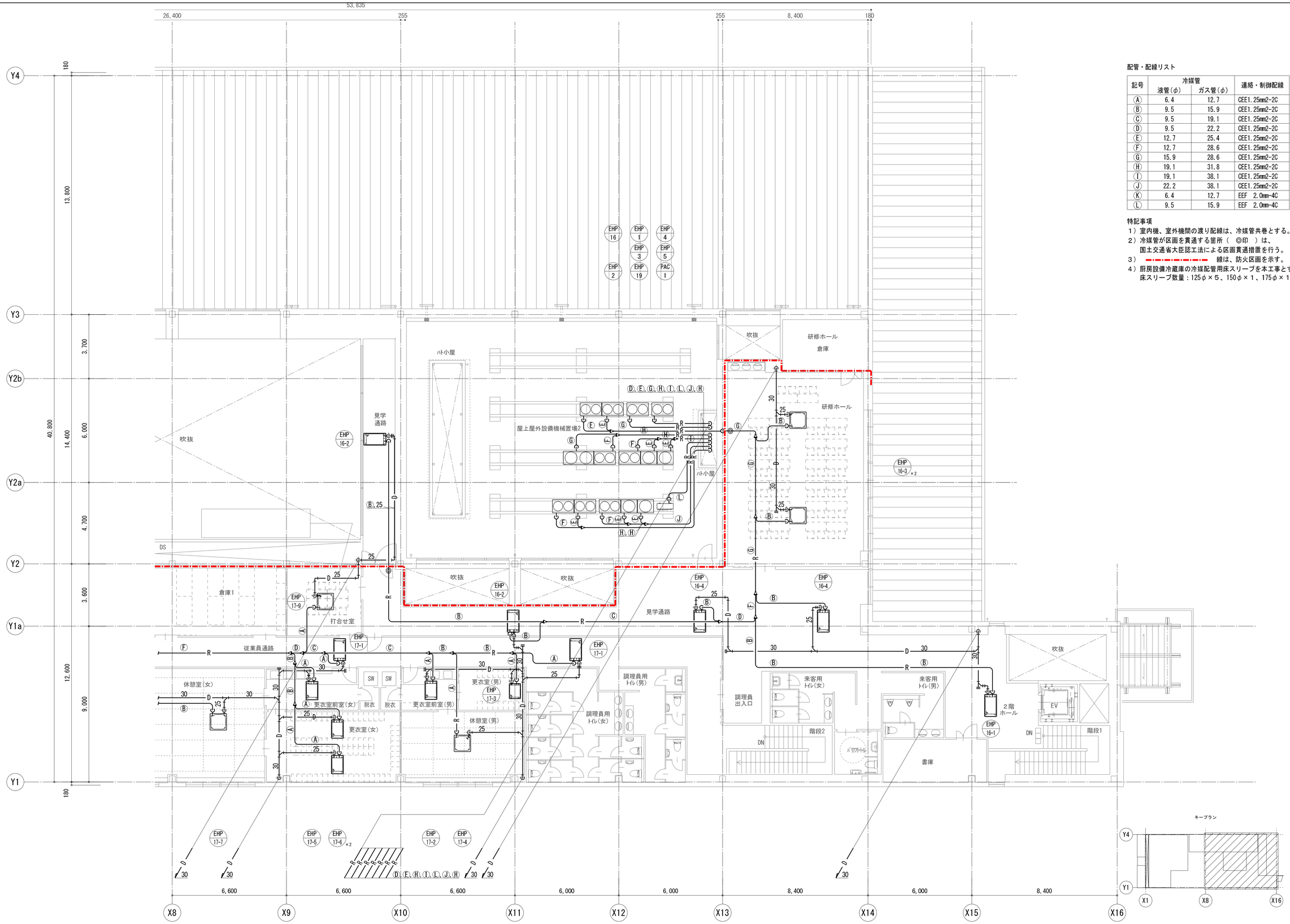
配管・配線リスト

記号	冷媒管 液管(φ)	冷媒管 ガス管(φ)	連絡・制御配線
Ⓐ	6.4	12.7	CEE1.25mm2-2C
Ⓑ	9.5	15.9	CEE1.25mm2-2C
Ⓒ	9.5	19.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓓ	9.5	22.2	CEE1.25mm2-2C
Ⓔ	12.7	25.4	CEE1.25mm2-2C
Ⓕ	12.7	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓖ	15.9	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓗ	19.1	31.8	CEE1.25mm2-2C
Ⓘ	19.1	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓙ	22.2	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓚ	6.4	12.7	EEF 2.0mm-4C
Ⓛ	9.5	15.9	EEF 2.0mm-4C

特記事項

1）室内機、室外機間の渡り配線は、冷媒管共巻とする。
2）冷媒管が区画を貫通する箇所（ ◎印 ）は、
　国土交通省大臣認工法による区画貫通措置を行う。
3）　　線は、防火区画を示す。

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　２階平面図（１）	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-13
		設計者		作図者	後藤　利基						



配管・配線リスト

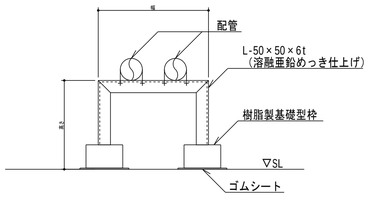
記号	冷媒管 液管(φ)	冷媒管 ガス管(φ)	連絡・制御配線
Ⓐ	6.4	12.7	CEE1.25mm2-2C
Ⓑ	9.5	15.9	CEE1.25mm2-2C
Ⓒ	9.5	19.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓓ	9.5	22.2	CEE1.25mm2-2C
Ⓔ	12.7	25.4	CEE1.25mm2-2C
Ⓕ	12.7	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓖ	15.9	28.6	CEE1.25mm2-2C
Ⓗ	19.1	31.8	CEE1.25mm2-2C
Ⓘ	19.1	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓙ	22.2	38.1	CEE1.25mm2-2C
Ⓚ	6.4	12.7	EEF 2.0mm-4C
Ⓛ	9.5	15.9	EEF 2.0mm-4C

特記事項

1）室内機、室外機間の渡り配線は、冷媒管共巻とする。
2）冷媒管が区画を貫通する箇所（ ◎印 ）は、
　国土交通省大臣認工法による区画貫通措置を行う。
3）　　線は、防火区画を示す。
4）厨房設備冷蔵庫の冷媒配管用床スリーブを本工事とする。
　床スリーブ数量：125φ×5、150φ×1、175φ×1

キープラン

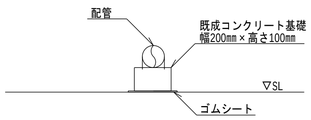
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　２階平面図（２）	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-14
			設計者		作図者	後藤　利基						



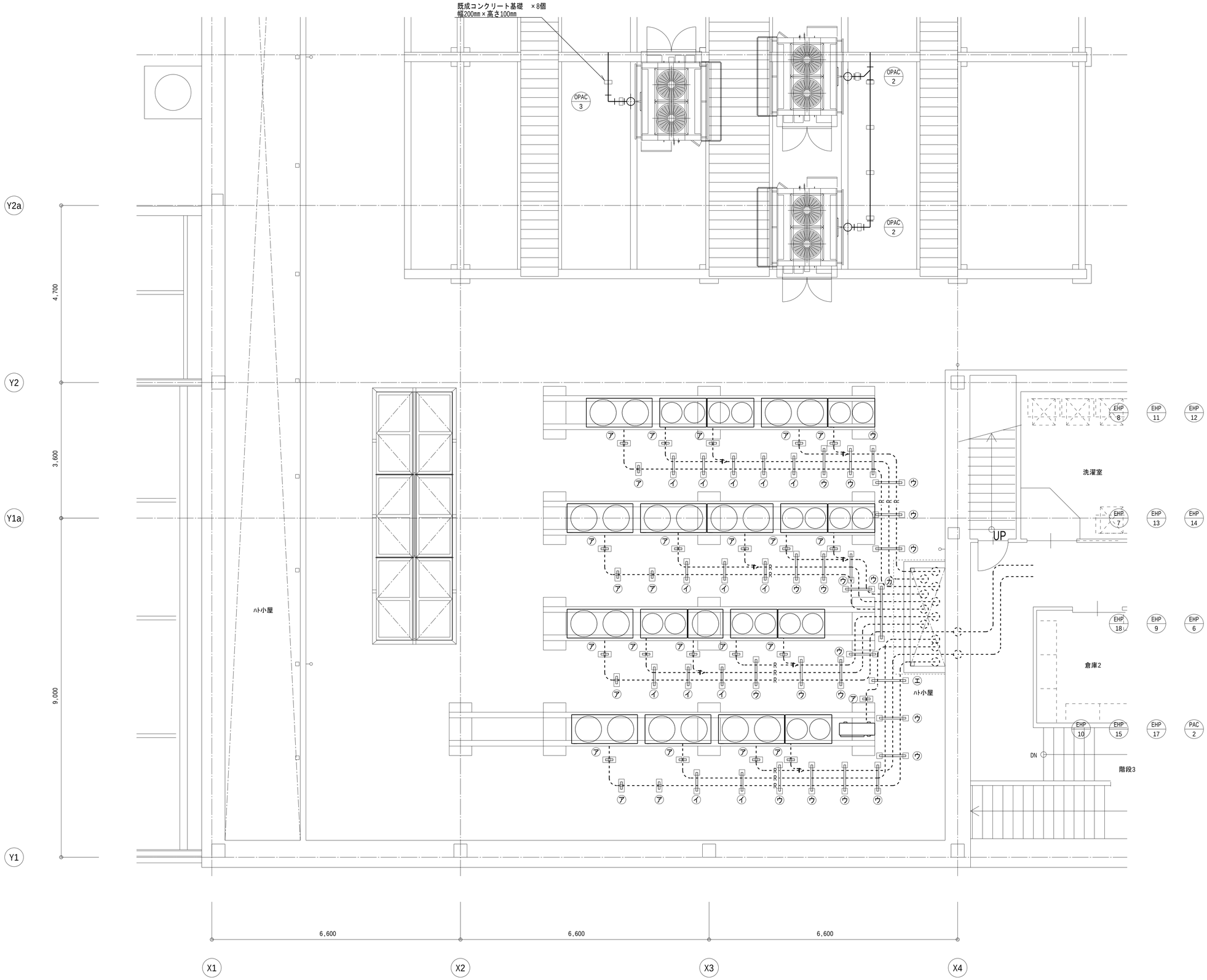
冷媒配管　架台参考図

配管架台リスト　（溶融亜鉛めっき仕上げ）

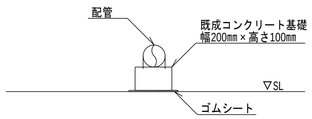
記号	参考寸法 幅mm	高さmm	鋼材	個数
㋐	200	600	L-50×50×6t	26
㋑	500	600	L-50×50×6t	13
㋒	700	600	L-50×50×6t	20
㋓	900	600	L-50×50×6t	1
㋔	1200	600	L-50×50×6t	0
㋕	1400	600	L-50×50×6t	1
㋖	1600	600	L-50×50×6t	0
㋗	1800	600	L-50×50×6t	0



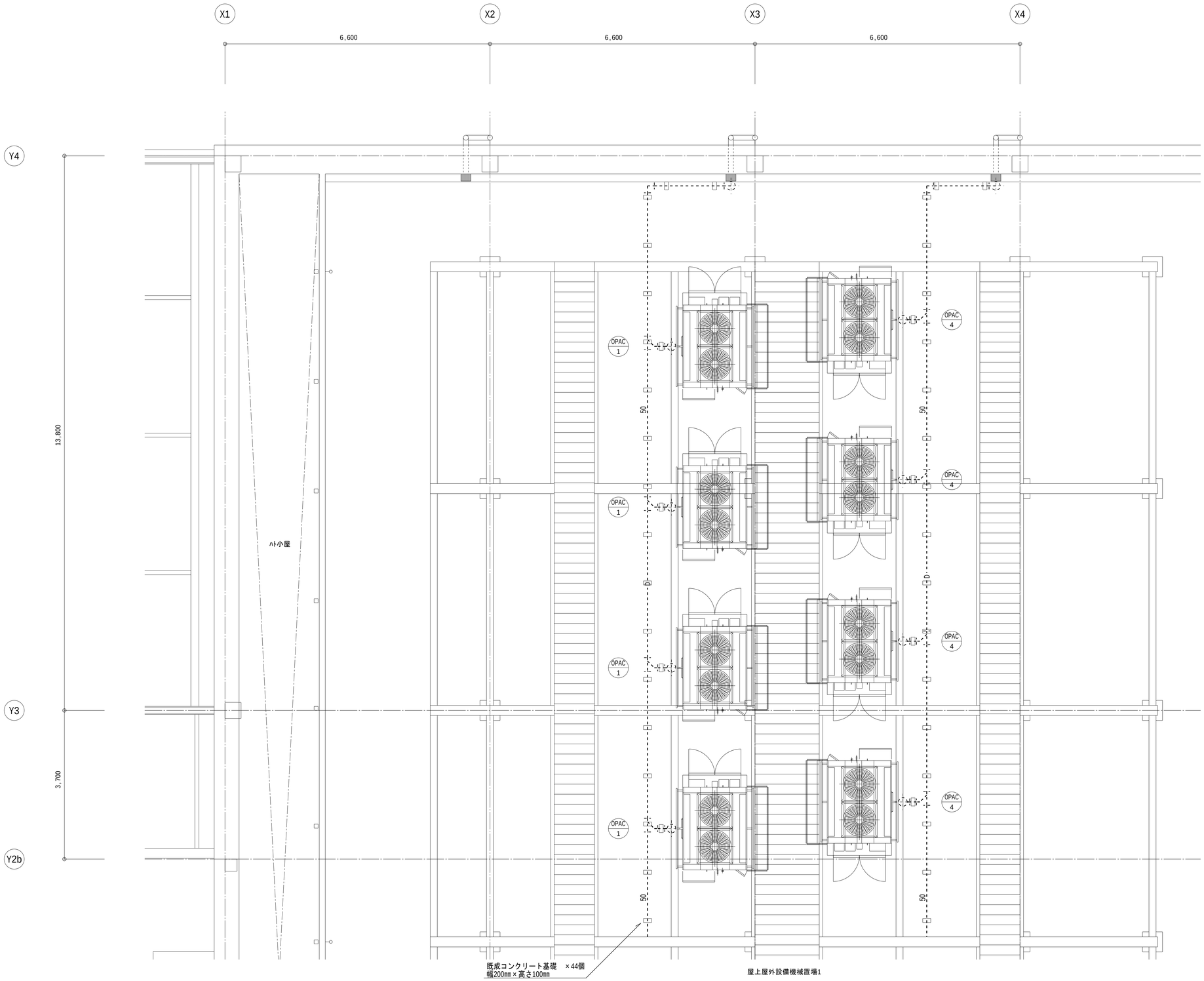
ドレン配管　架台参考図



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　部分詳細図（１）	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 M-15
			設計者		作図者	後藤　利基						

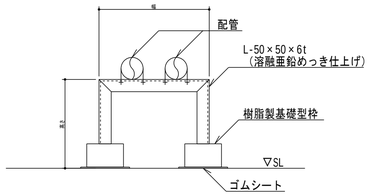


ドレン配管　架台参考図



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　部分詳細図（２）
			設計者		作図者	後藤　利基				

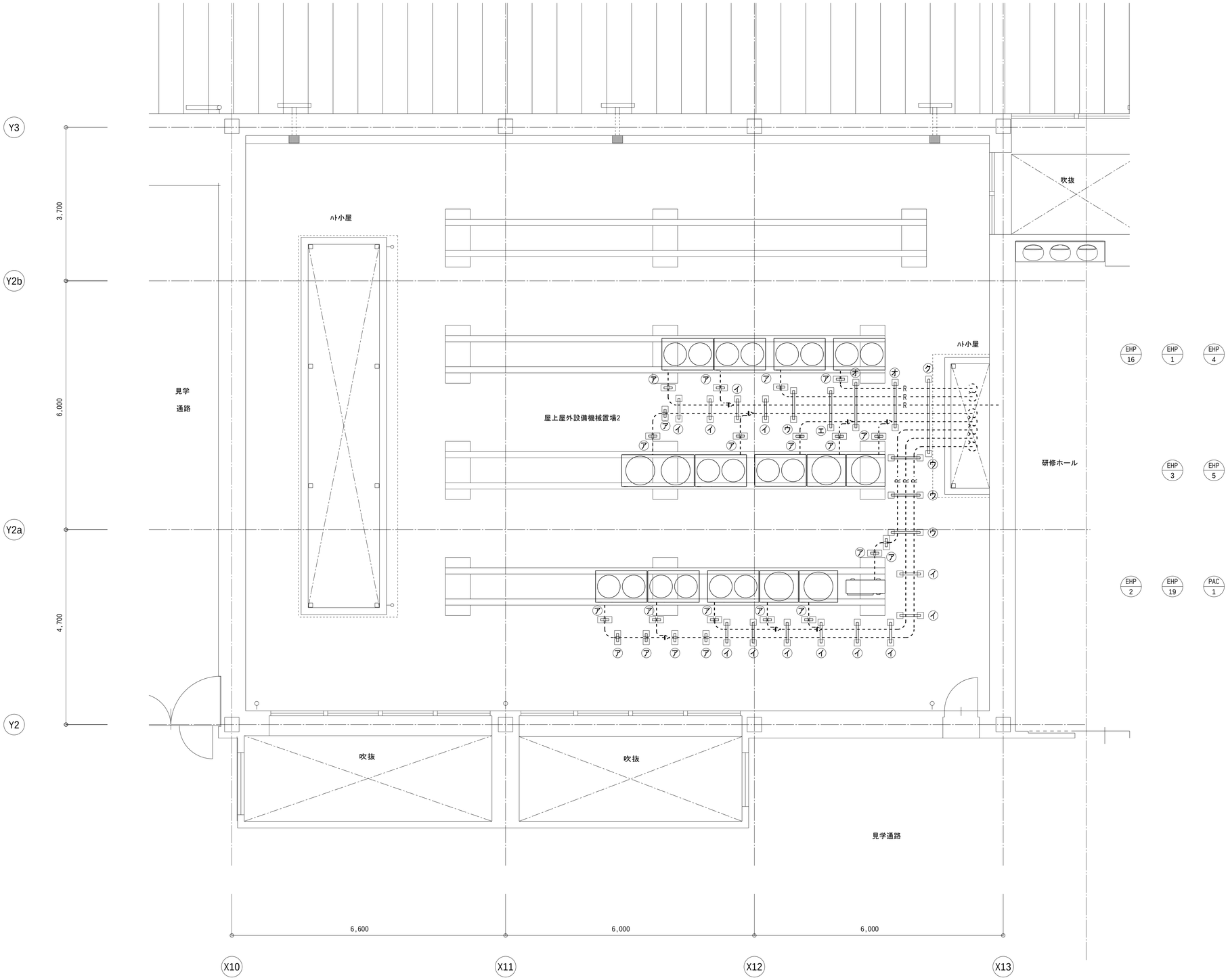
縮尺		図面番号
A1	1/50	M-16
A3	1/100	



冷媒配管　架台参考図

配管架台リスト　（溶融亜鉛めっき仕上げ）

記号	参考寸法 幅mm	参考寸法 高さmm	鋼材	個数
㋐	200	600	L-50×50×6t	21
㋑	500	600	L-50×50×6t	11
㋒	700	600	L-50×50×6t	4
㋓	900	600	L-50×50×6t	1
㋔	1200	600	L-50×50×6t	2
㋕	1400	600	L-50×50×6t	0
㋖	1600	600	L-50×50×6t	0
㋗	1800	600	L-50×50×6t	1



訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	空調設備　部分詳細図（３）	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 M-17
		設計者		作図者	後藤　利基						

換気機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考
HEX-1 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井埋込形 仕様：200φ×340CMH×200Pa×340W	1	1φ-100V	1	事務室	LGH-N50RXW2	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-2	全熱交換器	型式：天井埋込形 仕様：150φ×300CMH×200Pa×215W	1	1φ-100V	2	2階ﾎｰﾙ	LGH-N35RXW2	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-3	全熱交換器	型式：天井埋込形 仕様：150φ×300CMH×200Pa×215W	2	1φ-100V	2	見学通路	LGH-N35RXW2	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-4 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井埋込形 仕様：200φ×340CMH×200Pa×340W	2	1φ-100V	2	研修ﾎｰﾙ	LGH-N50RXW2	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-5 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井ｶｾｯﾄ形 仕様：150φ×220CMH×150Pa×185W	1	1φ-100V	2	休憩室(男)	LGH-N35CX3	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-6 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井ｶｾｯﾄ形 仕様：150φ×250CMH×150Pa×185W	2	1φ-100V	2	休憩室(女)	LGH-N35CX3	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-7 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井ｶｾｯﾄ形 仕様：200φ×350CMH×150Pa×249W	2	1φ-100V	2	食堂	LGH-N50CX3	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
HEX-8 (24h換気)	全熱交換器	型式：天井ｶｾｯﾄ形 仕様：150φ×120CMH×150Pa×128W	1	1φ-100V	2	打合せ室	LGH-N25CX3	ﾘﾓｺﾝSW（配線本工事） 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
VF-1	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×70CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	職員用ﾄｲﾚ1	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF（電気工事）
VF-2	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×80CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	職員用ﾄｲﾚ2	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF（電気工事）
VF-3	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：100φ×120CMH×100Pa×24W	1	1φ-100V	1	湯沸ｺｰﾅｰ	VD-15ZY13	手元ｽｲｯﾁ
VF-4	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：100φ×60CMH×100Pa×15.5W	1	1φ-100V	1	更衣室(男)	VD-15ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-5	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×80CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	更衣室(女)	VD-18ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-6	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×170CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	備品庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-7	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×100CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	調理員用脱衣ﾄｲﾚ1	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF（電気工事）
VF-8	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×90CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	調理員用脱衣ﾄｲﾚ2	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF（電気工事）
VF-9	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×90CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	調理員用脱衣ﾄｲﾚ3	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF（電気工事）
VF-10	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×200CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	前室1-2	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-11	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×140CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	廃棄庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-12	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：100φ×190CMH×100Pa×40W	1	1φ-100V	1	食油庫	VD-18ZP13	手元ｽｲｯﾁ
VF-13 (24h換気)	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×210CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室1	VD-20ZC13	24ｈ換気ｽｲｯﾁ（電気工事へ支給）
VF-15 (24h換気)	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×220CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	根菜処理室	VD-20ZC13	24ｈ換気ｽｲｯﾁ（電気工事へ支給）
VF-16	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×110CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	前室3	VD-18ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-17 (24h換気)	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×120CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	特別洗浄室	VD-20ZC13	24ｈ換気ｽｲｯﾁ（電気工事へ支給）
VF-18	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×160CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	前室2-2	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-19	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×100CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	1	調理員用脱衣ﾄｲﾚ4	VD-18ZC13	照明連動+ON/OFF
VF-20	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×120CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	調理員用脱衣ﾄｲﾚ5	VD-20ZC13	照明連動+ON/OFF
VF-21	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×200CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	1	備品洗剤庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-22	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×310CMH×80Pa×49W	1	1φ-100V	1	残渣廃油庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-23	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×210CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	2	書庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考
VF-24	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×230CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	2	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ	VD-20ZC13	照明連動+ON/OFF
VF-25	欠番							
VF-26	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×240CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	2	研修室倉庫	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-27	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×130CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	2	更衣室(男)	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-28	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×100CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	2	脱衣･SW(男)	VD-18ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-29	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×100CMH×100Pa×29.5W	1	1φ-100V	2	脱衣･SW(女)	VD-18ZC13	手元ｽｲｯﾁ
VF-30	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：100φ×120CMH×100Pa×24W	1	1φ-100V	2	食堂(ｷｯﾁﾝ)	VD-15ZY13	手元ｽｲｯﾁ
VF-31	天井換気扇	型式：低騒音形 仕様：150φ×140CMH×100Pa×49W	1	1φ-100V	2	倉庫2	VD-20ZC13	手元ｽｲｯﾁ
EF-1	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×1060CMH×200Pa×247W	1	1φ-100V	1	前室1-1	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-2 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×510CMH×200Pa×125W	1	1φ-100V	1	荷受室1	BFS-65SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-3 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×440CMH×200Pa×125W	1	1φ-100V	1	荷受室2	BFS-65SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-4 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×900CMH×200Pa×202W	2	1φ-100V	1	検収室	BFS-90SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-5 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×1000CMH×200Pa×247W	2	1φ-100V	1	肉魚下処理室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-6	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×390CMH×200Pa×87.5W	1	1φ-100V	1	食品庫	BFS-50SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-7 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×570CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	1	仕分室	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-8 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×320CMH×200Pa×87.5W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室2	BFS-50SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-9 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×1150CMH×200Pa×247W	2	1φ-100V	1	野菜下処理室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-10 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×950CMH×200Pa×247W	2	1φ-100V	1	野菜上処理室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-11 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：250φ×1200CMH×200Pa×348W	1	1φ-100V	1	揚物･焼物･ 蒸し物調理室	BFS-120SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-12 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×220CMH×200Pa×87.5W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室3	BFS-50SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-13 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×290CMH×200Pa×87.5W	1	1φ-100V	1	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	BFS-50SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-14 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：250φ×1200CMH×200Pa×484W	2	1φ-100V	1	煮炊き調理室	BFS-150SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-15 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×630CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	1	ｷﾞﾙﾄ室	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-16 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：250φ×1160CMH×200Pa×348W	1	1φ-100V	1	和え物室	BFS-120SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-17	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×770CMH×200Pa×247W	1	1φ-100V	1	配送風除室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-19	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×610CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	1	回収風除室	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-20	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×570CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	1	前室2-1	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-21	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×350CMH×200Pa×87.5W	1	1φ-100V	2	来客用ﾄｲﾚ(男)	BFS-50SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-22	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×420CMH×200Pa×125W	1	1φ-100V	2	来客用ﾄｲﾚ(女)	BFS-65SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-23	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×580CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	2	調理員用ﾄｲﾚ(男)	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ

※　機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。

※　ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。

※　全熱交換器のﾘﾓｺﾝ配線は本工事。24H換気のｽｲｯﾁは電気工事に支給し、配線取付は電気工事。一般換気はｽｲｯﾁ・取付・配線は電気工事。ｼﾛｯｺﾌｧﾝのｲﾝﾊﾞｰﾀｰは本工事（設置・設定）、電気盤内へ組込とする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　機器表（１）	縮尺 A1 N.S / A3 N.S　図面番号 M-18
			設計者		作図者	後藤　利基					

換気機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考
EF-24	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×1000CMH×200Pa×247W	1	1φ-100V	2	調理員用ﾄｲﾚ(女)	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-25	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×430CMH×200Pa×125W	1	1φ-100V	2	更衣室(女)	BFS-65SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-26	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×420CMH×200Pa×125W	1	1φ-100V	2	倉庫1	BFS-65SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-28	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×670CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	2	ﾘﾈﾝ庫(非汚染)	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-29	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×690CMH×200Pa×159W	1	1φ-100V	2	ﾘﾈﾝ庫(汚染)	BFS-80SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-30	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×1050CMH×200Pa×247W	1	1φ-100V	2	洗濯室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-31	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形耐湿ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×1000CMH×150Pa×247W	4	1φ-100V	B1	地下ﾋﾟｯﾄ	BFS-100SYA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-32	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 仕様：200φ×940CMH×200Pa×247W	1	1φ-100V	1	ﾎﾞｲﾗｰ室	BFS-100SUG2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
EF-33	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形耐湿ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×1200CMH×150Pa×247W	1	1φ-100V	1	ﾌﾞﾛｱｰ室（屋外）	BFS-100SUG2	強弱SW　ｻｰﾓｽﾀｲﾏｰ発停希望 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-1	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×1060CMH×100Pa×247W	1	1φ-100V	1	前室1-1	BFS-100SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-2	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1100CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室1	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-3 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×900CMH×400Pa×515W	2	1φ-100V	1	検収室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-4 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1000CMH×400Pa×515W	2	1φ-100V	1	肉魚下処理室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-5	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×390CMH×400Pa×280W	1	1φ-100V	1	食品庫	BFS-100SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-6 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×570CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	仕分室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-7	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1100CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室2	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-8 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1150CMH×400Pa×515W	2	1φ-100V	1	野菜下処理室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-9 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×950CMH×400Pa×515W	2	1φ-100V	1	野菜上処理室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-10 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1200CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	揚物･焼物･ 蒸し物調理室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-11	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×760CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	器具洗浄室3	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-12 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×290CMH×400Pa×280W	1	1φ-100V	1	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	BFS-100SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-13 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1200CMH×400Pa×515W	2	1φ-100V	1	煮炊き調理室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-14 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×630CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	ﾎﾞｲﾙ室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-15 (24h換気)	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：250φ×1160CMH×400Pa×515W	1	1φ-100V	1	和え物室	BFS-150SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
OF-17	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	型式：消音形 給気ﾀｲﾌﾟ 仕様：200φ×570CMH×200Pa×210W	1	1φ-100V	1	前室2-1	BFS-80SSUA2	強弱SW 防振吊ﾊﾝｶﾞｰ
KEF-1	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×3200CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (器具洗浄室1)
KEF-2	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×3200CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (器具洗浄室2)
KEF-3	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：6番手×36700CMH×500Pa×15kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.6	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (揚物･焼物･蒸し物調理室)
KEF-4	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2-1/2番手×7800CMH×500Pa×3.7kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.2-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (揚物･焼物･蒸し物調理室)
KEF-5	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2番手×4000CMH×500Pa×3.7kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (器具洗浄室3)

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考
KEF-6	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2番手×4900CMH×500Pa×3.7kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室)
KEF-7	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：6番手×40000CMH×500Pa×15kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.6	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (煮炊き調理室)
KEF-8	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：5番手×29700CMH×500Pa×15kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.5	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ﾎﾞｲﾙ室)
KEF-9	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2-1/2番手×6000CMH×500Pa×2.2kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.2-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (和え物室)
KEF-10	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：4-1/2番手×21360CMH×500Pa×11kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.4-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室)
KEF-11	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2-1/2番手×6000CMH×500Pa×2.2kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.2-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室天井内)
KEF-12	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：6番手×44000CMH×500Pa×22kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.6	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室)
KEF-13	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：2番手×4380CMH×500Pa×2.2kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KEF-14	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：3-1/2番手×15760CMH×500Pa×11kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.3	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KEF-15	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：4-1/2番手×22110CMH×500Pa×11kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLFⅡ-OB-No.4-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KEF-16 (24h換気)	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×3000CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KEF-17 (24h換気)	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込片持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×2600CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF6-OB-No.1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室)
KOF-1	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：4番手×16000CMH×500Pa×7.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No.4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (煮炊き調理室)
KOF-3	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：4-1/2番手×21360CMH×500Pa×11kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No.4-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室)
KOF-4	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：2番手×4380CMH×500Pa×2.2kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KOF-5	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：3-1/2番手×15760CMH×500Pa×7.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No3-1/2	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KOF-6 (24h換気)	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×3000CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (洗浄室)
KOF-7 (24h換気)	ｼﾛｯｺﾌｧﾝ	型式：片吸込両持形 屋外型 仕様：1-3/4番手×2600CMH×500Pa×1.5kW	1	3φ-200V	2	屋上	CLF5-RS-No1-3/4	防振架台・ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ（本工事） (ｺﾝﾃﾅ室)
EUF-1	有圧換気扇	型式：低騒音形 仕様：60CM×6500CMH×50Pa×350W	2	3φ-200V	1	ﾎﾞｲﾗｰ室	EWG-60ETA2	ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ・ﾎﾞｲﾗｰ連動制御 ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ　取付枠
OUF-1	有圧換気扇	型式：低騒音形 仕様：60CM×8500CMH×50Pa×625W	2	3φ-200V	1	ﾎﾞｲﾗｰ室	EWG-60FTA2-Q	ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ・ﾎﾞｲﾗｰ連動制御 ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ　取付枠
AC-1	ｴｱｶｰﾃﾝ	型式：産業用ﾀｲﾌﾟ 仕様：本体間口100cm×2560CMH×335W	10	3φ-200V	1	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	MK-3510TA3	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ 自動ﾄﾞｱ連動制御（別途工事）
FU-1	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：16000CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)
FU-3	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：21360CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)
FU-4	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：4380CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)
FU-5	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：15760CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)
FU-6	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：3000CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)
FU-7	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型式：ﾀﾞｸﾄ接続形(防虫対策仕様) ﾌﾟﾚ：質量法70%・ﾒｲﾝ：中性能(比色法65%) 処理風量：2600CMH	1	—	2	屋上		付属品：差圧計(外部出力端子付)

※　機器類の設置(吊込)は静岡県設備地震対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる。

※　ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式適応品とする。

※　全熱交換器のﾘﾓｺﾝ配線は本工事。24H換気のｽｲｯﾁは電気工事に支給し、配線取付は電気工事。一般換気はｽｲｯﾁ・取付・配線は電気工事。ｼﾛｯｺﾌｧﾝのｲﾝﾊﾞｰﾀｰは本工事（設置・設定）、電気盤内へ組込とする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　機器表（２）
			設計者		作図者	後藤　利基			縮尺	A1 N.S / A3 N.S
									図面番号	M-19

制気口リスト

階	室名	型式	寸法	風量(m3/h)	種類		中性能F	BOX寸法	内貼・消音	個数	備考
1	玄関・ﾎｰﾙ	VHS(F付)	200 × 200	150	OA	吹出口		350 × 350 × 300	○	1	
	事務室	HS	200 × 200	170	RA	吸込口		350 × 350 × 300		2	HEX-1
		VHS	200 × 200	170	SA	吹出口		350 × 350 × 300	○	2	HEX-1
		VHS(F付)	300 × 300	430	OA	吹出口		500 × 500 × 450	○	1	
	階段2	VHS	250 × 250	280	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		1	前室1-1
	前室1-1	HS	350 × 350	530	EA	吸込口		550 × 550 × 500		2	EF-1
		VHS(F付)	350 × 350	530	OA	吹出口		550 × 550 × 500	○	2	OF-1
		VHS(F付)	250 × 250	280	OA	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	
		HS	250 × 250	280	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	階段2
	前室1-2	VHS	200 × 200	200	PASS	吹出口		350 × 350 × 300		1	野菜下処理室
	食油庫	VHS	200 × 200	190	PASS	吹出口		350 × 350 × 300		1	検収室
	荷受室1	HS	250 × 250	255	EA	吸込口		450 × 450 × 400		2	EF-2
		VHS	250 × 250	255	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		2	検収室
	器具洗浄室1	VHS	700 × 700	2,100	SA	吹出口		900 × 900 × 600	○	1	EHP-19-1
		VHS(F付)	500 × 500	1,100	OA	吹出口	○	700 × 700 × 600	○	1	OF-2
		VHS	250 × 250	210	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		1	検収室
	根菜処理室	VHS	250 × 250	220	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		1	検収室
	荷受室2	HS	250 × 250	220	EA	吸込口		450 × 450 × 400		2	EF-3
		VHS	250 × 250	220	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		2	検収室
	検収室	HS	450 × 450	900	EA	吸込口		650 × 650 × 500		2	EF-4
		VHS(F付)	450 × 450	900	OA	吹出口	○	650 × 650 × 500	○	2	OF-3
		HS	200 × 200	190	PASS	吸込口		350 × 350 × 350		1	食油庫
		HS	250 × 250	255	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		2	荷受室1
		HS	250 × 250	210	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	洗浄室1
		HS	250 × 250	220	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	根菜処理室
		HS	250 × 250	220	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		2	荷受室2
		VHS	350 × 350	600	PASS	吹出口		550 × 550 × 500		1	肉魚下処理室
		VHS	450 × 450	970	PASS	吹出口		650 × 650 × 500		1	野菜下処理室
	肉魚下処理室	HS	450 × 450	1,000	EA	吸込口		650 × 650 × 500		2	EF-5
		VHS(F付)	450 × 450	1,000	OA	吹出口	○	650 × 650 × 500	○	2	OF-4
		HS	350 × 350	600	PASS	吸込口		550 × 550 × 500		1	検収室
		VHS	350 × 350	600	PASS	吹出口		550 × 550 × 500		1	揚物･焼物･蒸し物調理室
	食品庫	HS	300 × 300	390	EA	吸込口		500 × 500 × 450		1	EF-6
		VHS(F付)	300 × 300	390	OA	吹出口	○	500 × 500 × 450	○	1	OF-5
	仕分室	HS	350 × 350	570	EA	吸込口		550 × 550 × 500		1	EF-7
		VHS(F付)	350 × 350	570	OA	吹出口	○	550 × 550 × 500	○	1	OF-6
	器具洗浄室2	HS	250 × 250	320	EA	吸込口		450 × 450 × 400		1	EF-8
		VHS(F付)	500 × 500	1,100	OA	吹出口	○	700 × 700 × 600	○	1	OF-7
		VHS	700 × 700	2,100	SA	吹出口		900 × 900 × 600	○	1	EHP-19-2
		VHS	250 × 250	320	PASS	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	野菜上処理室
	野菜下処理室	HS	350 × 350	575	EA	吸込口		550 × 550 × 500		4	EF-9
		VHS(F付)	350 × 350	575	OA	吹出口	○	550 × 550 × 500	○	4	OF-8
		HS	450 × 450	970	PASS	吸込口		650 × 650 × 500		1	検収室

※　VHS(F付)の器具について、中性能Fの欄に○印があるものについては、中性能フィルター(比色法65%)内蔵型とすること。

制気口リスト

階	室名	型式	寸法	風量(m3/h)	種類		中性能F	BOX寸法	内貼・消音	個数	備考
1	野菜上処理室	HS	300 × 300	475	EA	吸込口		500 × 500 × 450		4	EF-10
		VHS(F付)	450 × 450	950	OA	吹出口	○	650 × 650 × 500	○	2	OF-9
		HS	200 × 200	200	PASS	吸込口		350 × 350 × 300		1	前室1-2
		VHS	450 × 450	1,000	PASS	吹出口		650 × 650 × 500		1	煮炊き調理室
		VHS	350 × 350	490	PASS	吹出口		550 × 550 × 500		1	ﾎﾞｲﾙ室
		HS	250 × 250	320	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	器具洗浄室
	揚物･焼物･蒸し物調理室	HS	500 × 500	1,200	EA	吸込口		700 × 700 × 600		1	EF-11
		VHS(F付)	500 × 500	1,200	OA	吹出口	○	700 × 700 × 600	○	1	OF-10
		VHS(F付)	1,200 × 1,200	9,400	SA	吹出口		1,400 × 1,400 × 800	○	5	OPAC-4
		HS	350 × 350	600	PASS	吸込口		550 × 550 × 500		1	肉魚下処理室
		HS	250 × 250	220	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	器具洗浄室3
	器具洗浄室3	VHS	700 × 700	2,100	SA	吹出口		900 × 900 × 600	○	2	EHP-19-3
		HS	250 × 250	220	EA	吸込口		450 × 450 × 400		1	EF-12
		VHS(F付)	400 × 400	760	OA	吹出口	○	600 × 600 × 500	○	1	OF-11
		VHS	250 × 250	220	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		1	揚物･焼物･蒸し物調理室
	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	HS	250 × 250	290	EA	吸込口		450 × 450 × 400		1	EF-13
		VHS(F付)	250 × 250	290	OA	吹出口	○	450 × 450 × 400	○	1	OF-12
		VHS	700 × 700	2,550	SA	吹出口		900 × 900 × 600	○	2	OPAC-3
		HS	200 × 200	200	PASS	吸込口		400 × 400 × 350		1	ｺﾝﾃﾅ室
	煮炊き調理室	HS	500 × 500	1,200	EA	吸込口		700 × 700 × 600		2	EF-14
		VHS(F付)	500 × 500	1,200	OA	吹出口	○	700 × 700 × 600	○	2	OF-13
		VHS	800 × 800	3,000	SA	吹出口		1,000 × 1,000 × 700	○	8	OPAC-2
		HS	800 × 800	3,340	EA	吸込口		1,000 × 1,000 × 700		12	KEF-7
		VHS	800 × 800	2,670	OA	吹出口		1,000 × 1,000 × 700	○	6	KOF-1
		HS	450 × 450	1,000	PASS	吸込口		650 × 650 × 500		1	野菜上処理室
	ﾎﾞｲﾙ室	HS	350 × 350	630	EA	吸込口		550 × 550 × 500		1	EF-15
		VHS(F付)	350 × 350	630	OA	吹出口	○	550 × 550 × 500	○	1	OF-14
		VHS	1,000 × 1,000	6,050	SA	吹出口		1,200 × 1,200 × 700	○	5	OPAC-1
		HS	350 × 350	490	PASS	吸込口		550 × 550 × 500		1	ﾎﾞｲﾙ室
	和え物室	HS	500 × 500	1,160	EA	吸込口		700 × 700 × 600		1	EF-16
		VHS(F付)	500 × 500	1,160	OA	吹出口	○	700 × 700 × 600	○	1	OF-15
		HS	800 × 800	3,000	EA	吸込口		1,000 × 1,000 × 700		2	KEF-9
		VHS	800 × 800	3,000	SA	吹出口		1,000 × 1,000 × 700	○	2	OPAC-5
		HS	600 × 600	1,500	PASS	吸込口		800 × 800 × 600		1	ｺﾝﾃﾅ室
	ｺﾝﾃﾅ室	HS	800 × 800	3,050	EA	吸込口		1,000 × 1,000 × 700		7	KEF-10
		HS	1,000 × 1,000	6,300	EA	吸込口		1,200 × 1,200 × 700		7	KEF-12
		HS	700 × 700	2,600	EA	吸込口		900 × 900 × 600		1	KEF-17
		VHS	800 × 800	3,050	OA	吹出口		1,000 × 1,000 × 700	○	7	KOF-3
		VHS	1,000 × 1,000	6,300	SA	吹出口		1,200 × 1,200 × 700	○	7	OPAC-4
		VHS(F付)	700 × 700	2,600	OA	吹出口		900 × 900 × 600	○	1	KOF-7
		HS	300 × 300	440	PASS	吸込口		500 × 500 × 450		2	配送風除室
		HS	200 × 200	160	PASS	吸込口		400 × 400 × 350		1	前室2-2
		VHS	200 × 200	200	PASS	吹出口		400 × 400 × 350		1	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室
		VHS	600 × 600	1,500	PASS	吹出口		800 × 800 × 600		1	和え物室
	ｺﾝﾃﾅ室(天井内)	HS	400 × 400	860	EA	吸込口		600 × 600 × 500		7	KEF-11
		VHS	400 × 400	860	SA	吹出口		600 × 600 × 500	○	7	OPAC-5

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　制気口リスト（１）	縮尺	A1 N.S / A3 N.S	図面番号	M-20
		設計者		作図者	後藤　利基								

制気口リスト

階	室名	型式	寸法	風量(m3/h)	種類		中性能F	BOX寸法	内貼・消音	個数	備考
1	配送風除室	HS	300 × 300	385	EA	吸込口		500 × 500 × 450		2	EF-17
		HS	150 × 150	110	PASS	吸込口		350 × 350 × 300		1	前室3
		VHS	300 × 300	440	PASS	吹出口		500 × 500 × 450		2	ｺﾝﾃﾅ室
	前室3	VHS	150 × 150	110	PASS	吹出口		350 × 350 × 300		1	配送風除室
	洗浄室	HS	1,000 × 1,000	5,550	EA	吸込口		1,200 × 1,200 × 700		4	KEF-15
		HS	800 × 800	3,000	EA	吸込口		1,000 × 1,000 × 700		1	KEF-16
		VHS	1,000 × 1,000	5,550	OA	吹出口		1,200 × 1,200 × 700	○	4	OPAC-2
		VHS	900 × 900	4,380	OA	吹出口		1,100 × 1,100 × 700	○	1	KOF-4
		VHS	900 × 900	3,940	OA	吹出口		1,100 × 1,100 × 700	○	4	KOF-5
		VHS	800 × 800	3,000	OA	吹出口		1,000 × 1,000 × 700	○	1	KOF-6
		HS	350 × 350	610	PASS	吸込口		550 × 550 × 500		1	回収風除室
		HS	150 × 150	120	PASS	吸込口		350 × 350 × 300		1	特別洗浄室
		HS	250 × 250	310	PASS	吸込口		450 × 450 × 400		1	残渣廃油庫
		HS	200 × 200	200	PASS	吸込口		400 × 400 × 350		1	備品洗浄庫
	回収風除室	HS	250 × 250	305	EA	吸込口		450 × 450 × 400		2	EF-19
		VHS	350 × 350	610	PASS	吹出口		550 × 550 × 500		1	洗浄室
	特別洗浄室	VHS	150 × 150	120	PASS	吹出口		350 × 350 × 300		1	特別洗浄室
	残渣廃油庫	VHS	250 × 250	310	PASS	吹出口		450 × 450 × 400		1	洗浄室
	備品洗浄庫	VHS	200 × 200	200	PASS	吹出口		400 × 400 × 350		1	洗浄室
	前室2-1	HS	350 × 350	570	EA	吸込口		550 × 550 × 500		1	EF-20
		VHS(F付)	350 × 350	570	OA	吹出口		550 × 550 × 500	○	1	OF-17
	前室2-2	VHS	200 × 200	160	PASS	吹出口		400 × 400 × 350		1	ｺﾝﾃﾅ室
	階段3	VHS(F付)	250 × 250	220	OA	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	
	ﾎﾞｲﾗｰ室	HS	450 × 450	940	EA	吸込口		650 × 650 × 500		1	EF-32
		VHS	1,000 × 1,000	5,000	OA	吹出口		1,200 × 1,200 × 700	○	1	自然給気分

※　VHS(F付)の器具について、中性能Fの欄に○印があるものについては、中性能フィルター(比色法65%)内蔵型とすること。

制気口リスト

階	室名	型式	寸法	風量(m3/h)	種類		中性能F	BOX寸法	内貼・消音	個数	備考
2	2階ﾎｰﾙ	HS	250 × 250	300	RA	吸込口		450 × 450 × 400		1	HEX-2
		VHS	250 × 250	300	SA	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	HEX-2
	来客用ﾄｲﾚ(男)	HS	200 × 200	175	EA	吸込口		400 × 400 × 350		2	EF-21
		VHS(F付)	500 × 500	1,210	OA	吹出口		700 × 700 × 600	○	1	
	来客用ﾄｲﾚ(女)	HS	200 × 200	140	EA	吸込口		400 × 400 × 350		3	EF-22
	見学通路	HS	250 × 250	300	RA	吸込口		450 × 450 × 400		2	HEX-3
		VHS	250 × 250	300	SA	吹出口		450 × 450 × 400	○	2	HEX-3
	研修ﾎｰﾙ	HS	200 × 200	170	RA	吸込口		400 × 400 × 350		4	HEX-4
		VHS	200 × 200	170	SA	吹出口		400 × 400 × 350	○	4	HEX-4
	研修室倉庫	VHS(F付)	250 × 250	240	OA	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	
	調理員用ﾄｲﾚ(男)	HS	200 × 200	190	EA	吸込口		400 × 400 × 350		3	EF-23
		VHS(F付)	350 × 350	580	OA	吹出口		550 × 550 × 500	○	1	
	調理員用ﾄｲﾚ(女)	HS	200 × 200	170	EA	吸込口		400 × 400 × 350		6	EF-24
		VHS(F付)	450 × 450	1,000	OA	吹出口		650 × 650 × 500	○	1	
	更衣室前室(男)	VHS(F付)	250 × 250	230	OA	吹出口		450 × 450 × 400	○	1	
	更衣室前室(女)	VHS(F付)	150 × 150	100	OA	吹出口		350 × 350 × 300	○	1	
	更衣室(女)	HS	250 × 250	215	EA	吸込口		450 × 450 × 400		2	EF-25
		VHS(F付)	300 × 300	430	OA	吹出口		500 × 500 × 450	○	1	
	倉庫1	HS	250 × 250	210	EA	吸込口		450 × 450 × 400		2	EF-26
	食堂	VHS(F付)	150 × 150	120	OA	吹出口		350 × 350 × 300	○	1	
	ﾘﾈﾝ庫(非汚染)	HS	300 × 300	335	EA	吸込口		500 × 500 × 450		2	EF-28
		VHS(F付)	300 × 300	335	OA	吹出口		500 × 500 × 450	○	2	
	ﾘﾈﾝ庫(汚染)	HS	300 × 300	345	EA	吸込口		500 × 500 × 450		2	EF-29
		VHS(F付)	300 × 300	345	OA	吹出口		500 × 500 × 450	○	2	
	洗濯室	HS	450 × 450	1,050	EA	吸込口		650 × 650 × 500		1	EF-30
		VHS(F付)	600 × 600	1,530	OA	吹出口		800 × 800 × 600	○	3	
	従業員通路	VHS(F付)	300 × 300	420	OA	吹出口		500 × 500 × 450	○	1	
		VHS(F付)	200 × 200	140	OA	吹出口		400 × 400 × 350	○	1	

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　制気口リスト（２）	縮尺 A1 N.S A3 N.S	図面番号 M-21
			設計者		作図者	後藤　利基						

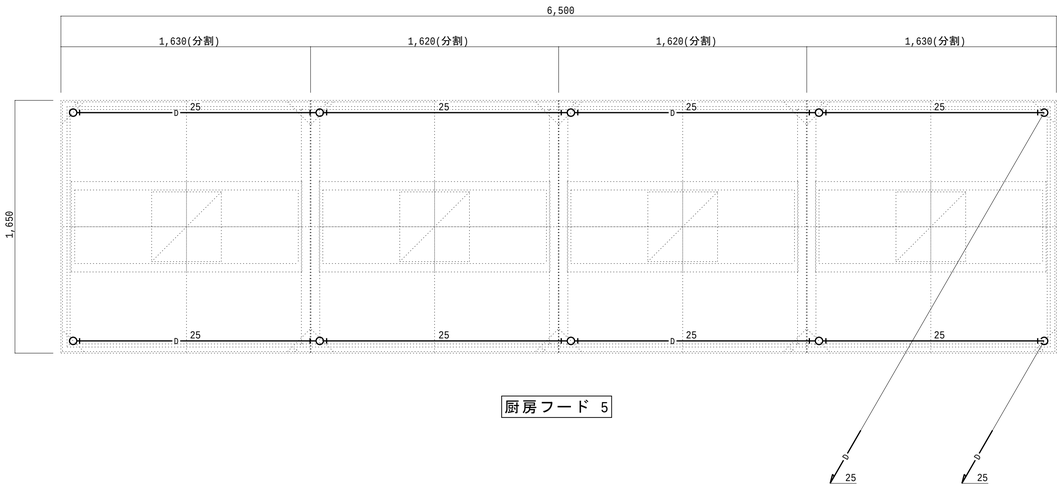
厨房フードリスト（火気使用室における換気量計算）

建築基準法　第28条3項　令20条の3　昭45建告第1826号による算定

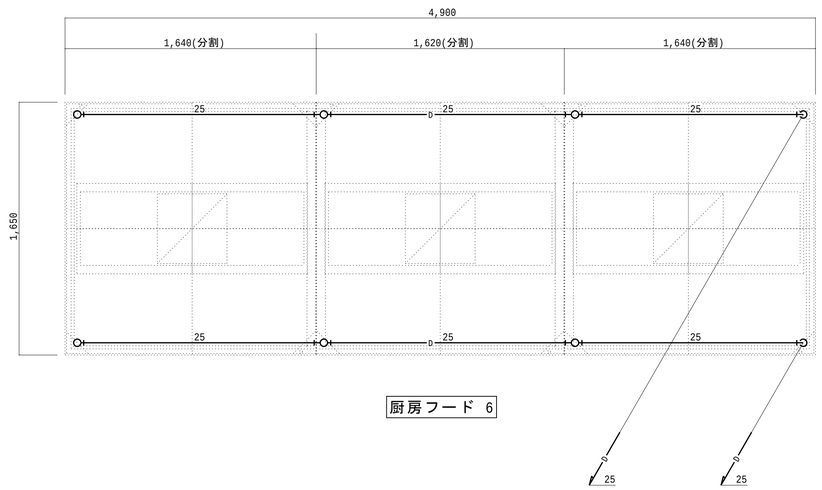
理論廃ｶﾞｽ量　1KW=0.93m3/kw･h(都市ガス13A) 電気式はe･p=30･p

室　名	厨房器具 記号	厨房器具 器具名	Q ｶﾞｽ消費量 (Kw)	P 消費電力 (Kw)	蒸気消費量 (Kg/H)	台数	V=NKQ　V：有効換気量(m3/h) K：理論廃ｶﾞｽ量 (都市ｶﾞｽ13A) (m3/Kw･h)	ﾌｰﾄﾞ形状係数	計算式	V：有効換気量 (m3/h)	ﾌｰﾄﾞ No.	ﾌｰﾄﾞ寸法（内寸）(W×D×H)	ﾌｰﾄﾞ面積 (m2)	ﾌｰﾄﾞ面風速 (m/s)	必要換気量 (m3/h)	設計換気量 (m3/h)	GF	FD	備　考
機器洗浄室1	A17	自動器具洗浄機	―	4.59	150.0	1	―	―	30×4.59	137.7	①	1.2 × 0.6 × 0.8	0.72	0.5	1296	1300			
											②	1.2 × 0.85 × 0.8	1.02	0.5	1836	1900			
															計	3200			
機器洗浄室2	E21	自動器具洗浄機	―	4.59	240.0	1	―	―	30×4.59	137.7	③	1.2 × 0.6 × 0.8	0.72	0.5	1296	1300			
											④	1.2 × 0.85 × 0.8	1.02	0.5	1836	1900			
															計	3200			
揚物･焼物･蒸し物調理室	F5	ｺﾝﾋﾞｵｰﾌﾞﾝ	―	24.6*2	―	3	―	―	30×24.6×2×3	4428	⑤	4.9 × 1.65 × 1.0	8.085	0.4	11642	12000	○		要結露水用ﾄﾞﾚﾝ配管
	F5	ｺﾝﾋﾞｵｰﾌﾞﾝ	―	24.6*2	―	3	―	―	30×24.6×2×3	4428	⑥	4.9 × 1.65 × 1.0	8.085	0.4	11642	12000	○		要結露水用ﾄﾞﾚﾝ配管
	F10	蒸気回転釜	―	―	70.0	1	―	―	―	―	⑦	2.2 × 1.75 × 0.6	3.85	0.4	5544	5600	○		要結露水用ﾄﾞﾚﾝ配管
	F10	蒸気回転釜	―	―	70.0	1	―	―	―	―	⑧	2.2 × 1.75 × 0.6	3.85	0.4	5544	5600	○		要結露水用ﾄﾞﾚﾝ配管
															計	35200			
	F-2	連続ﾌﾗｲﾔｰ	149.0	3.405	―	2	0.93	2	2×0.93×149×2	554	―		厨房メーカー指示風量（フライヤー２台分）→			7800			ﾌﾗｲﾔｰに換気ﾀﾞｸﾄ接続
器具洗浄室3	F14	器具洗浄機	―	4.59	150.0	1	―	―	30×4.59	137.7	⑨	1.2 × 0.6 × 0.8	0.72	0.3	778	800			
											⑪	1.2 × 0.6 × 0.8	0.72	0.3	778	800			
	F16	ﾎﾃﾙﾊﾟﾝ洗浄機	―	2.7	120.0	1	―	―	30×2.7	81	⑩	1.2 × 0.85 × 0.7	1.02	0.3	1101.6	1200			
											⑫	1.2 × 0.85 × 0.7	1.02	0.3	1101.6	1200			
															計	4000			
ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	H9	ｺﾝﾋﾞｵｰﾌﾞﾝ	―	23.1	―	1	―	―	30×23.1	693	⑬	1.25 × 1.2 × 0.6	1.5	0.3	1620	1700	○		
	H7	ｼｽﾃﾑ調理台	―	5.1	―	1	―	―	30×5.1	153	⑭	0.9 × 0.75 × 0.6	0.675	0.3	729	800	○		
	H7	ｼｽﾃﾑ調理台	―	5.1	―	1	―	―	30×5.1	153	⑮	0.9 × 0.75 × 0.6	0.675	0.3	729	800	○		
	H7	ｼｽﾃﾑ調理台	―	5.1	―	1	―	―	30×5.1	153	⑯	0.9 × 0.75 × 0.6	0.675	0.3	729	800	○		
	H7	ｼｽﾃﾑ調理台	―	5.1	―	1	―	―	30×5.1	153	⑰	0.9 × 0.75 × 0.6	0.675	0.3	729	800	○		
															計	4900			
ﾎﾞｲﾙ室	J6	ｽﾃﾝﾚｽ製回転釜	―	―	70.0	4	―	―	―	―	⑱	10.0 × 1.65 × 0.3	16.5	0.5	29700	29700	○		要結露水用ﾄﾞﾚﾝ配管
															計	29700			
洗浄室	L4	ﾄﾞｱﾀｲﾌﾟ自動食器洗浄機	―	11.0	―	1	―	―	30×11.0	330	⑲	1.0 × 1.0 × 1.1	1.0	0.3	1080	1100			
															計	1100			

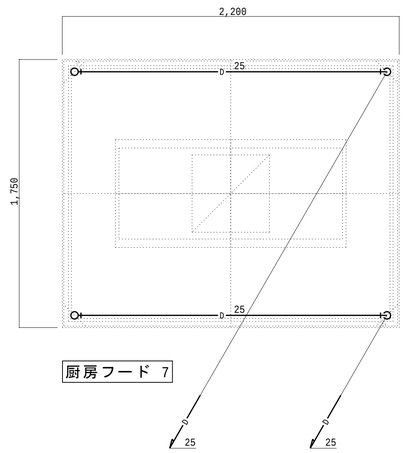
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　厨房フードリスト	縮尺 A1 N.S A3 N.S	図面番号 M-22
		設計者		作図者	後藤　利基						



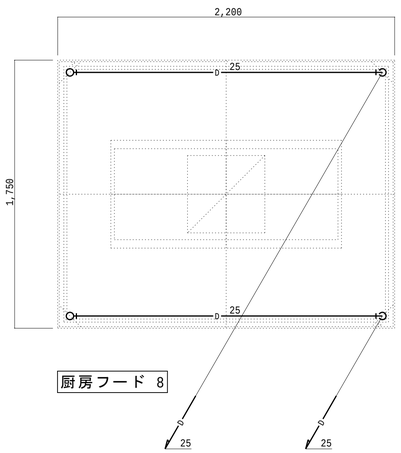
厨房フード 5



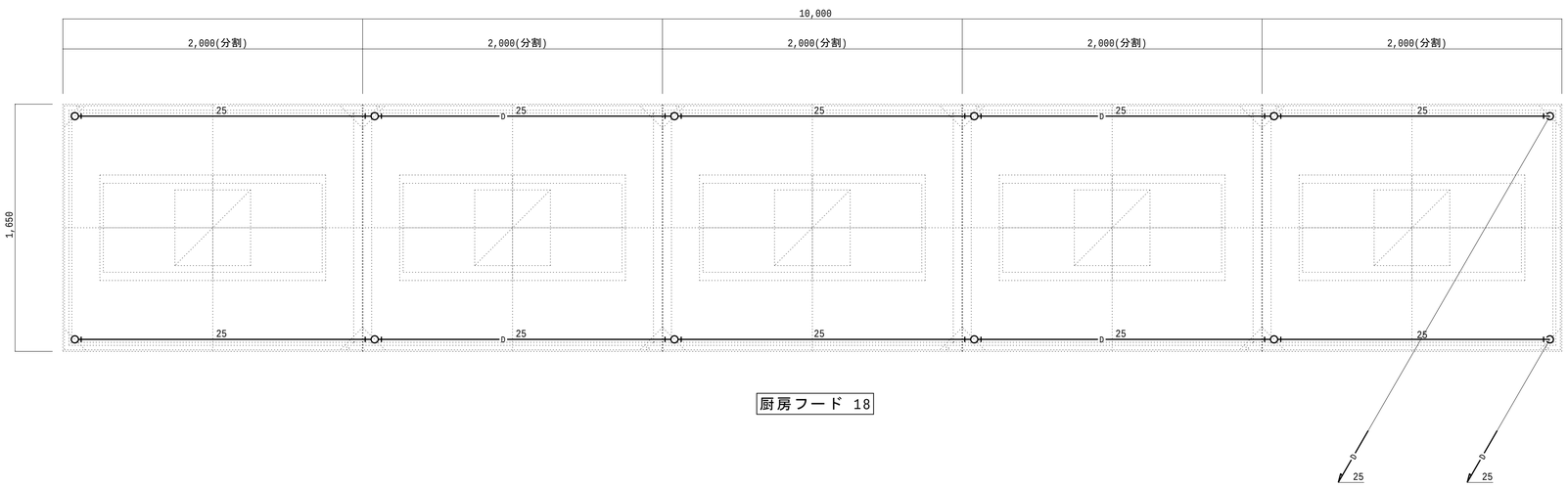
厨房フード 6



厨房フード 7



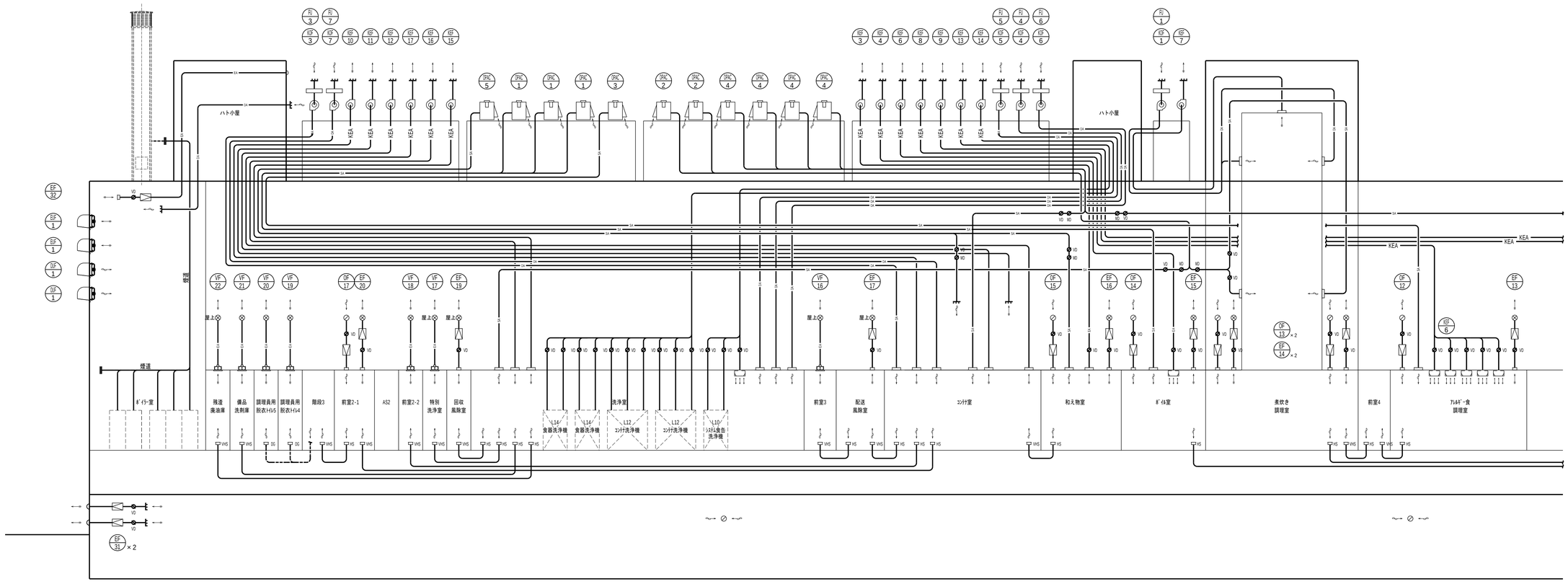
厨房フード 8



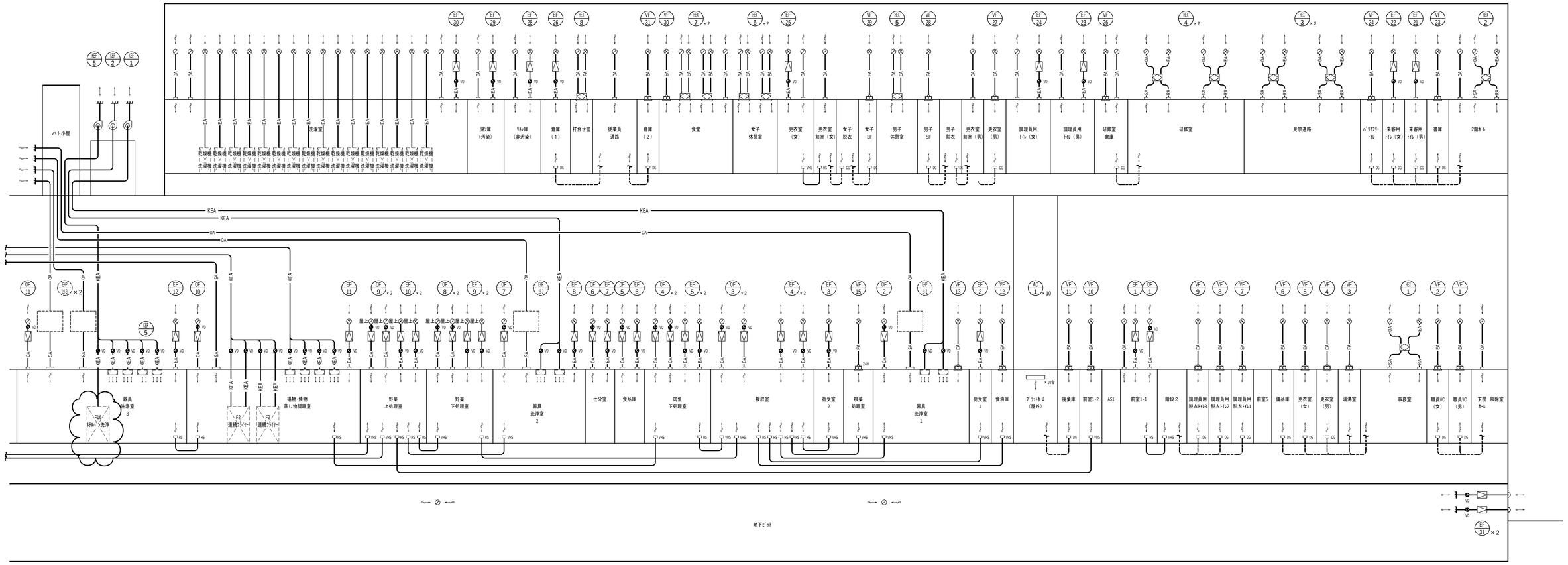
厨房フード 18

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　厨房フードドレン配管詳細図
			設計者		作図者	後藤　利基				

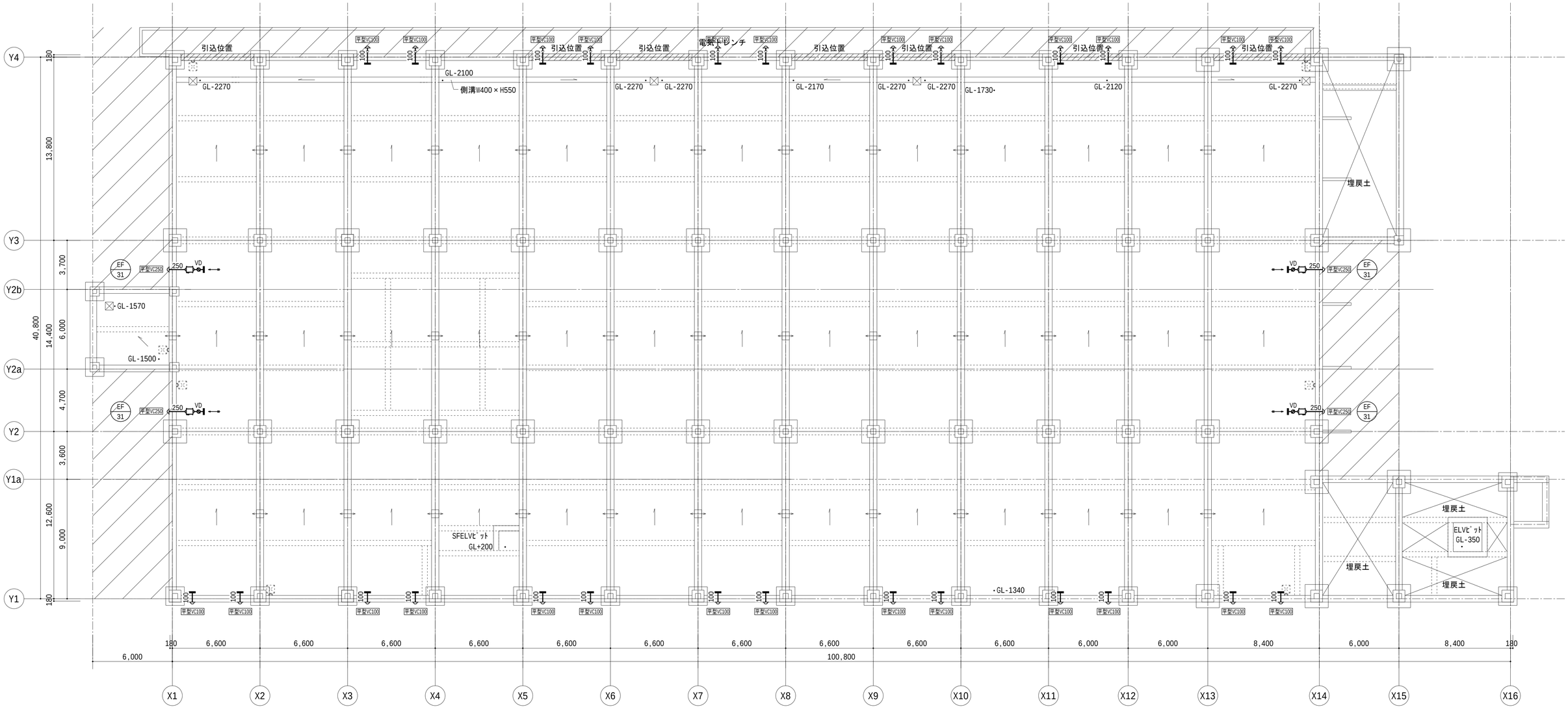
縮尺		図面番号
A1	N.S	M-23
A3	N.S	



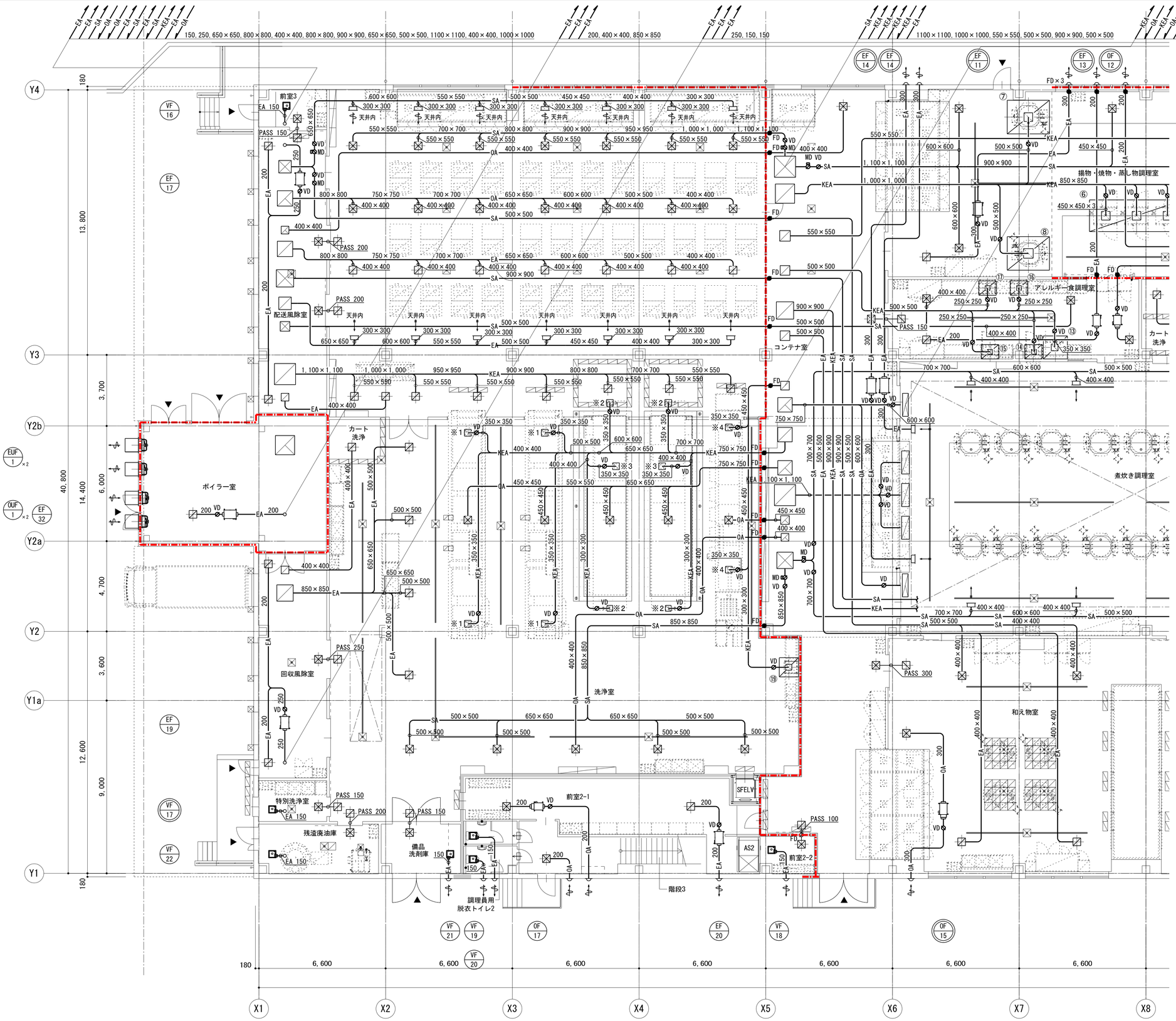
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　系統図（１）	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	N.S	M-24
											A3	N.S	



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　系統図（２）	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	N.S	M-25
											A3	N.S	



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　地下ピット平面図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-26
											A3	1/300	



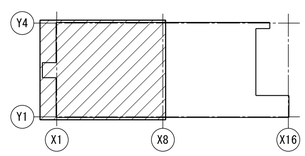
VCﾘｽﾄ　1階　X1～X8間分

	ｶﾞﾗﾘ		防虫ﾌﾞﾐ付	
	FD付	—	FD付	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 100	—	—	—	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 150	—	4	—	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 200	2	1	—	2
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 250	—	—	—	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 300	1	2	—	1
平型 (SUS)VC (軒天取付) 300	—	—	—	—

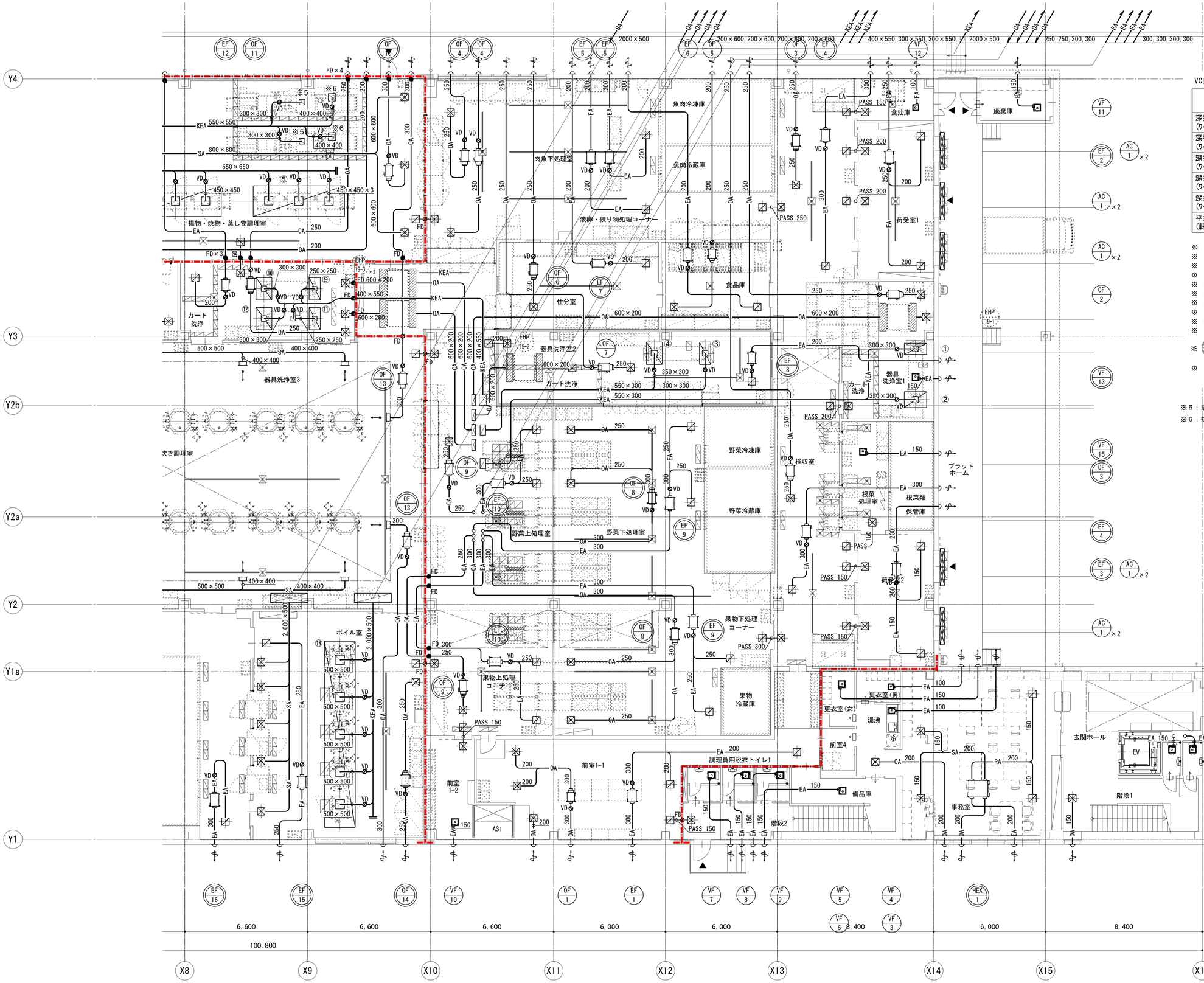
※　延焼の恐れのある部分は、100㎠以下の場合は有効な防火覆いとしてFDは不要とする
※　火気使用のﾀﾞｸﾄはRW50ｔにて断熱処理とする
※　全熱交換器のﾀﾞｸﾄ保温面所は１次側ﾀﾞｸﾄ(EA・OA)・2次側ﾀﾞｸﾄ(SAのみ)とする
※　外壁より1mの排気ﾀﾞｸﾄ(EA)、給気ﾀﾞｸﾄ(SA)・外気ﾀﾞｸﾄ(OA)は保温とする
※　VCはSUS製（指定色焼付）としEA用はｶﾞﾗﾘ付、OA側は防虫網10ﾒｯｼｭとする
※　ﾀﾞｸﾄは全て外壁に向かって先下がりとする
※　VC廻りｼｰﾘﾝｸﾞ材は建築の使用材料と同一とする
※　ﾀﾞｸﾄの区画貫通部はFD取付の上、ｽﾘｰﾌﾞ穴はﾓﾙﾀﾙ充填とする
※　屋外露出ﾀﾞｸﾄは全てSUS製とする
※　浴室天井内の吊金具はSUS製とする
※　(**/*)は24時間換気対応機種を示す
※　----は防火区画を示す

※１：排気ﾀﾞｸﾄ×４カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:1000×150、接続位置:1FL+1750）
※２：排気ﾀﾞｸﾄ×４カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:694×100、接続位置:1FL+2150）
※３：排気ﾀﾞｸﾄ×２カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:260φ、接続位置:1FL+2710）
※４：排気ﾀﾞｸﾄ×２カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:900×200、接続位置:1FL+2150）

キープラン



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	縮尺 A1 1/100 A3 1/200
			設計者		作図者	後藤　利基	図面名	換気設備　１階平面図（１）	図面番号 M-27



VCﾘｽﾄ　１階　X8～X16間分

	ｶﾞﾗﾘ		防虫ｱﾐ付	
	FD付	—	FD付	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 100	—	3	—	—
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 150	—	9	—	1
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 200	—	7	1	4
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 250	—	2	1	8
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 300	—	4	2	2
平型 (SUS)VC (軒天取付) 300	—	—	—	-

※　延焼の恐れのある部分は、100cm以下の場合は有効な防火覆いとしてFDは不要とする
※　火気使用のﾀﾞｸﾄはRW50ｔにて断熱処理とする
※　全熱交換器のﾀﾞｸﾄ保温箇所は１次側ﾀﾞｸﾄ(EA・OA)・2次側ﾀﾞｸﾄ(SAのみ)とする
※　外壁より1mの排気ﾀﾞｸﾄ(EA)、給気ﾀﾞｸﾄ(SA)・外気ﾀﾞｸﾄ(OA)は保温とする
※　VCはSUS製（指定色焼付）としEA用はｶﾞﾗﾘ付、OA側は防虫網10ﾒｯｼｭとする
※　ﾀﾞｸﾄは全て外壁に向かって先下がりとする
※　VC廻りｼｰﾘﾝｸﾞ材は建築の使用材料と同一とする
※　ﾀﾞｸﾄの区画貫通部はFD取付の上、ｽﾘｰﾌﾞ穴はﾓﾙﾀﾙ充填とする
※　屋外露出ﾀﾞｸﾄは全てSUS製とする
※　浴室天井内の吊金具はSUS製とする
※　(**/*)は24時間換気対応機種を示す
※　━・━・━は防火区画を示す

※５：排気ﾀﾞｸﾄ×２カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:160×160、接続位置:1FL+2415）
※６：排気ﾀﾞｸﾄ×２カ所（機器接続まで本工事、接続ｻｲｽﾞ:160×160、接続位置:1FL+2340）

EHP-19-1 SA・OAﾁｬﾝﾊﾞｰ(内貼25)

SA	1500×500×500	1
OA	1500×500×500	1

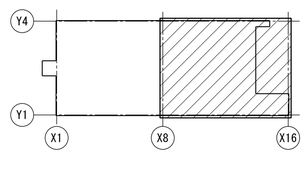
EHP-19-2 SA・OAﾁｬﾝﾊﾞｰ(内貼25)

SA	1500×500×500	1
OA	1500×500×500	1

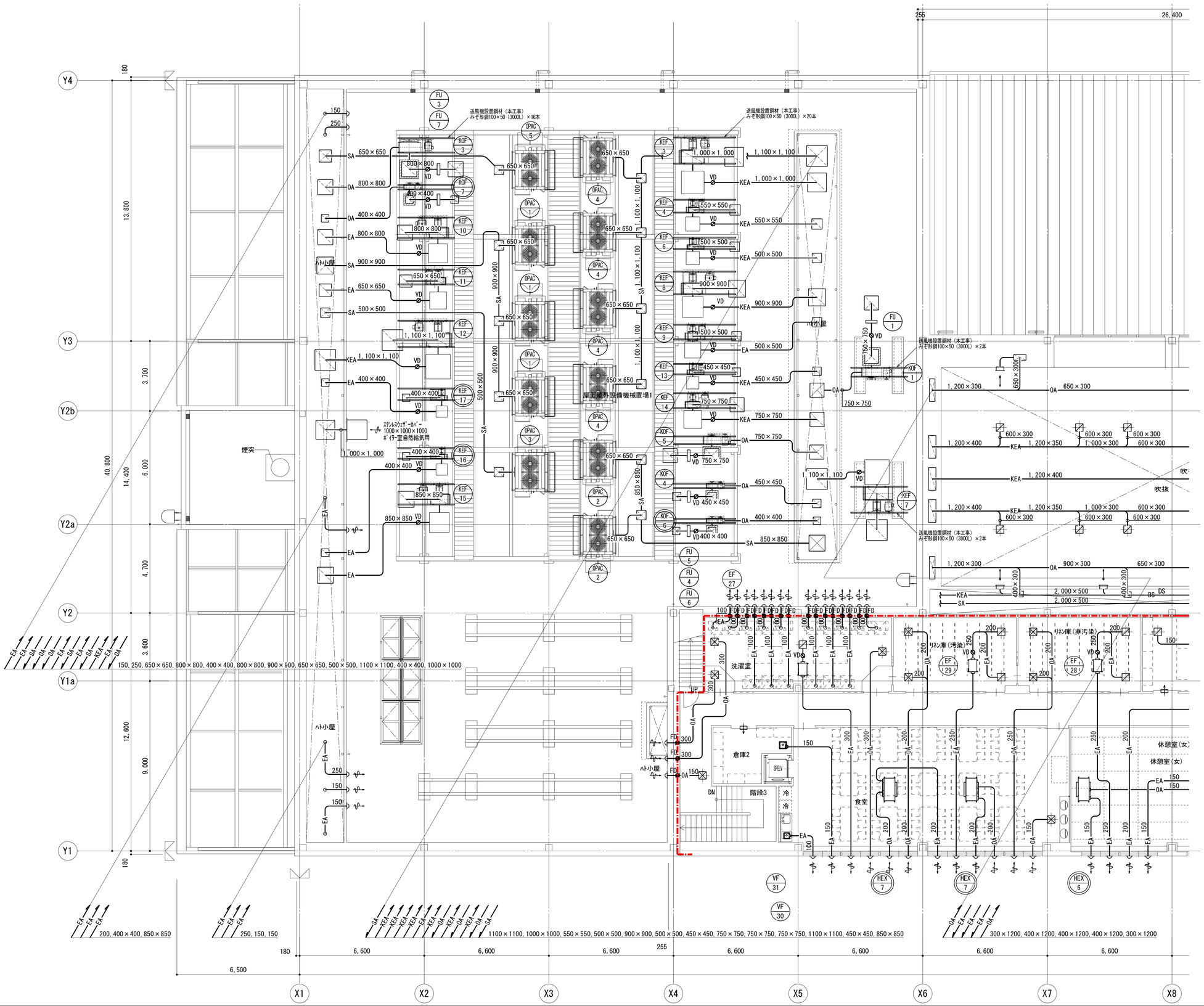
EHP-19-3 SA・OAﾁｬﾝﾊﾞｰ(内貼25)

SA	1500×500×500	2
OA	1500×500×500	2

キープラン



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　１階平面図（２）
			設計者		作図者	後藤　利基			縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-28



VCﾘｽﾄ　2階　X1～X8間分

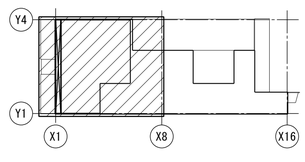
	ｶﾞﾗﾘ		防虫ｱﾐ付	
	FD付	―	FD付	―
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 100	16	1	―	―
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 150	―	6	1	1
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 200	―	3	―	5
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 250	―	4	―	1
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 300	―	1	2	1
平型 (SUS)VC (軒天取付) 300	―	―	―	-

※　延焼の恐れのある部分は、100cm以下の場合は有効な防火覆いとしてFDは不要とする
※　火気使用のﾀﾞｸﾄはRW50ｔにて断熱処理とする
※　全熱交換器のﾀﾞｸﾄ保温箇所は１次側ﾀﾞｸﾄ(EA・OA)・2次側ﾀﾞｸﾄ(SAのみ)とする
※　外壁より1mの排気ﾀﾞｸﾄ(EA)、給気ﾀﾞｸﾄ(SA)・外気ﾀﾞｸﾄ(OA)は保温とする
※　VCはSUS製（指定色焼付）としEA用はｶﾞﾗﾘ付、OA側は防虫網10ﾒｯｼｭとする
※　ﾀﾞｸﾄは全て外壁に向かって先下がりとする
※　VC廻りｼｰﾘﾝｸﾞ材は建築の使用材料と同一とする
※　ﾀﾞｸﾄの区画貫通部はFD取付の上、ｽﾘｰﾌﾞ穴はﾓﾙﾀﾙ充填とする
※　屋外露出ﾀﾞｸﾄは全てSUS製とする
※　浴室天井内の吊金具はSUS製とする
※　(**/*)は24時間換気対応機種を示す
※　-・-・-は防火区画を示す

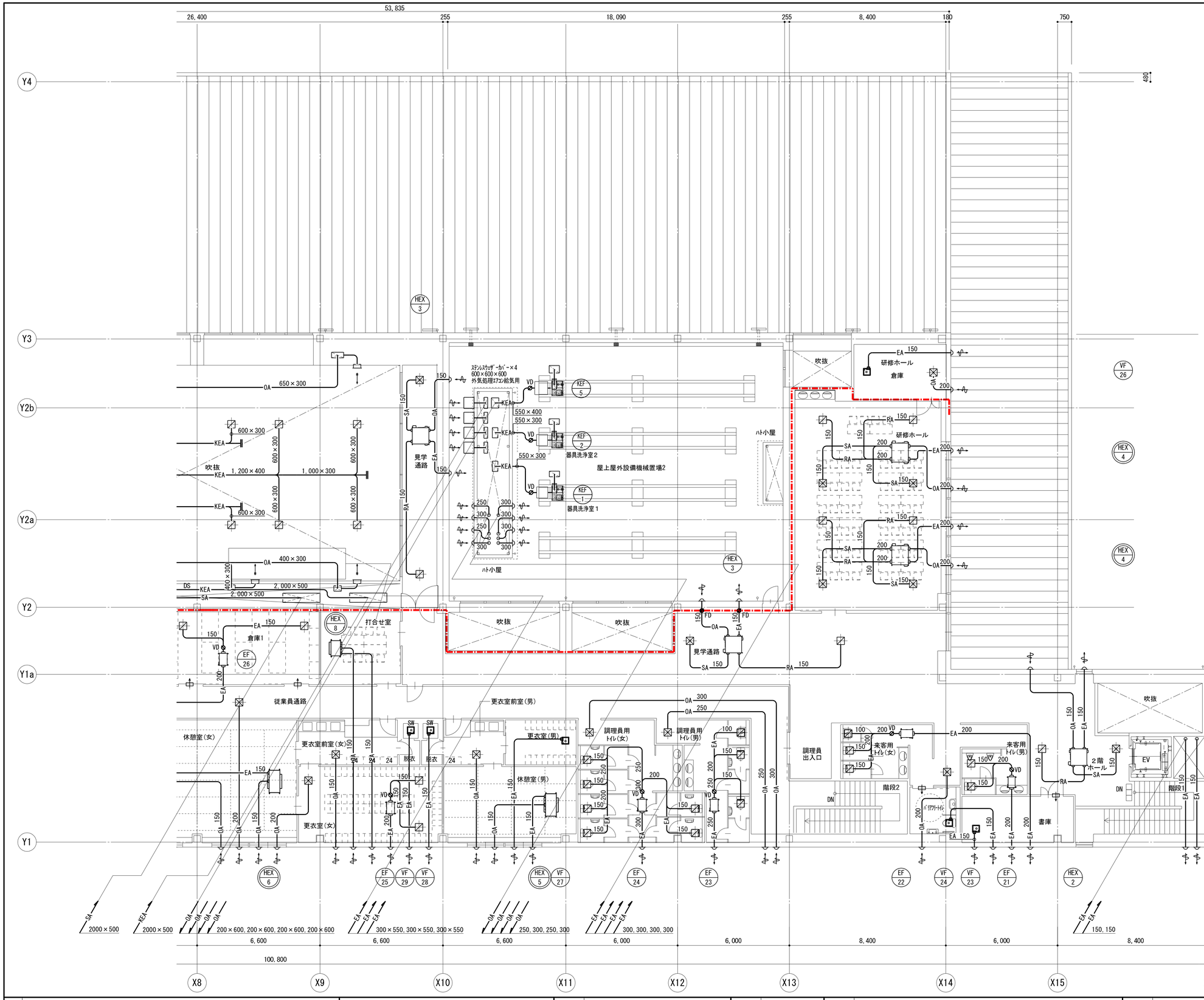
ﾁｬﾝﾊﾞｰﾘｽﾄ

KEF-3	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1400×1400×1400	1
KEF-4	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	950×950×950	1
KEF-6	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	900×900×900	1
KEF-7	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1500×1500×1500	1
KEF-8	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1300×1300×1300	1
KEF-9	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	900×900×900	1
KEF-10	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1200×1200×1200	1
KEF-11	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1050×1050×1050	1
KEF-12	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1500×1500×1500	1
KEF-13	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	850×850×850	1
KEF-14	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1150×1150×1150	1
KEF-15	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	1250×1250×1250	1
KEF-16	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	800×800×800	1
KEF-17	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	800×800×800	1
KOF-1	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	1150×1150×1150	1
KOF-3	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	1200×1200×1200	1
KOF-4	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	850×850×850	1
KOF-5	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	1150×1150×1150	1
KOF-6	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	800×800×800	1
KOF-7	SUS製OAﾁｬﾝﾊﾞｰ-(内貼25)	800×800×800	1

キープラン



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日 2026.06.30	工事名 （仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名 換気設備　２階平面図（１）	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-29
			設計者	作図者 後藤　利基				



VCﾘｽﾄ　2階　X8～X16間分

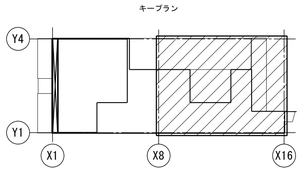
	ｶﾞﾗﾘ		防虫ｱﾐ付	
	FD付	―	FD付	―
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 100	―	―	―	―
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 150	1	12	1	8
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 200	―	5	―	6
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 250	―	1	―	3
深型ｽｸｴｱﾌｰﾄﾞ (SUS)VC (ﾜｲﾄﾞ水切付) 300	―	5	―	3
平型 (SUS)VC (軒天取付) 300	―	―	―	-

※　延焼の恐れのある部分は、100cm以下の場合は有効な防火覆いとしてFDは不要とする
※　火気使用のﾀﾞｸﾄはRW50ｔにて断熱処理とする
※　全熱交換器のﾀﾞｸﾄ保温箇所は１次側ﾀﾞｸﾄ(EA・OA)・2次側ﾀﾞｸﾄ(SAのみ)とする
※　外壁より1mの排気ﾀﾞｸﾄ(EA)、給気ﾀﾞｸﾄ(SA)・外気ﾀﾞｸﾄ(OA)は保温とする
※　VCはSUS製（指定色焼付）としEA用はｶﾞﾗﾘ付、OA側は防虫網10ﾒｯｼｭとする
※　ﾀﾞｸﾄは全て外壁に向かって先下がりとする
※　VC廻りｼｰﾘﾝｸﾞ材は建築の使用材料と同一とする
※　ﾀﾞｸﾄの区画貫通部はFD取付の上、ｽﾘｰﾌﾞ穴はﾓﾙﾀﾙ充填とする
※　屋外露出ﾀﾞｸﾄは全てSUS製とする
※　浴室天井内の吊金具はSUS製とする
※　(**/*)は24時間換気対応機種を示す
※　-・-・-・-は防火区画を示す

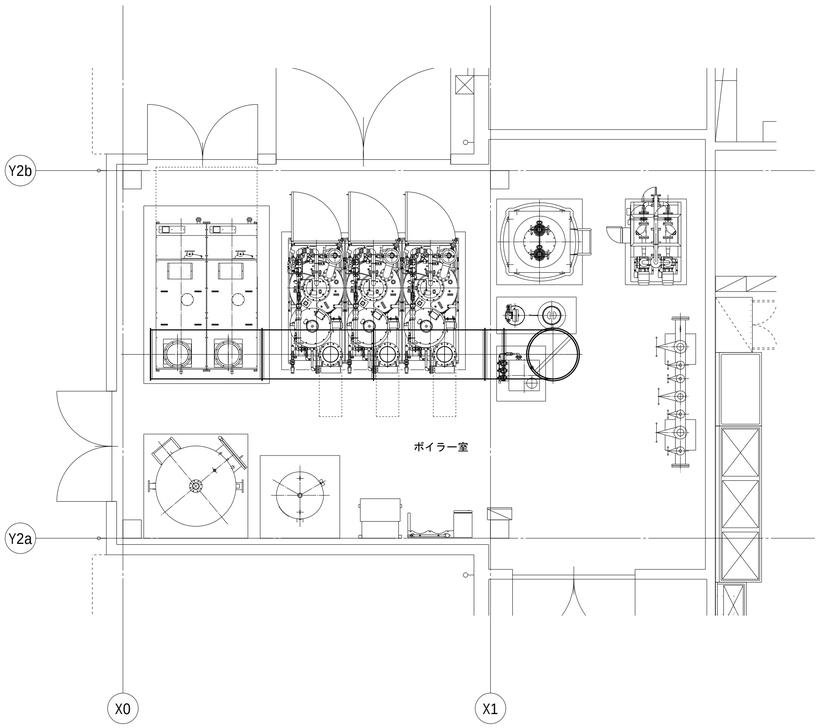
ﾁｬﾝﾊﾞｰﾘｽﾄ

KEF-1	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	950×950×950	1
KEF-2	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	950×950×950	1
KEF-5	SUS製EAﾁｬﾝﾊﾞｰ	950×950×950	1

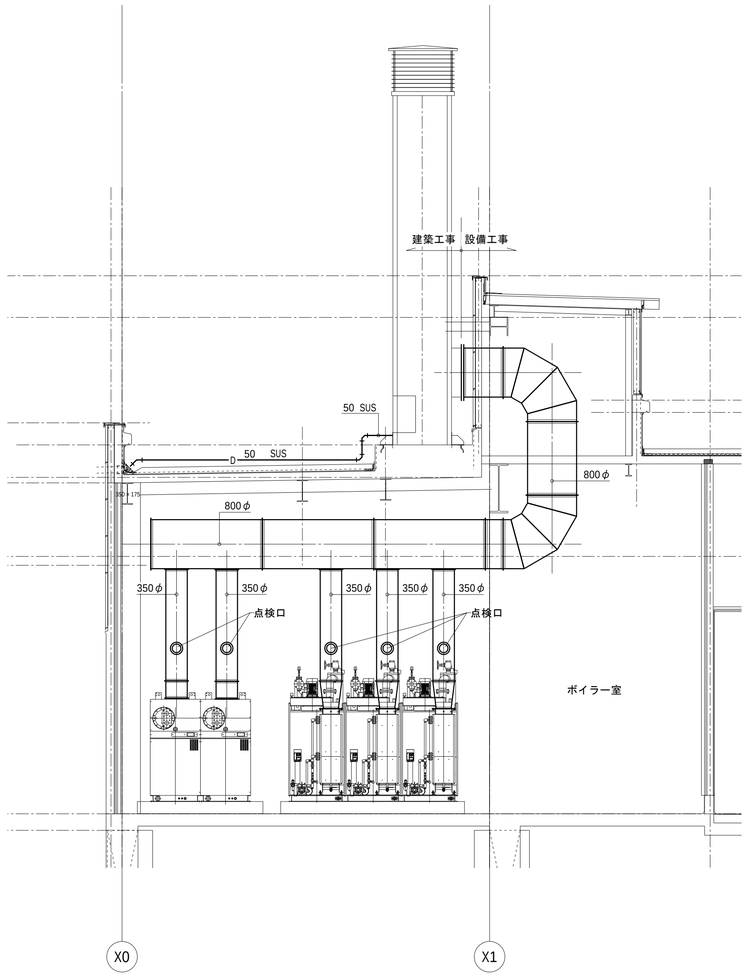
キープラン



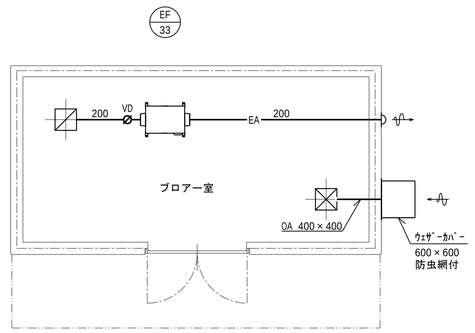
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　２階平面図（２）	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 M-30
		設計者		作図者	後藤　利基						



ボイラー室　平面図



ボイラー室　断面図

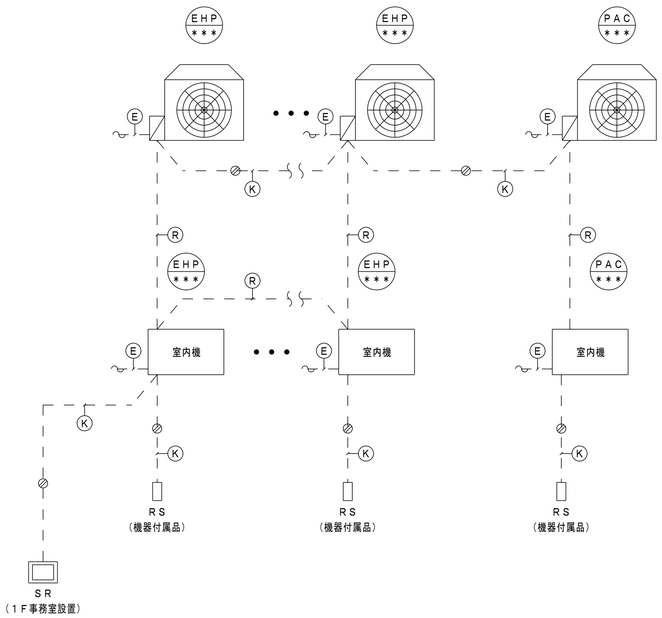


ブロアー室　平面図

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	換気設備　ボイラー室・ブロアー室詳細図
			設計者		作図者	後藤　利基				

縮尺		図面番号
A1	1/50	M-31
A3	1/100	

1．パッケージ廻り配線工事



系統表

階	部屋名	RS	室内機 記号	室内機 台数	室外機 記号
1	玄関・ホール	1	EHP－1－1	1	EHP－1
	事務室	2	EHP－1－2	2	
	更衣室（男）	1	EHP－1－3	1	
	更衣室（女）	1	EHP－1－4	1	
	荷受室1	1	EHP－2－1	1	EHP－2
	器具洗浄室1	1	EHP－2－2	1	
	荷受室2	1	EHP－2－3	1	
	根菜処理室	1	EHP－2－4	1	
	検収室	4	EHP－2－5	4	
	肉魚下処理室	4	EHP－3－1	4	EHP－3
	仕分室	1	EHP－3－2	1	
	器具洗浄室2	2	EHP－3－3	2	
	前室1－1	3	EHP－4－1	3	EHP－4
	前室1－2	1	EHP－4－2	1	
	野菜下処理室	4	EHP－5－1	4	EHP－5
	野菜上処理室	3	EHP－5－2	3	
	揚物・焼物・蒸し物調理室	6	EHP－6－1	6	EHP－6
	器具洗浄室3	1	EHP－7－1	1	EHP－7
	アレルギー食調理室	2	EHP－7－2	2	
	煮炊き調理室	4	EHP－8－1	4	EHP－8
	煮炊き調理室	4	EHP－9－1	4	EHP－9
	煮炊き調理室	1	EHP－9－2	1	
	ボイル室	4	EHP－10－1	4	EHP－10
	和え物室	6	EHP－11－1	6	EHP－11
	コンテナ室	4	EHP－12－1	4	EHP－12
	コンテナ室	3	EHP－12－2	3	
	コンテナ室	4	EHP－13－1	4	EHP－13
	配送風除室	2	EHP－13－2	2	
	前室3	1	EHP－13－3	1	

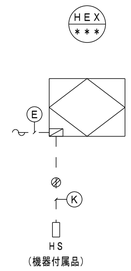
階	部屋名	RS	室内機 記号	室内機 台数	室外機 記号
1	洗浄室	4	EHP－14－1	4	EHP－14
	前室2－1	2	EHP－14－2	2	
	前室2－2	1	EHP－14－3	1	
	洗浄室	4	EHP－15－1	4	EHP－15
	回収風除室	2	EHP－15－2	2	
	特別洗浄室	1	EHP－15－3	1	
2	2階ホール	1	EHP－16－1	1	EHP－16
	見学通路	4	EHP－16－2	4	
	研修ホール	2	EHP－16－3	2	
	調理実習室	1	EHP－16－4	1	
	従業員通路	4	EHP－17－1	4	EHP－17
	更衣室前室（男）	1	EHP－17－2	1	
	更衣室（男）	1	EHP－17－3	1	
	休憩室（男）	1	EHP－17－4	1	
	更衣室前室（女）	1	EHP－17－5	1	
	更衣室（女）	2	EHP－17－6	2	
	休憩室（女）	2	EHP－17－7	2	
	食堂	3	EHP－17－8	3	
	打合せ室	1	EHP－17－9	1	
	リネン庫（非汚染）	1	EHP－18－1	1	EHP－18
	リネン庫（汚染）	1	EHP－18－2	1	
	洗濯室	2	EHP－18－3	2	
1	器具洗浄室1	1	EHP－19－1	1	EHP－19
	器具洗浄室2	1	EHP－19－2	1	
	器具洗浄室3	2	EHP－19－3	2	
	食品庫	1	PAC－1	1	PAC－1
	残渣廃油庫	1	PAC－2	1	PAC－2

（注記）
1．電源供給は電気工事区分とする。
2．室内機～室外機間信号線は冷媒管共巻工事（設備工事）とする。

2．全熱交換器リモコン配線工事

系統表

階	室名	HS	記号	台数
1	事務室	1	HEX－1	1
2	ホール	1	HEX－2	1
	見学通路	2	HEX－3	2
	研修ホール	2	HEX－4	2
	休憩室（男）	1	HEX－5	1
	休憩室（女）	2	HEX－6	2
	食堂	2	HEX－7	2
	打合せ室	1	HEX－8	1

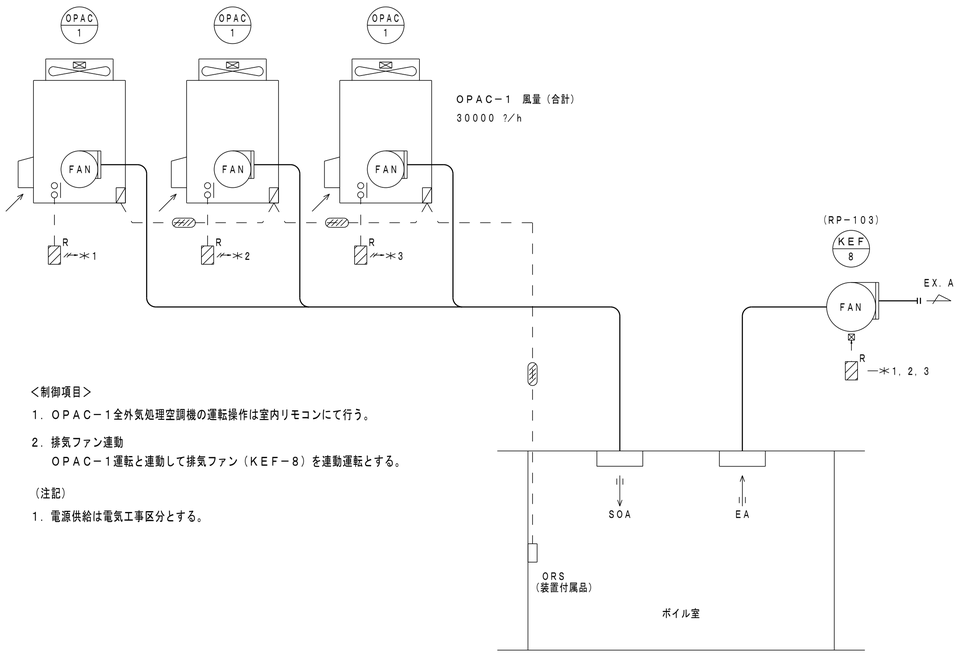


（注記）
1．電源供給は電気工事区分とする。

3.外調機廻り制御（1）　1SET

CP－1－1

・OPAC－1：ボイル室系統



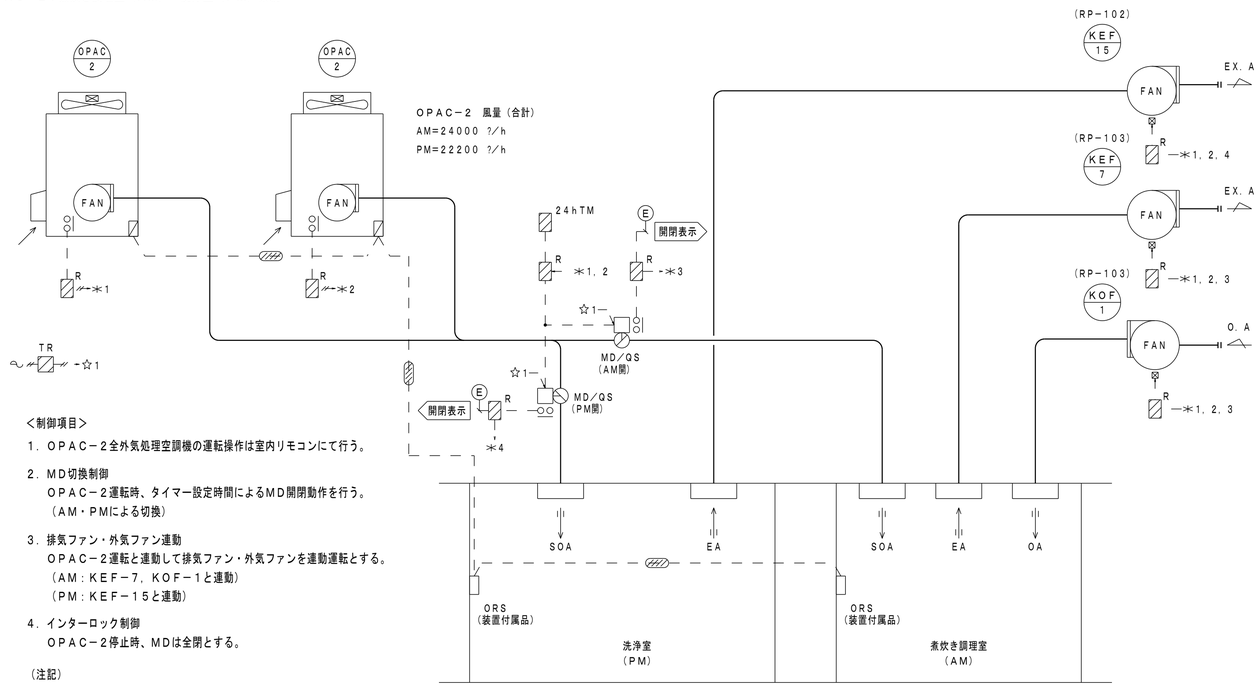
＜制御項目＞
1．OPAC－1全外気処理空調機の運転操作は室内リモコンにて行う。
2．排気ファン連動
　OPAC－1運転と連動して排気ファン（KEF－8）を連動運転とする。

（注記）
1．電源供給は電気工事区分とする。

4.外調機廻り制御（2）　1SET

CP－1－1

・OPAC－2：煮炊き調理室（AM）・洗浄室（PM）系統



＜制御項目＞
1．OPAC－2全外気処理空調機の運転操作は室内リモコンにて行う。
2．MD切換制御
　OPAC－2運転時、タイマー設定時間によるMD開閉動作を行う。
　（AM・PMによる切換）
3．排気ファン・外気ファン連動
　OPAC－2運転と連動して排気ファン・外気ファンを連動運転とする。
　（AM：KEF－7，KOF－1と連動）
　（PM：KEF－15と連動）
4．インターロック制御
　OPAC－2停止時、MDは全閉とする。

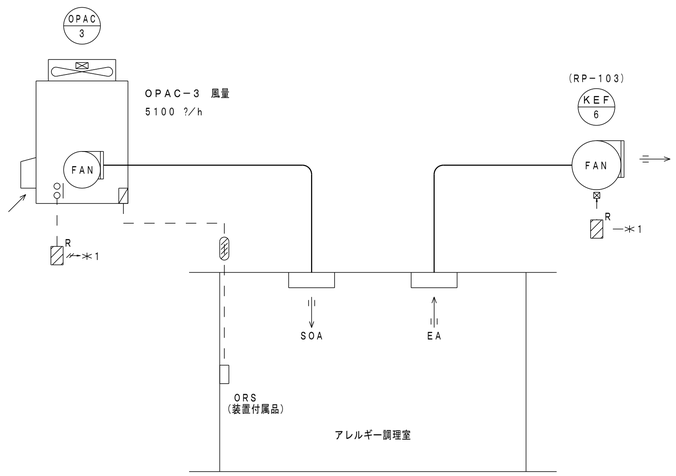
（注記）
1．電源供給は電気工事区分とする。
2．MD開閉信号配線工事は電気工事とする。

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第369847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備　計装図（1）	縮尺 A1	N．S	図面番号
		設計者		作図者	後藤　利基					A3	N．S	M-32

5.外調機廻り制御（3）　1ＳＥＴ

CP－1－1

・ＯＰＡＣ－３：アレルギー調理室系統



＜制御項目＞

1．ＯＰＡＣ－３全外気処理空調機の運転操作は室内リモコンにて行う。

2．排気ファン連動
　ＯＰＡＣ－３運転と連動して排気ファン（ＫＥＦ－６）を連動運転とする。

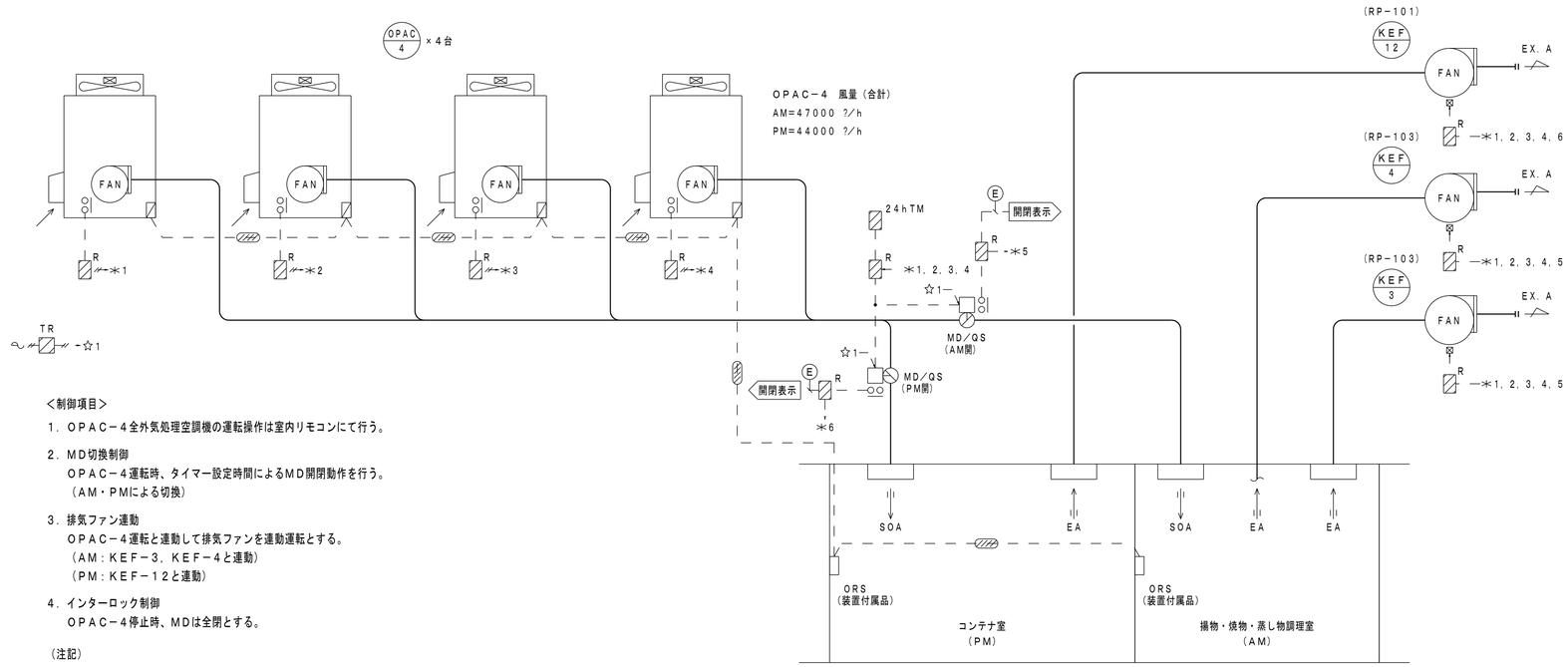
（注記）

1．電源供給は電気工事区分とする。

6.外調機廻り制御（4）　1ＳＥＴ

CP－1－1

・ＯＰＡＣ－４：揚げ物・焼物・蒸し物（AM）・コンテナ室（PM）系統



＜制御項目＞

1．ＯＰＡＣ－４全外気処理空調機の運転操作は室内リモコンにて行う。

2．ＭＤ切換制御
　ＯＰＡＣ－４運転時、タイマー設定時間によるＭＤ開閉動作を行う。
　（ＡＭ・ＰＭによる切換）

3．排気ファン連動
　ＯＰＡＣ－４運転と連動して排気ファンを連動運転とする。
　（ＡＭ：ＫＥＦ－３，ＫＥＦ－４と連動）
　（ＰＭ：ＫＥＦ－１２と連動）

4．インターロック制御
　ＯＰＡＣ－４停止時、ＭＤは全閉とする。

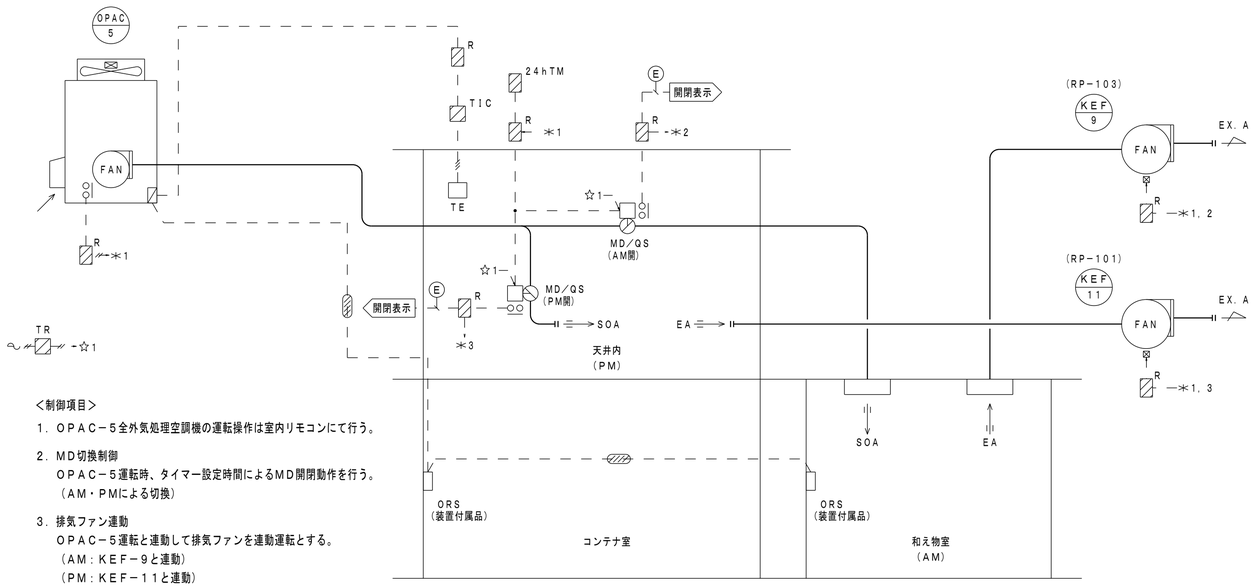
（注記）

1．電源供給は電気工事区分とする。
2．ＭＤ開閉信号配線工事は電気工事とする。

7.外調機廻り制御（5）　1ＳＥＴ

CP－1－1

・ＯＰＡＣ－５：和え物室（AM）・コンテナ室（PM）系統



＜制御項目＞

1．ＯＰＡＣ－５全外気処理空調機の運転操作は室内リモコンにて行う。

2．ＭＤ切換制御
　ＯＰＡＣ－５運転時、タイマー設定時間によるＭＤ開閉動作を行う。
　（ＡＭ・ＰＭによる切換）

3．排気ファン連動
　ＯＰＡＣ－５運転と連動して排気ファンを連動運転とする。
　（ＡＭ：ＫＥＦ－９と連動）
　（ＰＭ：ＫＥＦ－１１と連動）

4．インターロック制御
　ＯＰＡＣ－５停止時、ＭＤは全閉とする。

5．コンテナ室天井内の温度が３０℃以上になった時に
　ＯＰＡＣ－５を運転させる。

（注記）

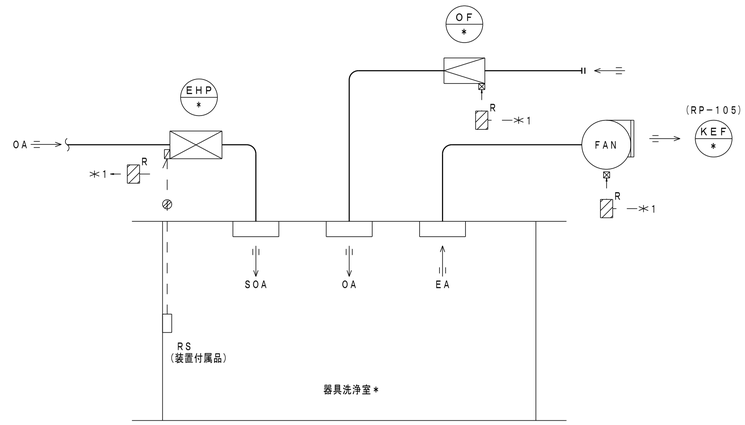
1．電源供給は電気工事区分とする。
2．ＭＤ開閉信号配線工事は電気工事とする。

8.外気処理エアコン・排気ファン・外気ファン制御　3ＳＥＴＳ

CP－1－2

系統表

階	部屋名	外気処理エアコン	台数	外気ファン	排気ファン
1	器具洗浄室1	ＥＨＰ－１９－１	1	ＯＦ－２	ＫＥＦ－１
1	器具洗浄室2	ＥＨＰ－１９－２	1	ＯＦ－７	ＫＥＦ－２
1	器具洗浄室3	ＥＨＰ－１９－３	2	ＯＦ－１１	ＫＥＦ－５



＜制御項目＞

1．外気処理エアコン、外気ファン（ストレートシロッコファン）、
　排気ファンは連動運転とする。

（注記）

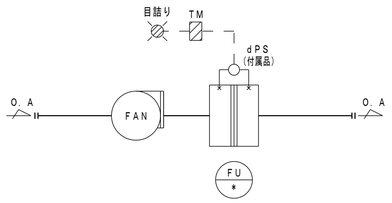
1．電源供給は電気工事区分とする。

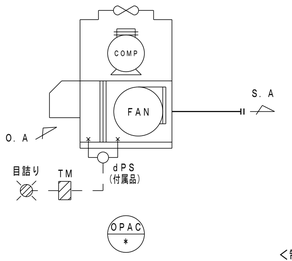
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備　計装図（2）
		設計者		作図者	後藤　利基			縮尺 A1 N．S / A3 N．S	図面番号 M-33

9.フィルタ目詰り警報監視　17SETS

CP－1－2

型　番	設置場所	台数
FU－1	屋上	1
FU－3	屋上	1
FU－4	屋上	1
FU－5	屋上	1
FU－6	屋上	1
FU－7	屋上	1
OPAC－1	屋上	3
OPAC－2	屋上	2
OPAC－3	屋上	1
OPAC－4	屋上	4
OPAC－5	屋上	1
	合計	17

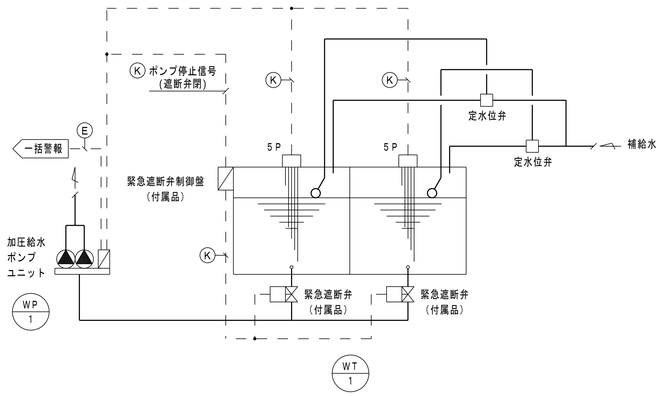




<制御項目>

1. フィルタ目詰り警報
　各フィルタ目詰り警報をCP－1－2（1階備品庫）
　にて表示を行う。
　差圧スイッチ（dps）は付属品とする。

10.受水槽廻り制御　1SET

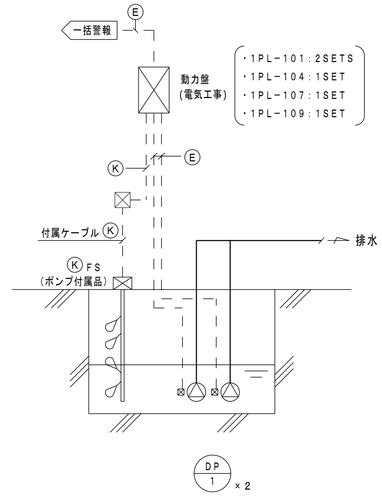


<制御項目>

1. 水位異常時、警報を出力する。（満水／減水）
2. 遮断弁制御（遮断弁制御盤機能）
　地震時、遮断弁を閉とし、ポンプユニットの強制停止を行う。
3. ポンプユニット空転防止制御
　槽内水位低下時、ポンプユニットの空転防止を行う。

（注記）1. 定水位弁、遮断弁及び、遮断弁制御盤は衛生工事とする。
　　2. 緊急遮断弁制御盤１次電源供給は電気工事とする。
　　3. 一括警報配線工事は電気工事とする。
　　4. 電源供給は電気工事区分とする。

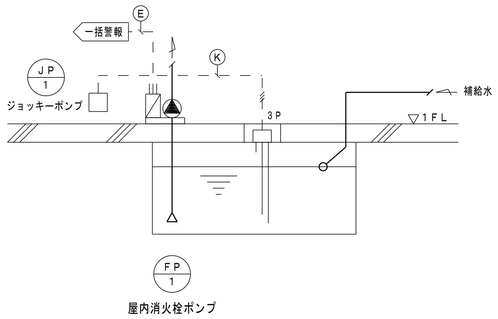
11. 排水ポンプ廻り配線工事　5SETS



（注記）

1. フロートスイッチ（FS）取付及びケーブル敷設工事は、
　自動制御工事とする。
2. 排水ポンプ２台は自動交互運転とし、自動交互
　回路は動力盤にて行う。
3. 排水ポンプへの電源配線工事は電気工事とする。
4. 一括警報配線工事は電気工事とする。
5. 電源供給は電気工事区分とする。

12.消火水槽廻り

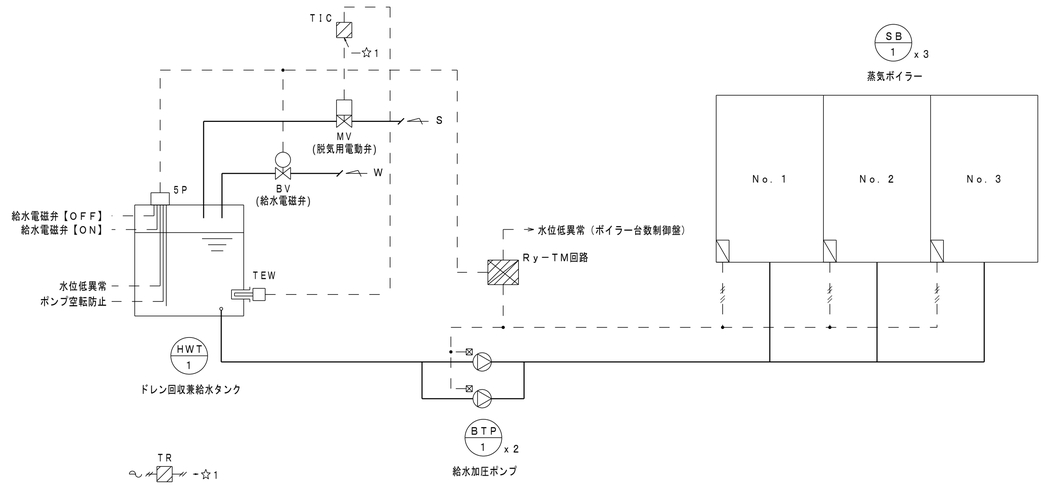


（注記）

1. 電源供給は電気工事区分とする。
2. 一括警報配線工事は電気工事とする。

13. 蒸気ボイラー廻り制御

CP－1－3



<制御項目>

1. タンク内温度制御
　タンク内温度によりMV（脱気用電動弁）の比例制御を行う。
2. 水位制御
　タンク内水位によりBV（給水電磁弁）の開閉制御を行う。
3. 水位監視
　水位異常時に警報をボイラー台数制御盤へ出力する（下限）
　またタイマーにより警報出力のハンチングを防止する。
4. 給水加圧ポンプ連動
　各蒸気ボイラーの運転信号により連動とする。
5. ポンプ空転防止制御
　タンク内水位低下時、給水加圧ポンプ（BTP－1）の空転防止を行う。

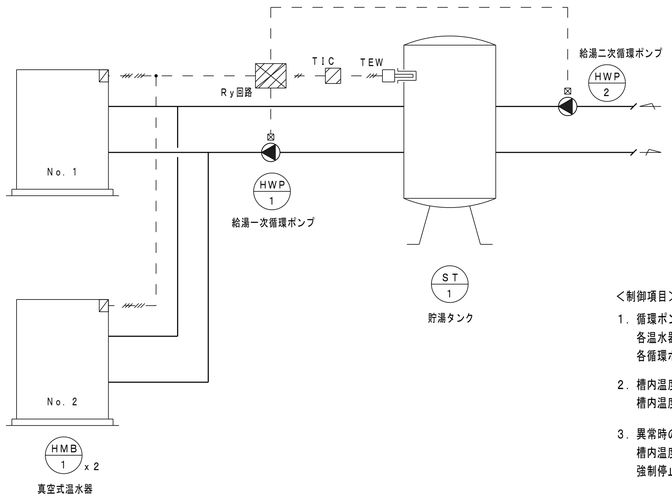
（注記）

1. 電源供給は電気工事区分とする。

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備　計装図（3）	縮尺 A1 N. S / A3 N. S	図面番号 M-34
			設計者		作図者	後藤　利基						

１４．温水ボイラー廻り制御

CP－１－３



＜制御項目＞

１．循環ポンプ連動
　各温水器の［循環ポンプ連動端子］により
　各循環ポンプ（ＨＷＰ－１，ＨＷＰ－２）を連動とする。

２．槽内温度による給湯一次循環ポンプ発停制御
　槽内温度により給湯一次循環ポンプ（ＨＷＰ－１）のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。

３．異常時の停止制御
　槽内温度異常時、各循環ポンプ（ＨＷＰ－１，ＨＷＰ－２）の
　強制停止を行う。

（注記）

１．電源供給は電気工事区分とする。

自動制御機器表

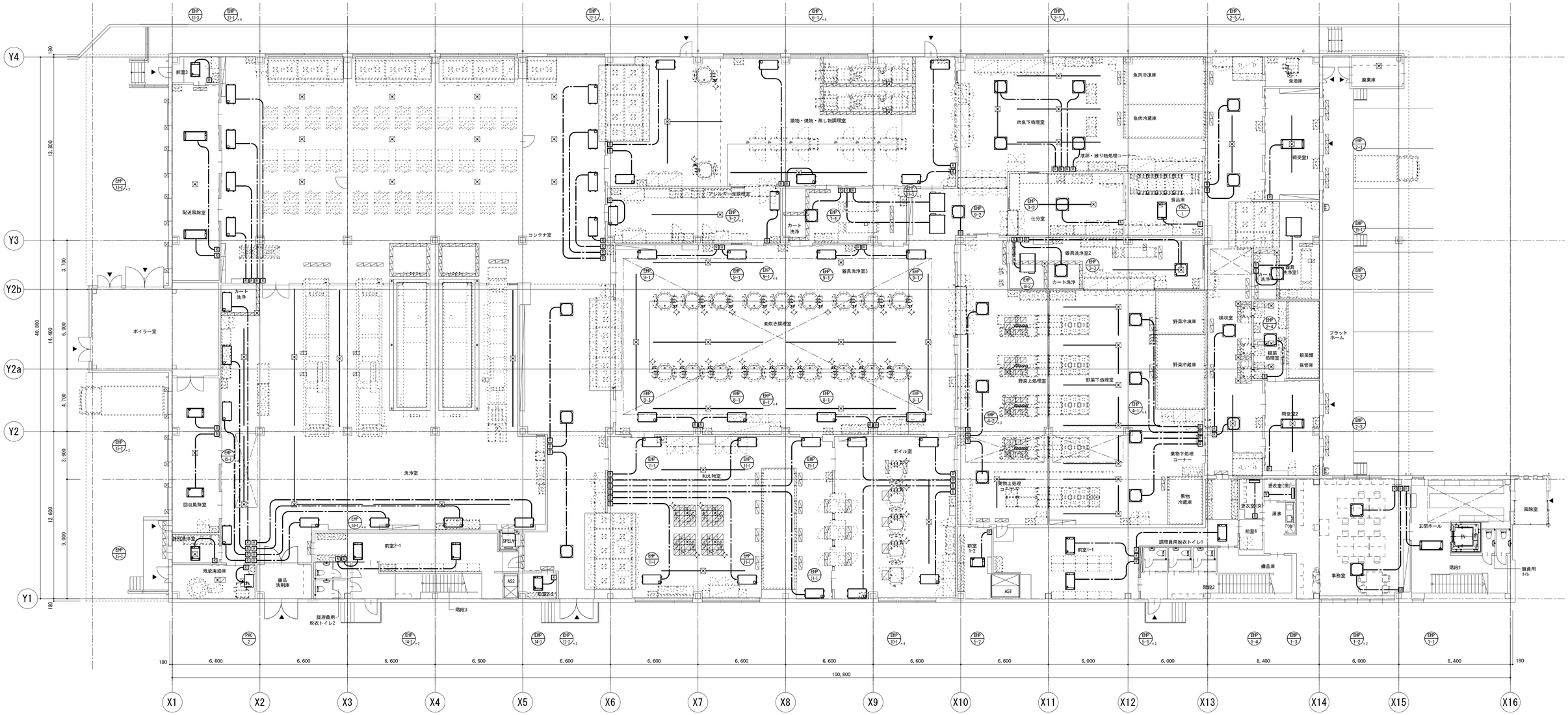
機器記号	名　　称	型　　番	備　　考
ＴＥ	室内型温度センサ	ＴＹ７０４３Ｚ	
ＴＥＷ	挿入型温度センサ	ＴＹ７８３０Ｂ	５００ｍｍ
ＴＩＣ	温度指示調節計	Ｒ３６	
ＭＶ	電動２方弁	ＶＹ５１１５Ｊ【３２Ａ】	脱気用
ＢＶ	電動ボール弁	ＶＹ６３００Ａ【２５Ａ】	
緊急遮断弁			装置付属品
ＭＤ	ダンパ操作器	ＭＹ６０５０Ａ	
ＱＳ	補助スイッチ	ＱＹ６０５１	
ｄＰＳ	差圧スイッチ		装置付属品
３Ｐ	電極棒		
５Ｐ	電極棒		
ＦＳ	フロートスイッチ		装置付属品
ＴＭ	タイマ		
２４ｈＴＭ	２４時間タイマ		
ＴＲ	トランス（２４Ｖ）	ＡＴ７２－Ｊ１	
ＲＹ	補助リレー		
Ｒｙ回路	リレー回路		
Ｒｙ－ＴＭ回路	リレータイマー回路		
ＲＳ	パッケージリモコン		装置付属品
ＨＳ	全熱交換器リモコン		装置付属品
ＯＲＳ	外機処理空調機リモコン		装置付属品
ＳＲ	集中コントローラ		支給品

計装図凡例

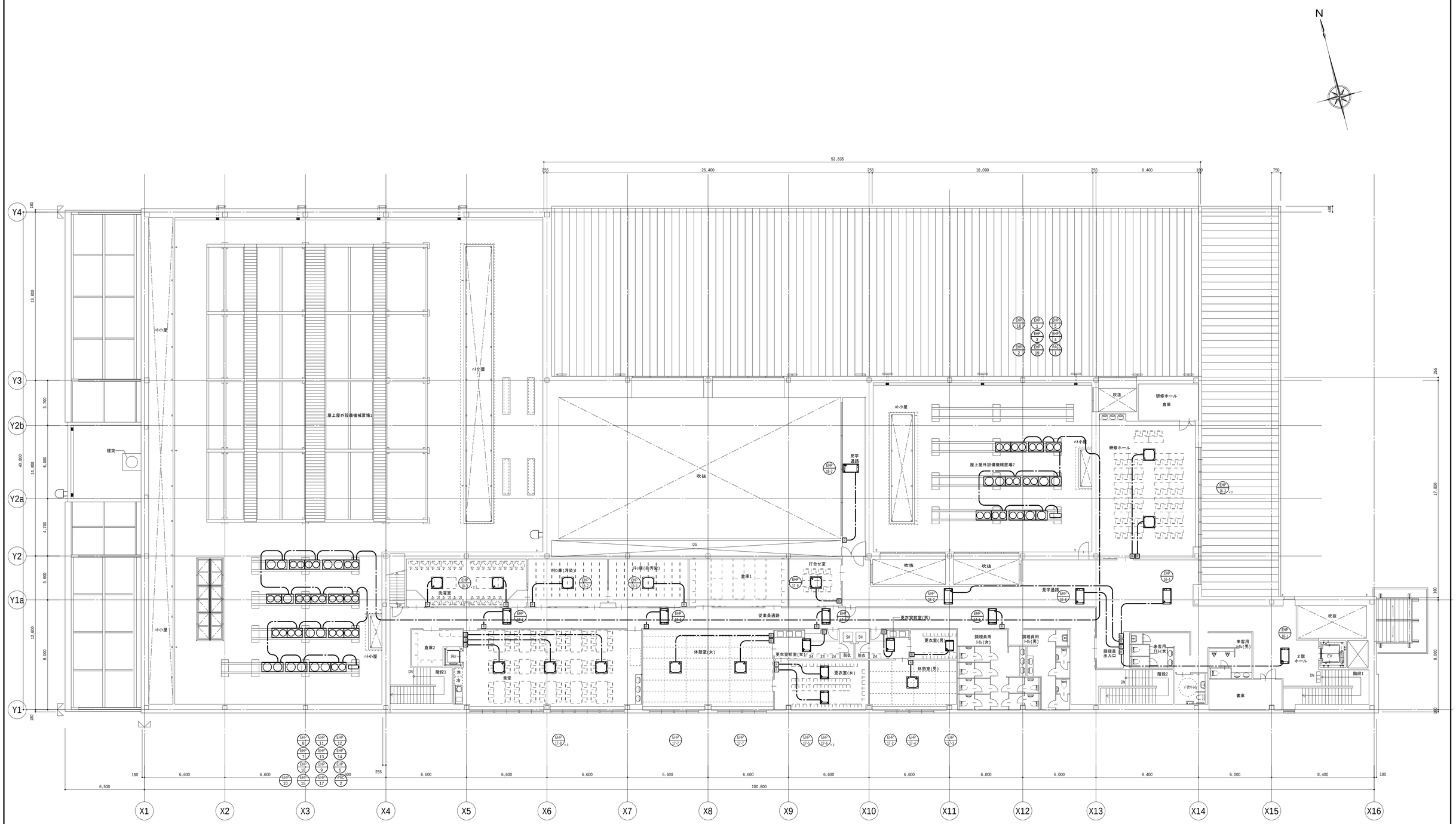
１．　　：電線又はケーブル（斜線は本数を示す）
２．　　：シールドケーブル
３．　　：ファンインターロック
４．　　：低電圧電源（ＡＣ２４ＶまたはＤＣ２４Ｖ）
５．　　：電源（ＡＣ１００Ｖまたは２００Ｖ）
６．　　：制御盤内収納機器
７．　　：電気盤と通信（配線は電気工事区分）
８．Ⓚ：計装工事区分（無記入配線も計装工事区分）
９．Ⓔ：電気工事区分
１０．Ⓡ：冷媒管施工業者区分

自動制御盤一覧表

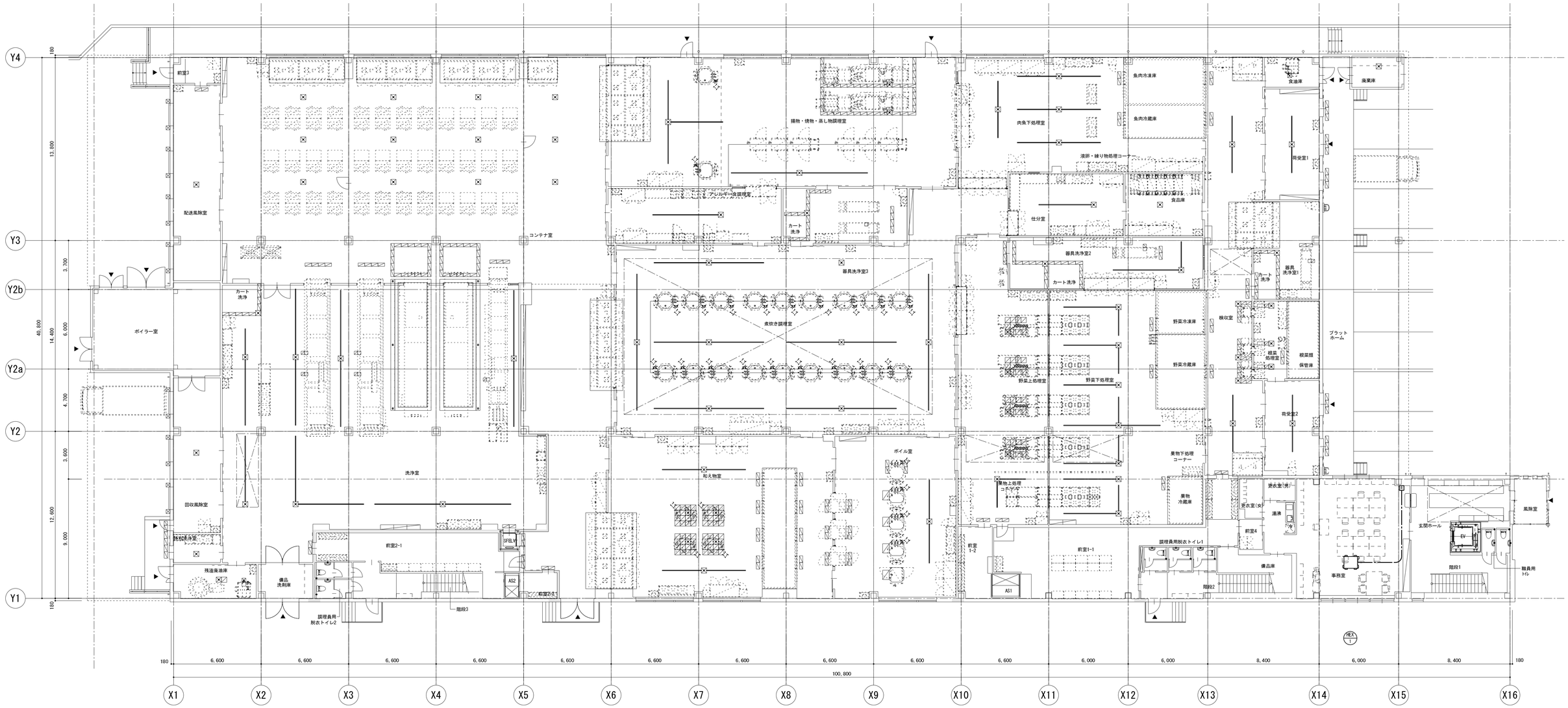
盤名称	形　状	盤　寸　法（参考）			制　御　内　容	備　　考
		Ｗ	Ｈ	Ｄ		
ＣＰ－１－１	屋内壁掛盤	７００	１，２００	２５０	３.外調機廻り制御（１）	
					４.外調機廻り制御（２）	
					５.外調機廻り制御（３）	
					６.外調機廻り制御（４）	
					７.外調機廻り制御（５）	
ＣＰ－１－２	屋内壁掛盤	６００	９００	２５０	８.外気処理エアコン・排気ファン・外気ファン制御	
					９.フィルタ目詰り警報監視	
ＣＰ－１－３	屋内壁掛盤	６００	９００	２５０	１３．蒸気ボイラー廻り制御	
					１４．温水ボイラー廻り制御	



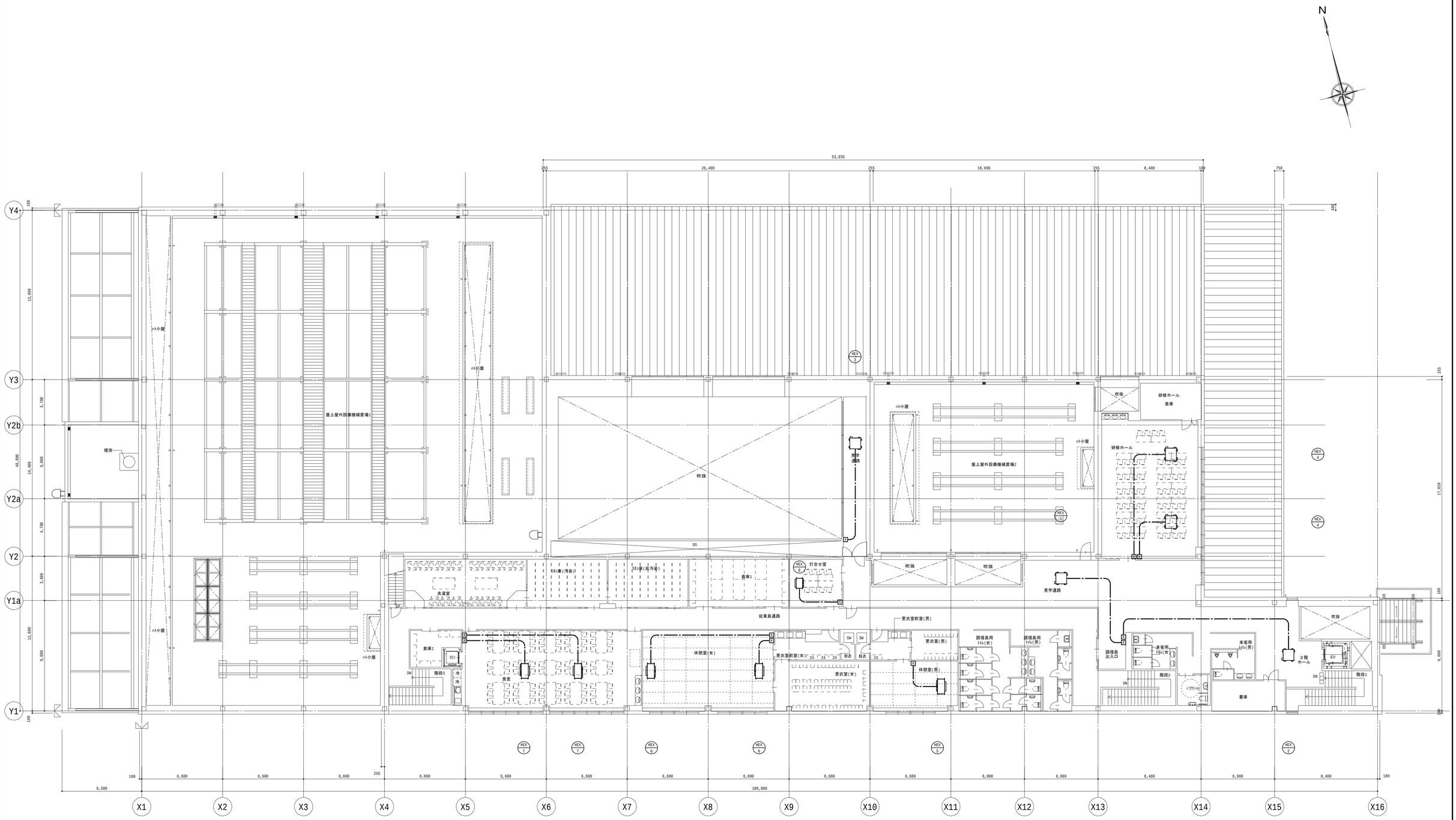
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備 1階平面図 ｴｱｺﾝﾘﾓｺﾝ配線図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-36
											A3	1/300	



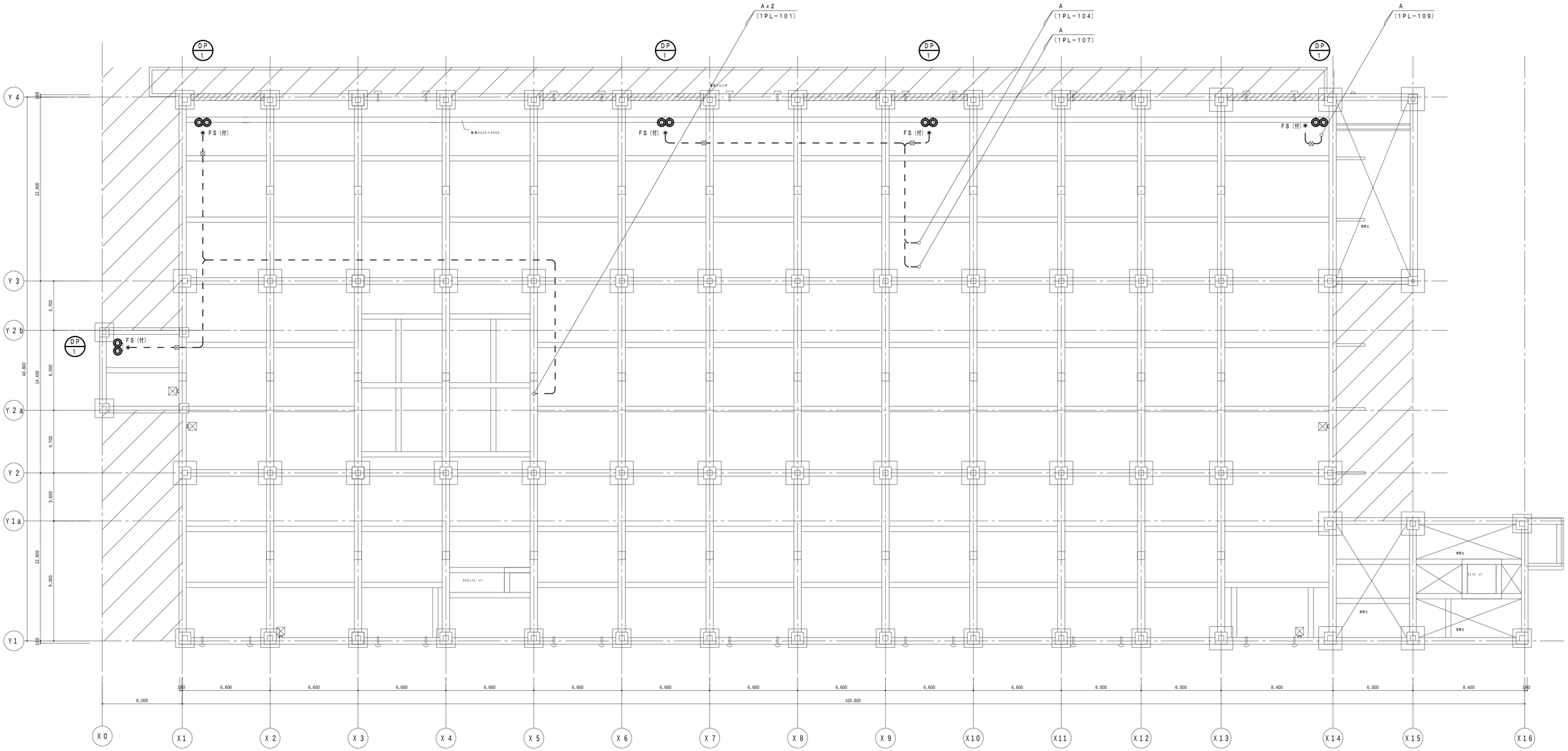
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備 2階平面図 ｴｱｺﾝﾘﾓｺﾝ配線図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-37
											A3	1/300	



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備 1階平面図 全熱交換器ﾘﾓｺﾝ配線図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-38
											A3	1/300	



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備 2階平面図 全熱交換器ﾘﾓｺﾝ配線図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-39
											A3	1/300	



配管配線凡例表（各平面図共通）

記　号	シンボル	配　線	配　管				備　考
			屋内(露出)	屋内(隠蔽)	屋内(天井ふところ)	屋　外	
TE	○	EM-CEE　1.25sq-3C	－	－	コロガシ	－	天井内取付
TEW	○	EM-CEE　1.25sq-3C	(E25)	－	－	－	
MV	□	EM-CEE　1.25sq-6C	(E25)	－	－	－	
BV	□	EM-CEE　2sq-3C	(E25)	－	－	－	
MD／QS	∅	EM-CEE　2sq-5C	(E31)	－	コロガシ	(28)	
dPS	○	EM-CEE　1.25sq-2C	(E25)	－	コロガシ	(22)	
3P	◉	EM-CEE　1.25sq-3C	(E25)	－	－	(22)	
5P	◉	EM-CEE　1.25sq-5C	(E25)	－	－	(22)	
FS	⊗	EM-CEE　1.25sq-5C	(E25)	－	－	－	
RS	○	EM-CEES 1.25sq-2C	－	(PF22)	コロガシ	－	
HS	○	EM-CEES 1.25sq-2C	－	(PF22)	コロガシ	－	
ORS	○	EM-KPEES 0.9sq-2P	(E25)	(PF22)	コロガシ	(22)	
SR	○	EM-CEES 1.25sq-2C	(E25)	(PF22)	コロガシ	(22)	

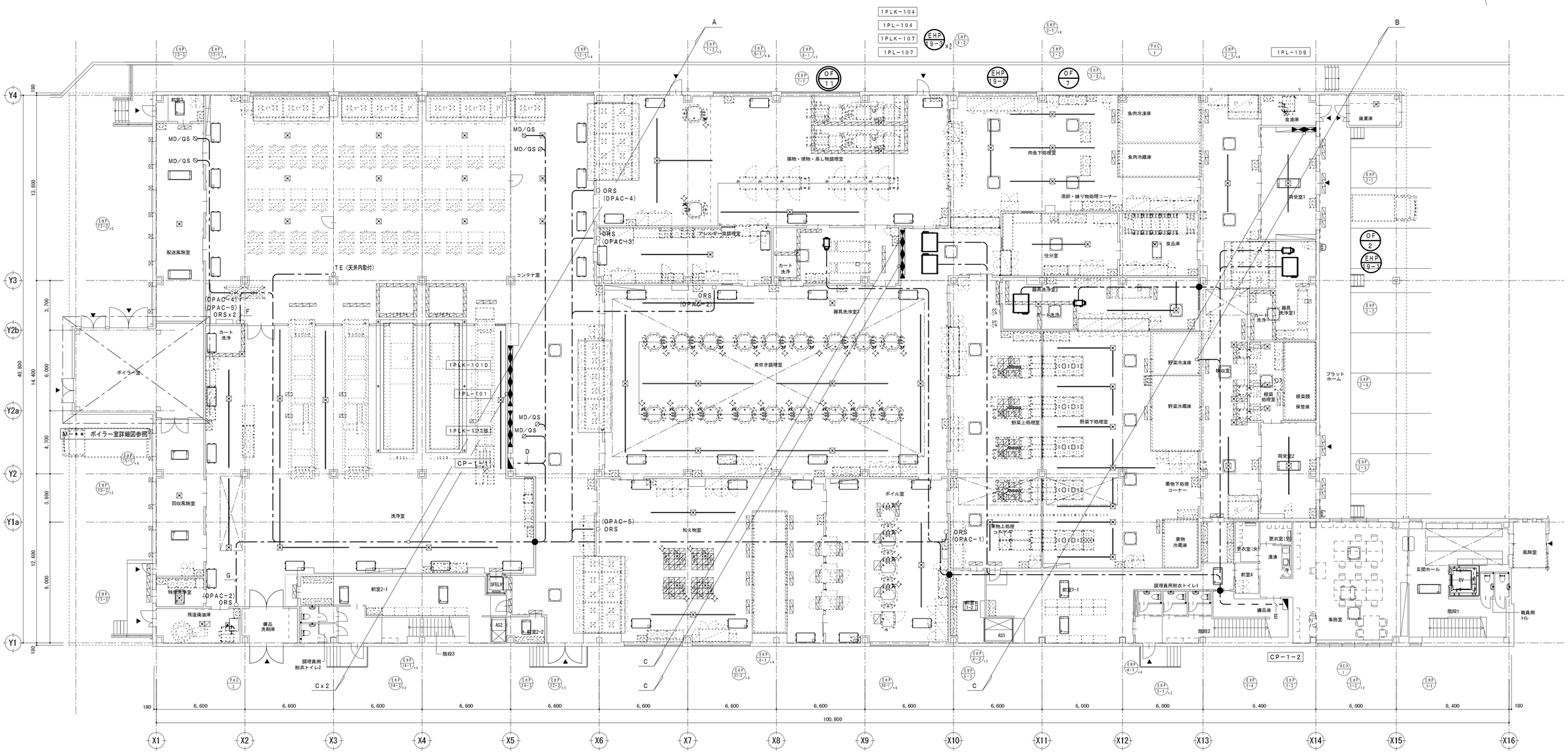
記　号	シンボル	配　線	配　管				備　考
			屋内(露出)	屋内(隠蔽)	屋内(天井ふところ)	屋　外	
温度センサ	○	EM-CEES 1.25sq-4C	(E25)	－	－	(22)	支給品
ED(ボイラー用)	○	EM-CEE　1.25sq-4C	(E25)	－	－	－	機器付属品
ED(温水機用)	○	EM-CEE　1.25sq-3C	(E25)	－	－	－	機器付属品
冷却水電磁弁	□	EM-CEE　1.25sq-2C	(E25)	－	－	－	メーカー品
緊急遮断弁	□	EM-CEE　2sq-8C	(E31)	－	－	－	機器付属品
LS	◉	EM-CEE　1.25sq-2C	(E25)	－	－	－	支給品
水位制御電極	◉	EM-CEES 1.25sq-4C	(E25)	－	－	(22)	支給品
給水流量計	⊗	EM-CEES 1.25sq-2C	(E25)	－	－	－	メーカー品
ガス流量計	⊗	EM-CEES 1.25sq-4C	(E25)	－	－	－	メーカー品
圧力調節器	⊗	EM-CEE　2sq-3C	(E25)	－	－	－	支給品
CO2圧力スイッチ	⊗	EM-CEE　1.25sq-2C	(E25)	－	－	－	支給品
台数制御用圧力発信器	⊗	EM-CEES 1.25sq-2C	(E25)	－	－	－	支給品

配管配線内訳表

－A－

EM-CEE　1.25sq-5C　　(E25)　　FS

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター　空調設備工事	図面名	自動制御設備 地下ﾋﾟｯﾄ平面図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	後藤　利基					A1	1/150	M-40
											A3	1/300	



配管配線内訳表

-A-		
EM-KPEES 0.9sq-2Px5	(E25)x5	ORSx5
EM-KPEES 0.9sq-5Px11	(E31)x11	OPACx11
EM-CEE 1.25sq-2Cx11	(E25)x11	dPS(OPAC)x11
EM-CEE 1.25sq-2Cx6	(E25)x6	dPS(FU)x6
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-101~CP-1-1
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-102~CP-1-1
EM-KPEES 0.9sq-10Px2	(E31)x2	RP-103~CP-1-1
-B-		
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-105~CP-1-2
-C-		
EM-CEE 1.25sq-5C	(E25)	FS

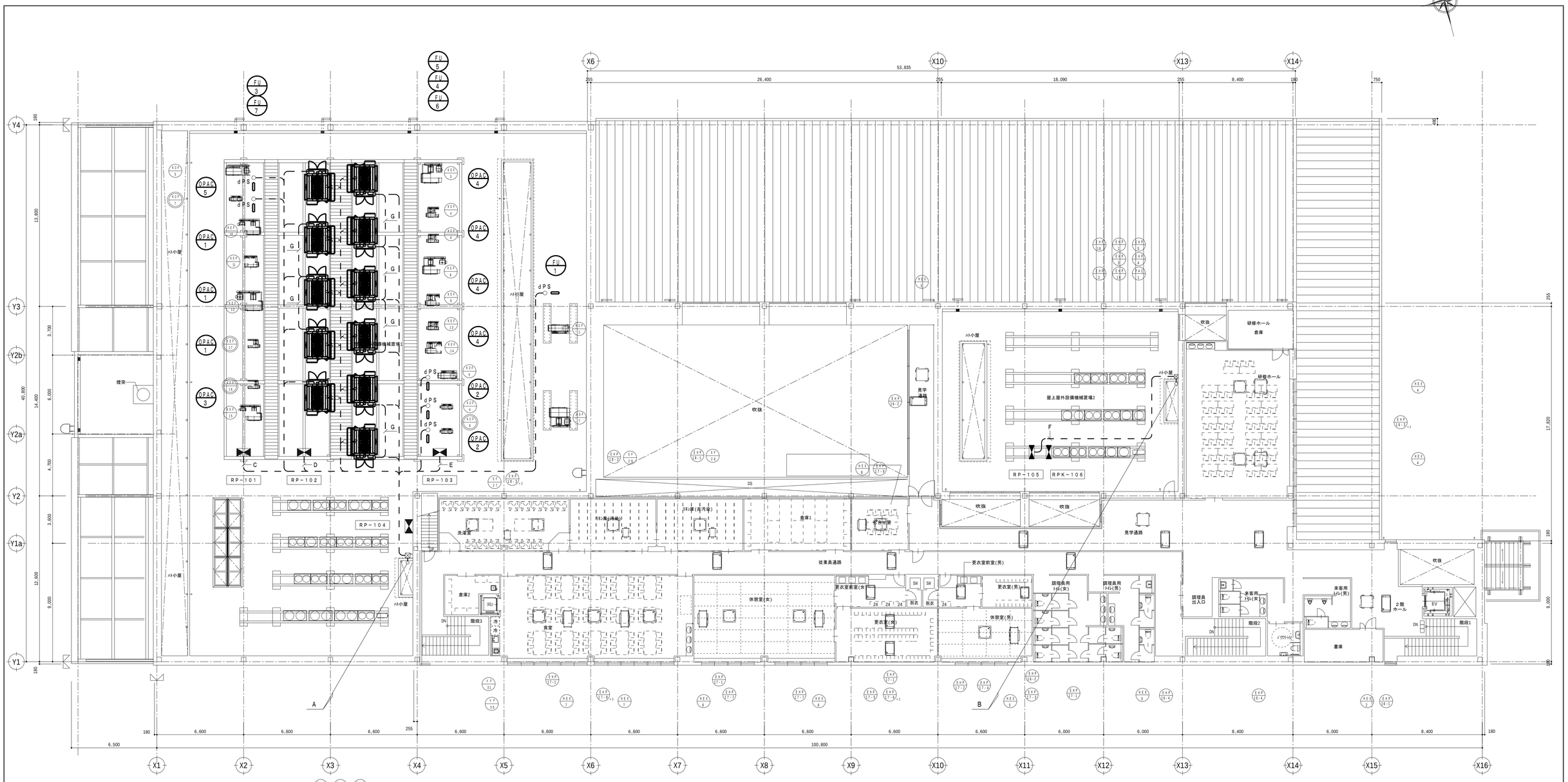
-D-		
EM-CEE 1.25sq-3C	(コロガシ)	TE
EM-CEE 2sq-5Cx6	(コロガシ)	MD/QSx6
EM-KPEES 0.9sq-5Px11	(コロガシ)	OPACx11
-E-		
EM-CEE 1.25sq-2Cx6	(E25)x6	dPS(FU)x6
EM-CEE 1.25sq-2Cx11	(E25)x11	dPS(OPAC)x11
EM-CEE 1.25sq-2C	(E25)	EHP-19-1
EM-CEE 1.25sq-2C	(E25)	EHP-19-2
EM-CEE 1.25sq-2Cx2	(E25)x2	EHP-19-3x2
EM-CEE 2sq-2C	(E25)	OF-2
EM-CEE 2sq-2C	(E25)	OF-7
EM-CEE 2sq-2C	(E25)	OF-11

-F-		
EM-KPEES 0.9sq-2Px2	(コロガシ)	ORS(OPAC-4)
EM-KPEES 0.9sq-2Px2	(コロガシ)	ORS(OPAC-5)
-G-		
EM-KPEES 0.9sq-2Px2	(コロガシ)	ORS(OPAC-2)

● 印は防火区画貫通処理

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター 空調設備工事	図面名	自動制御設備 1階平面図
		設計者		作図者	後藤 利基				

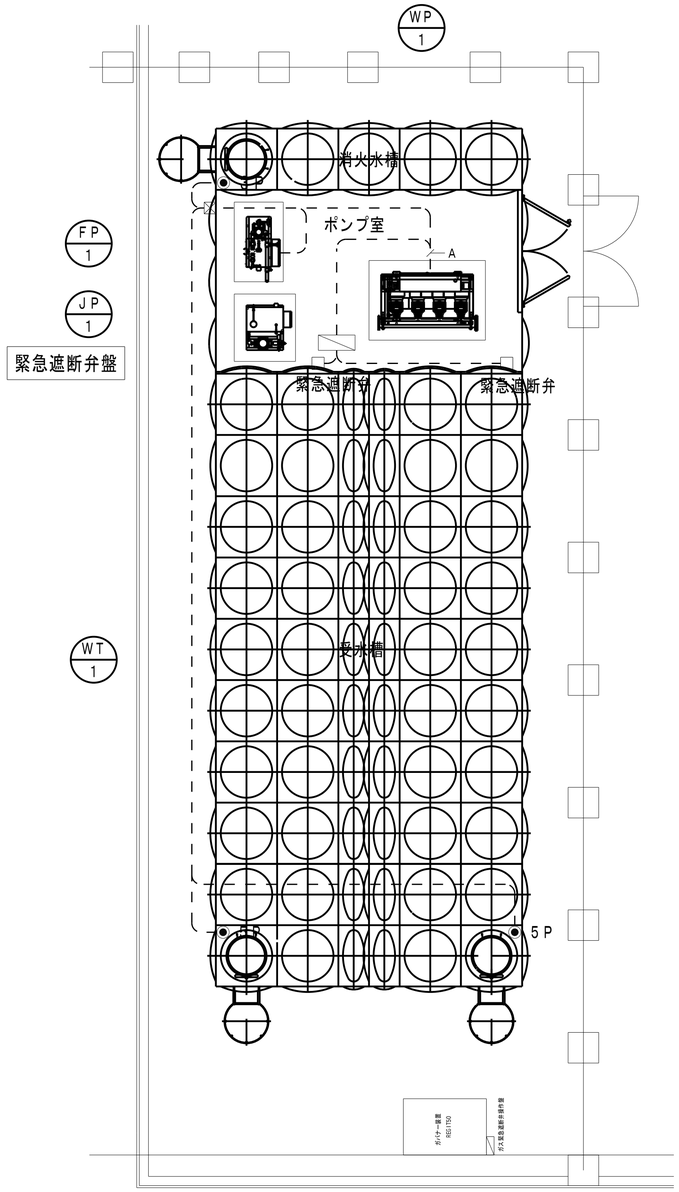
縮尺		図面番号
A1	1/150	M-41
A3	1/300	



配管配線内訳表

-A-		
EM-KPEES 0.9sq-2Px5	(E25)x5	ORSx5
EM-KPEES 0.9sq-5Px11	(E31)x11	OPACx11
EM-CEE 1.25sq-2Cx11	(E25)x11	dPS(OPAC)x11
EM-CEE 1.25sq-2Cx6	(E25)x6	dPS(FU)x6
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-101~CP-1-1
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-102~CP-1-1
EM-KPEES 0.9sq-10Px2	(E31)x2	RP-103~CP-1-1
-B-		
EM-KPEES 0.9sq-10P	(E31)	RP-105~CP-1-2
-C-		
EM-KPEES 0.9sq-10P	(G28)	RP-101~CP-1-1
-D-		
EM-KPEES 0.9sq-10P	(G28)	RP-102~CP-1-1
-E-		
EM-KPEES 0.9sq-10Px2	(G28)x2	RP-103~CP-1-1
-F-		
EM-KPEES 0.9sq-10P	(G28)	RP-105~CP-1-2
-G-		
EM-KPEES 0.9sq-2P	(G22)	ORS渡り

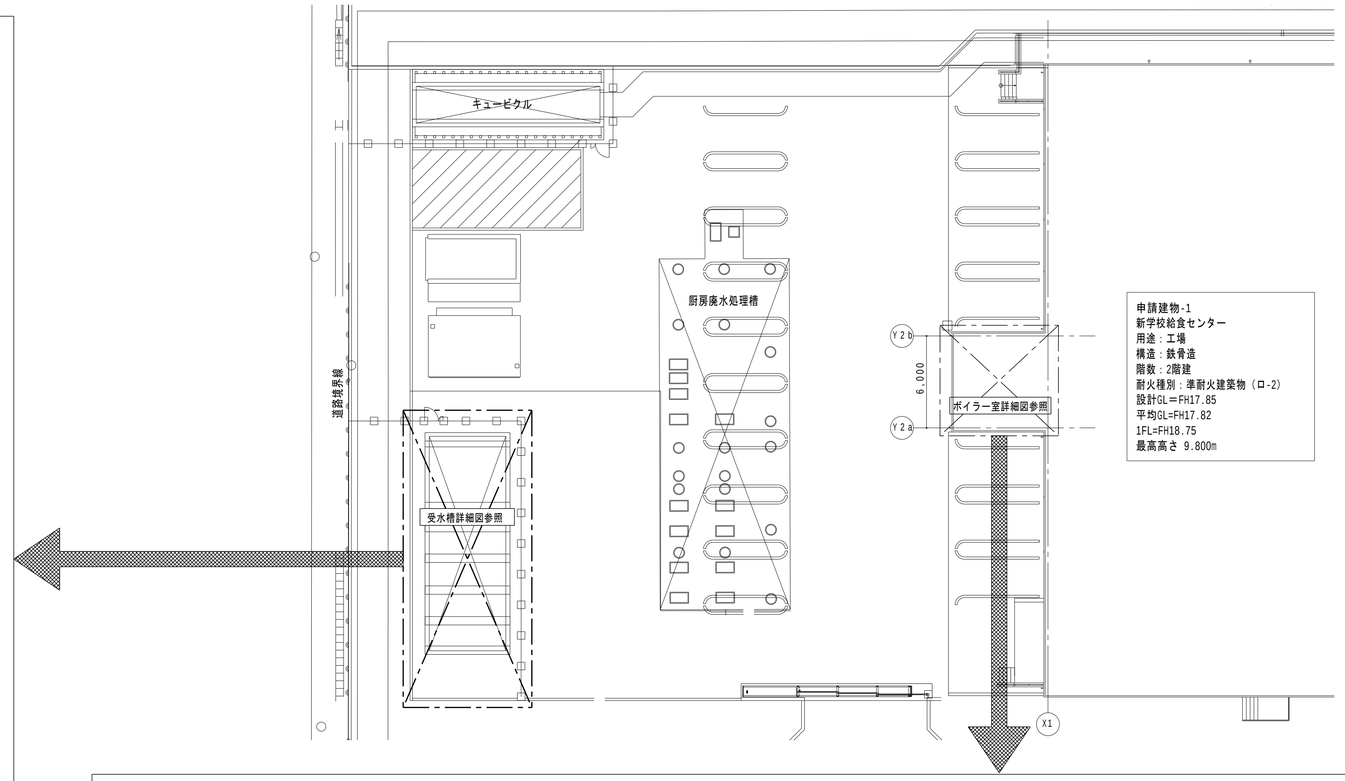
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター 空調設備工事	図面名	自動制御設備 2階平面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 M-42
			設計者		作図者	後藤 利基						

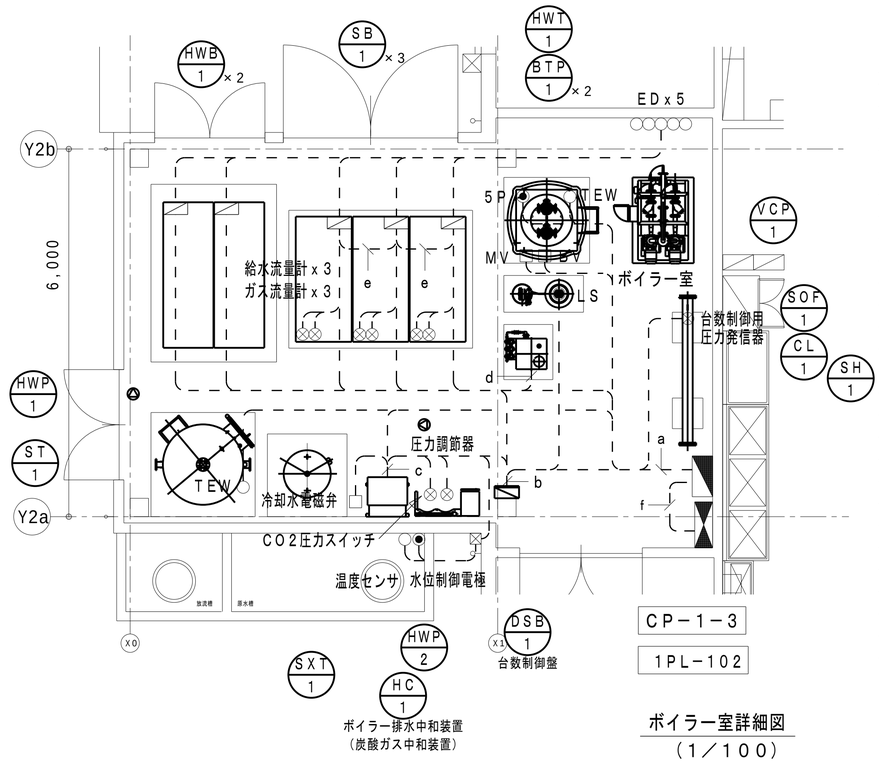


配管配線内訳表

-A-			
EM-CEE	2sq- 2C	(E25)	WT-1緊急遮断弁閉信号
EM-CEE	1.25sq- 5Cx2	(E25)x2	5Px2

受水槽詳細図（1／100）





配管配線内訳表

-a-			
EM-CEE	1.25sq- 4Cx3	(E25)x3	CP-1-3~SB-1x3
EM-CEE	1.25sq-20C	(E39)	CP-1-3~DSB-1
EM-CEE	1.25sq- 4C	(E25)	
EM-CEE	1.25sq- 4C	(E25)	CP-1-3~HC-1
EM-CEE	1.25sq- 6Cx2	(E25)x2	CP-1-3~HWB-1x2
-b-			
EM-CEE	1.25sq-20C	(E39)	CP-1-3~DSB-1
EM-CEE	1.25sq- 4C	(E25)	
EM-KPEES	0.75mm- 2P	(E25)	DSB-1~SB-1
EM-CEE	1.25sq- 2C	(E25)	DSB-1~HC-1
EM-CEE	1.25sq- 2Cx2	(E25)x2	DSB-1~HWB-1x2
-c-			
EM-CEE	1.25sq- 4C	(E25)	CP-1-3~HC-1
EM-CEE	1.25sq- 2C	(E25)	DSB-1~HC-1
-d-			
EM-CEE	2sq- 3Cx3	(E25)x3	SB-1~CL-1
-e-			
EM-KPEES	0.75sq- 2P	(E25)	SB-1渡り配線
-f-			
EM-KPEES	0.9sq-10P	(E31)	1PL-102~CP-1-3

ボイラー室詳細図
（1／100）

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2026.06.30	工事名	（仮称）新学校給食センター 空調設備工事	図面名	自動制御設備 受水槽詳細図・ボイラー室詳細図
		設計者		作図者	後藤 利基				

縮尺		図面番号
A1	N.S	M-43
A3	N.S	